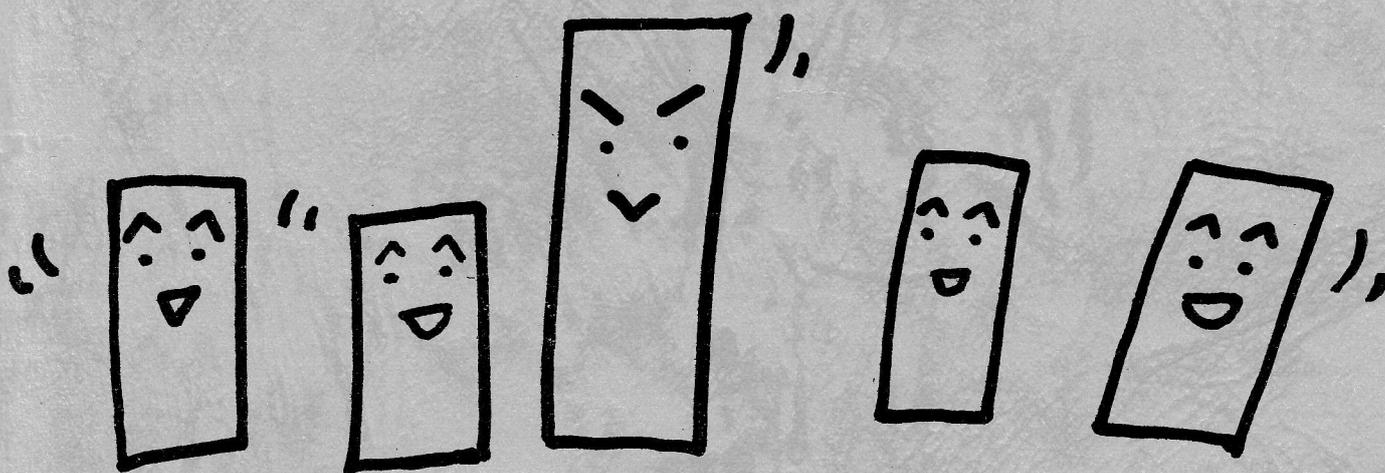


# people

2000. 2001. 2002. 2003. 2004.

入間市  
生涯学習をすすめる  
市民の会 会報



目次

入間市生涯学習をすすめる市民の会は・・・			
「平成12年度」			
	平成12年度入間市生涯学習をすすめる市民の会	実績報告	1
		委員名簿	3
		収支決算書	4
		会議・作業一覧	5
『寄稿』	田中 修	「ボランティア活動」に思う	9
	斉藤 幸子	お話の小箱	11
	高木 久子	「天国から見守って」	12
	井下 夏代 (旧姓 西久保)	地域の力、お借りしています	
	塚田とも子	感動をあなたに・・・	17
	吉川 秀夫	「歌と映像で綴る いるまの100年史」をふりかえって	
	今井 文香	生涯学習セミナー研修報告	21
		市民の皆さんから教えていただいたこと	25
「平成13、14年度」			
	平成13年度入間市生涯学習をすすめる市民の会	実績報告	26
		委員名簿	28
		収支決算書	29
		会議・作業一覧	30
	平成14年度入間市生涯学習をすすめる市民の会	実績報告	34
		委員名簿	36
		収支決算書	37
		会議・作業一覧	38
『寄稿』	川野 英明	生きがい探し	43
	河嶋 典子	生涯学習	
	栗原 良子	出会いの場	
	斉藤 昌紀	生涯学習の重大さ	
	下野 武司	人生90年時代の生涯学習	44
	杉山 若江	会の活動は生活の一部	
	曾根 直行	「遊び場」づくりを通じて	45
	土屋 照子	自己紹介	
	鶴田 優子	出会い、生きがい、ふれ合い	46
	永石 珠江	自己紹介	
	野村 和雄	市民の会委員受託への抱負	
	袴田 友久	自己紹介	
	菱 千代子	寄り道、迷い道 (自己紹介)	47
	増岡 達也	自己紹介	
	松永 輝義	生きる喜びを基にして	48
	室山 茂子	私的 生涯学習	
	森田美那子	自己紹介	49
	山尾 聖子	元気な入間市民	
	三浦はるみ	私の生涯学習	
	公開ディスカッション	—地域に開かれた高校・大学をめざして— (抜粋)	51
「平成15,16年度」			
	平成15年度入間市生涯学習をすすめる市民の会	実績報告	54
		委員名簿	57
		収支決算書	58
		会議・作業一覧	59
	平成16年度入間市生涯学習をすすめる市民の会	実績報告	63
		委員名簿	65
		収支決算書	66
		会議・作業一覧	67
『寄稿』	中島 竹正	「新たな、生涯学習の広がりに向けて」	71
	山崎 国男	「第二次推進計画による生涯学習都市いるまの実現に向けて」	72
	宮岡 利幸	「生涯学習ってなに？」	73
	市民の会 10周年に寄せて	各部会委員	75
	小暮 欽作	「平成15年度視察研修報告」	88
	関谷 敦子	「平成16年度視察研修報告」	90

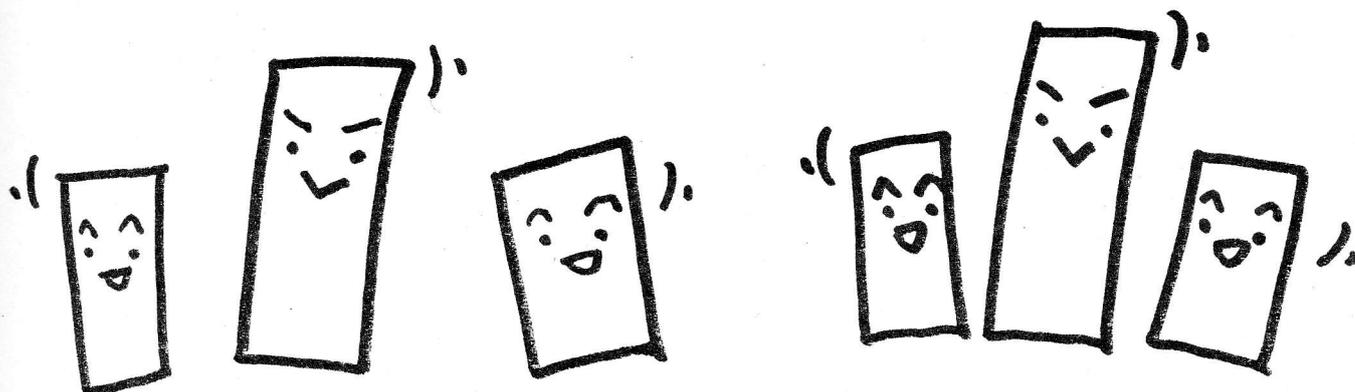
## 入間市生涯学習をすすめる市民の会 会報**ぴーぷる**

私たち「生涯学習をすすめる市民の会」は発足して10年目になります。

多忙なメンバーの集まりですが、月1度の定例会と随時開かれる各部会の会議を中心に、生涯学習という言葉が含む範囲の大きさを認識しつつ活動しております。学歴社会の行き詰まりを打開しなければならない教育界の要請はもとより高齢社会の生きがいづくりや、ボランティア、情報化や国際化への対応など、各分野からの必要性和期待が合致するのが生涯学習という概念ととらえ、その中で私たちの出来ることを、さぐりながら生涯学習をすすめております。

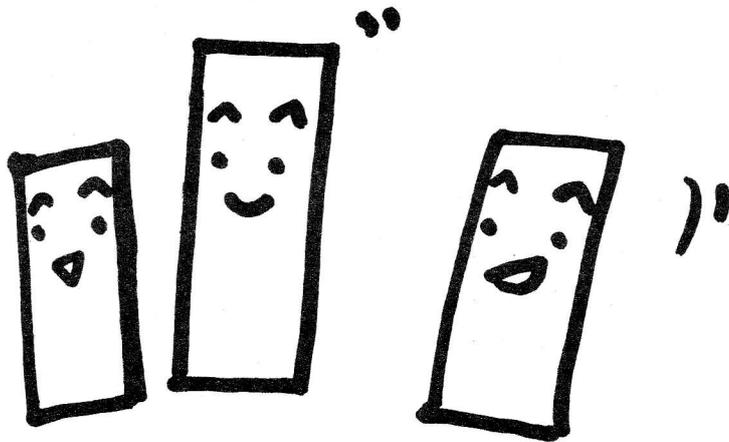
今現在活動をしている部会は、学びの場編集、掲示板製作設置、会報編集、FM入間との連携、学校との連携、ホームページ維持管理、視察研修企画、講座開設、調査研究（第2次入間市生涯学習推進計画策定）、市民活動支援、そしてフェスティバルの開催です。各方面の方のご意見を積極的にとり入れながら、行政とスクラムを組んで活動をしていきたいと考えています。

共通するのは、住みよい町、入間への思いです。



# people

2000



## 平成12年度入間市生涯学習をすすめる市民の会 実績報告

入間市生涯学習をすすめる市民の会は、以下の入間市生涯学習推進計画7施策に基づいて活動しています。

- ① 生涯にわたる学習機会の充実
- ② 学習情報の提供と相談体制の整備
- ③ 指導者、ボランティアの養成と活用
- ④ 学習成果の評価と活用
- ⑤ 生涯学習関連施設の整備・充実
- ⑥ 推進体制の整備・充実
- ⑦ 大学、企業、民間、団体との連携

凡例 ①～⑦は上記の該当する施策

継続 は平成13年度も予定されているもの

共 は、生涯学習課と一緒に取り組んでいるもの

### 1. 第6回いるま生涯学習フェスティバルの開催 ②③④⑦ 継続 共

平成12年12月3日(日) 入間市産業文化センター他で実施

市民の会全委員17名と関係課職員10名で実行委員会を組織

参加者・来場者 のべ5000人 協賛 42件

参加団体(サークル・民間教室、学校、企業等) 49団体

ボランティアスタッフ 50人

本年度は、特にテーマを設けず、協賛金も無理せず小口とした。

例年より大学の積極的な参加意欲が目立った。

会議も合理的にすすめられ、参加団体の協力を得て運営がスムーズに行われるようになった。

入間の20世紀をふりかえるオープニングが好評であった。

### 2. 冊子「いるま学びの場 平成12年度入間市生涯学習サークル・教室一覧」発行

7月 3000部発行。掲載者関係機関に配布。残部僅少 ② 継続 共

関係課職員とともに入間市生涯学習情報収集・公開システム検討委員会を組織し、企画編集を行う。

公民館情報と民間情報を同じ枠の中で掲載できるようになった。

入間市公式ホームページで、地域・分野毎の検索が可能になった。

スポーツ関係の情報収集について検討を始めた。

3. FM入間との連携

②④⑦ 継続

委員・協力委員・FM職員と1～2ヶ月に一度企画会議  
生涯学習に取り組む市民をPRしたCM 本制作、年間230回放送  
「気ままにティータイム」他さまざまな番組に情報提供。  
委員・職員も個々に出演した。

4. 生涯学習情報紙「かがやく」の企画・編集協力

②④⑦ 継続 共

10月15日号企画編集協力 委員2名・協力委員1名 ボランティアスタッフ4名参加。  
11月より、編集委員会として独立。委員1名参加。

5. 行政との話し合い

本年度は、庁内の推進組織や公民館職員部会との話し合いは行われなかったが、生涯学習フェスティバル実行委員会や情報集委員会で、関係職員と実務的な話し合いが活発にされた。

6. 学校との連携

②③④⑥⑦ 継続 共

「総合的な学習の時間」等で求められるように、学校教育における地域の教育力の需要に対応できる情報提供の方法を検討するための準備を始めた。

7. 会報（事業報告書）発行

⑥② 継続

7月 300部発行。 視察先、関係機関に配布。

8. 視察・研修

⑥ 継続

7月10日 群馬県桐生市を視察。6名参加。市民組織と話し合い。  
2月15日 入間地区生涯学習フォーラム参加 1名。  
3月 パソコン個人研修 16名参加。

9. 協力事業

②⑦ 継続

市民が主体となってすすめる生涯学習事業を積極的に支援した。

10. コーディネート事業

②③④⑦ 継続

個々の委員が、学校授業・公民館事業・市民大学・他の団体や実行委員会の事業等に講師を紹介した。

## 入間市生涯学習をすすめる市民の会委員名簿

平成 12 年 4 月 1 日現在

	氏 名	活 動 分 野 等
1	秋葉英夫	生涯学習愛好家
2	栗原良子	東野高校講師（現代詩）
3	下野武司	城西大学経済学部教授、日本山岳会会員、経済・生活マ ネジメント
4	杉山若江	公務員、SLHの会
5	鈴木豊士	入間ケーブルテレビ、FM入間副社長
6	曾根直行	入間遊び場づくり協会
7	田中澄子	児童センター「おはなしだいすき」ボランティア、珠算 検定試験委員
8	塚田とも子	詩吟教授、健康生きがいアドバイザー
9	並本寿紘	会社員、日本テニス協会公認指導員
10	西久保夏代	入間市青少年相談員
11	増岡達也	グラフィックデザイナー
12	松崎仁子	環境
13	◎松永輝義	幼児教育、家庭教育
14	三浦はるみ	入間おやこ劇場代表、埼玉県子ども劇場おやこ劇場連絡 協議会副代表
15	室山茂子	画家
16	森田美那子	入間台リサイクルグループ代表、区長会地域役員
17	柳橋吉教	山歩き「木の芽会会員」、ギター教室指導
18	○山尾聖子	杉野女子大学講師（フランス語）、二八落語会主宰

◎会長 ○副会長

[男性 8 名、女性 10 名]

平成12年度入間市生涯学習をすすめる市民の会

収 支 決 算 書

(収入)

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	説 明
補 助 金	1,300,000	1,300,000	市補助金
繰 越 金	5,102	5,102	
寄 附 金	450,000	213,050	フェスティバル協賛金等
諸 収 入	600	10,907	預金利子
合 計	1,755,702	1,529,059	

(支出)

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	説 明
総務費	164,674	207,928	
会議費	80,000	15,401	
事務費	20,000	38,053	封筒印刷、パソコンインク代
備品費	30,000	119,133	デジカメ他、パソコン関係、ワゴン代
負担金	20,000	20,000	万燈まつり・観光協会
保険料	14,674	15,341	行政協力団体傷害保険
事業費	1,584,900	1,291,503	
普及奨励費	100,000	100,000	エフエム広告放送料
調査研究費	40,000	0	
事業活動費	1,294,900	1,070,884	生涯学習フェスティバル 378, 138 指導者情報収集 636, 605 会報製本代 51, 437 かがやく編集 4, 704
研修費	150,000	120,619	桐生市視察、パソコン講習
予備費	6,128	10,000	委員香典
合 計	1,755,702	1,509,431	

平成12年度市民の会会議・作業一覧

日	時	場所	部会	内容	出席者
4月4日	10:30 ~ 12:00	入札控室		市民の会会計処理	杉山 山尾
4月6日	11:00 ~	和室B		市民の会会計処理	杉山 山尾
4月6日	13:00 ~ 17:00	和室B	学びの場	学習情報誌「学びの場」編集作業	山尾 山増
4月11日	12:00 ~ 13:30	FMいるま	FM	FM会議	杉山 山尾 長谷川 (FM) 篠田
4月11日	19:00 ~ 22:00	和室B	役員会	市民の会役員会	下野 杉山 菅根 松永 柳橋 山尾
4月12日	9:00 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 新宅 田中 栗原 永石 長谷川 松崎
4月18日	19:00 ~ 21:30	中央公民館	定例会	市民の会定例会	秋葉 下野 杉山 菅根 並本 西久保 松永 柳橋 山尾
4月24日	13:00 ~ 15:30	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 栗原 永石 長谷川 松崎
5月8日	9:30 ~ 11:50	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 新宅 永石 長谷川 松崎
5月9日	9:30 ~ 11:50	和室B	ピープル	会報「ピープル」編集会議	三浦 山尾
5月9日	12:00 ~ 13:00	FMいるま	FM	FM会議	杉山 山尾 長谷川 (FM) 篠田
5月9日	19:00 ~ 22:00	大会議室	役員会	市民の会役員会	下野 杉山 菅根 松永 柳橋 山尾
5月12日	10:00 ~ 12:00	和室B	学びの場	学習情報誌「学びの場」会議	山尾 山増
5月15日	9:30 ~ 14:40	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
5月16日	19:00 ~ 21:30	中央公民館8号室	定例会	市民の会定例会	秋葉 下野 杉山 菅根 塚田 松崎 松永 室山 森田 柳橋 山尾
5月22日	9:30 ~ 10:20	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
5月23日	14:00 ~ 15:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	池田 新宅 田中 栗原 永石 長谷川 松崎
6月5日	9:30 ~ 14:30	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 古清水 永石 長谷川 松崎
6月6日	9:30 ~ 12:00	和室B	学びの場	学習情報誌「学びの場」編集作業	山尾 山増
6月6日	12:00 ~ 13:00	FMいるま	FM	FM会議	杉山 山尾 長谷川 (FM) 篠田
6月12日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
6月19日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
6月20日	19:00 ~ 21:30	中央公民館8号室	定例会	市民の会定例会	秋葉 下野 杉山 菅根 塚田 松崎 松永 三浦 室山 森田 柳橋 山尾
6月26日	9:30 ~ 12:30	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
6月27日	10:00 ~ 17:30	和室B	ピープル	会報「ピープル」編集作業	
6月29日	10:00 ~ 17:00	和室B	ピープル	会報「ピープル」編集作業	

平成12年度市民の会会議・作業一覧

日	時	場 所	部 会	内 容	出 席 者
7月3日	9:30 ~ 11:30	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
7月5日	9:30 ~ 17:00	502会議室	ピープル	会報「ピープル」編集作業	山尾 山増
7月6日	9:30 ~ 17:00	入札控室	ピープル	会報「ピープル」編集作業	山尾 山増
7月10日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
7月10日	13:00 ~ 15:30	桐生市生涯学習課	研修	生涯学習先進地研修視察	秋葉 松永 曾根 森田 栗原 下野
7月12日	13:30 ~	和室B	学びの場	学習情報誌「学びの場」会議	
7月17日	9:30 ~ 11:30	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
7月18日	12:00 ~ 13:00	FMいるま	FM	FM会議	杉山 山尾 長谷川 (FM) 篠田
7月18日	19:00 ~ 21:30	扇町屋公民館	定例会	市民の会定例会	
7月27日	19:00 ~ 21:30	中央公民館10号室	フェスティバル	第1回実行委員会	秋葉 松永 杉山 曾根 松崎 森田
8月8日	19:00 ~ 21:30	中央公民館1号室	フェスティバル	第2回実行委員会	秋葉 松永 曾根 森田 柳橋
8月18日	9:30 ~ 11:30	和室B	ピープル	会報「ピープル」編集作業	
8月18日	12:00 ~ 13:00	FMいるま	FM	FM会議	杉山 山尾 長谷川 (FM) 篠田
8月18日	12:00 ~ 13:00	FMいるま	FM	FM会議	
8月18日	13:30 ~	農業委員会事務局			杉山 山尾
8月22日	19:30 ~ 21:30	産業文化センター	フェスティバル	市民の会会計処理 第3回実行委員会	秋葉 松永 曾根 塚田 森田 柳橋
8月28日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
8月28日	16:00 ~ 18:00	和室B	フェスティバル	講演会・ティスカッション部会	森田 曾根 柳橋 栗原
8月30日	10:00 ~ 12:00	和室B	フェスティバル	オープンニング・ホール部会	杉山 塚田 松永
8月30日	11:00 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」会議	
8月31日	13:30 ~ 15:30	503会議室	学びの場	学習情報誌「学びの場」会議	
8月31日	19:00 ~ 21:30	中央公民館10号室	フェスティバル	PR・広報部会	杉山 室山 増岡
9月4日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
9月5日	16:00 ~ 17:00	和室B	フェスティバル	講演会・ティスカッション部会	曾根 柳橋
9月6日	9:30 ~ 12:00	和室A	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
9月8日	9:30 ~ 12:00	505会議室	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎

平成12年度市民の会会議・作業一覧

日	時	場 所	部 会	内 容	出 席 者
9月11日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
9月12日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議(入夜)	新宅 松崎
9月13日	13:30 ~ 17:00	児童センター	フェスティバル	展示・実演・情報部会	秋葉
9月14日	10:00 ~ 12:00	中央公民館10号室	フェスティバル	オープニング・ホール部会	杉山 塚田
9月14日	19:00 ~ 20:00	中央公民館5号室	フェスティバル	参加依頼団体との打合せ	杉山
9月18日	9:30 ~ 16:00	入札控室	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議(再校)	池田 新宅 古清水 永石 長谷川 松崎
9月19日	19:00 ~ 19:30	扇町屋公民館	定例会	市民の会定例会	秋葉 下野 杉山 菅根 塚田 松崎 松永 三浦 室山 森田 柳橋 山尾 並本
9月19日	19:30 ~ 21:30	扇町屋公民館	フェスティバル	第4回実行委員会	秋葉 下野 杉山 菅根 塚田 松崎 松永 三浦 室山 森田 柳橋 山尾 並本
9月20日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議(再校原し)	池田 新宅 永石 松崎
9月27日	10:00 ~ 12:00	和室B	フェスティバル	オープニング・ホール部会	杉山 塚田
9月28日	19:00 ~ 21:30	和室B	フェスティバル	講演会・ティスカッション部会	森田 栗原
9月29日	13:30 ~ 15:00	児童センター	フェスティバル	展示・実演・情報部会	秋葉
10月4日	10:00 ~ 12:00	和室B	フェスティバル	PR・広報部会	杉山 室山
10月5日	9:30 ~ 12:00	和室B	フェスティバル	オープニング・ホール部会	杉山 塚田
10月5日	19:00 ~ 21:30	和室B	フェスティバル	講演会・ティスカッション部会	菅根 森田 柳橋 栗原 並本
10月12日	13:30 ~ 15:00	児童センター	フェスティバル	展示・実演・情報部会	秋葉 松崎
10月13日	19:00 ~ 21:30	和室B	フェスティバル	オープニング・ホール部会	杉山 塚田
10月17日	19:00 ~ 19:30	扇町屋公民館	フェスティバル	第5回実行委員会・定例会	秋葉 菅根 増岡 松崎 松永 三浦 室山 森田 柳橋 山尾 並本 杉山 栗原
10月19日	10:00 ~ 12:00	和室B	フェスティバル	PR・広報部会	杉山 室山
10月24日	19:00 ~ 21:30	和室B	フェスティバル	講演会・ティスカッション部会	菅根 森田 柳橋 栗原 並本
10月26日	13:30 ~ 15:00	児童センター	フェスティバル	展示・実演・情報部会	秋葉 松崎
11月7日	18:30 ~ 21:30	和室B	フェスティバル	オープニング・ホール部会	杉山 塚田
11月8日	19:00 ~ 21:30	和室B	フェスティバル	講演会・ティスカッション部会	菅根 森田 柳橋 栗原 並本
11月10日	14:00 ~ 16:00	産業文化センター	フェスティバル	オープニング・ホール部会	杉山 塚田
11月10日	19:00 ~ 21:00	産業文化センター	フェスティバル	講演会・ティスカッション部会	菅根 森田 柳橋 栗原 並本
11月15日	13:30 ~ 15:30	和室B	フェスティバル	オープニング・ホール部会	杉山 塚田

平成12年度市民の会会議・作業一覧

日	時	場 所	部 会	内 容	出 席 者
11月15日	19:00 ~ 21:30	和室B	フェスティバル	講演会・ディスプレイ部会	曾根 森田 柳橋 栗原 並本
11月20日	9:30 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
11月21日	10:00 ~ 12:00	第3委員会室	フェスティバル	展示・実演・情報部会	秋葉 松崎
11月22日	17:00 ~ 22:00	和室A	フェスティバル	オーブニング・ホール部会	杉山 塚田
11月28日	17:00 ~ 22:00	和室B	フェスティバル	各部会代表者会議	山尾 曾根
12月3日	8:00 ~ 18:00	産業文化センター	フェスティバル		秋葉 曾根 増岡 松崎 松永 三浦 室山 森田 柳橋 山尾 並本 杉山 栗原 下野 塚田 鈴木
12月4日	9:30 ~ 12:00	入札控室	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
12月11日	9:30 ~ 12:00	入札控室	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
12月19日	9:00 ~ 17:00	公民館	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋 永石
12月21日	9:00 ~ 17:00	公民館	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ取材	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
12月21日	19:00 ~ 21:30	中央公民館	役員会	市民の会役員会	
1月10日	10:00 ~ 12:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
1月14日	10:00 ~ 12:00	アリット		松永 山尾 曾根	
1月15日	9:30 ~ 14:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
1月18日	13:00 ~ 15:30	和室B		市民の会会計処理	杉山山尾
1月22日	9:30 ~ 14:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
1月23日	19:00 ~ 21:30	中央公民館	フェスティバル	第6回実行委員会・定例会	秋葉 曾根 松崎 松永 三浦 室山 森田 柳橋 山尾 並本 杉山
1月29日	9:30 ~ 14:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
2月5日	9:30 ~ 14:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議(入校)	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
2月8日	13:30 ~ 15:00	和室B	学びの場	学習情報誌「学びの場」会議	秋葉 曾根 室山 森田 柳橋 山尾
2月13日	9:30 ~ 14:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議(1校)	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
2月19日	9:30 ~ 14:00	505会議室	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議(2校)	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
2月20日	19:00 ~ 21:30	中央公民館	定例会	市民の会定例会	秋葉 曾根 栗原 松永 下野 室山 森田 柳橋 山尾
2月26日	9:30 ~ 14:00	和室B	かがやく	情報紙「かがやく」スタッフ会議(3校)	松崎 西垣 堀 佐々木 高橋
3月15日	13:30 ~ 15:00	和室B	学びの場	学習情報誌「学びの場」会議	室山 森田 柳橋
3月21日	18:30 ~ 21:30	中央公民館	定例会	市民の会説明会・定例会	曾根 松永 室山 森田 山尾 並本 杉山 栗原

## 「ボランティア活動」に思う・・・

生涯学習課長 田中 修

昨春、15年ぶりに生涯学習課へ戻ってきました。社会教育課（当時）、児童センターなどを経験した身としては、久しぶりに故郷に戻ってきたようで妙に懐かしさを感じました。仕事の内容や役割は随分と変わってきているのに、この懐かしさは一体どこから来たものなのか自問してみました。答えは明快。それは、昔からずっと活動を続けているボランティアの方々に再び会えたことでしょう。

そして、ボランティアさんの笑顔から、生き生きと楽しくボランティア活動を続けて来られている様子を即座に感じ取ることが出来ました。ボランティア活動で大事なことは、「持続する情熱」である、と言った人がいますが、正にこの言葉がぴったりの人達ではないかと思いました。

ところで、昨今、ボランティアという言葉はあちこちで耳にする事ができます。すでに日本語として、充分通用している言葉ではないでしょうか。福祉・環境・医療・教育・文化・スポーツ・まちづくり・災害復興・国際協力等々、活動する分野・内容・環境などに違いこそあれ、あらゆる場面でボランティア活動しているのは周知のとおりです。

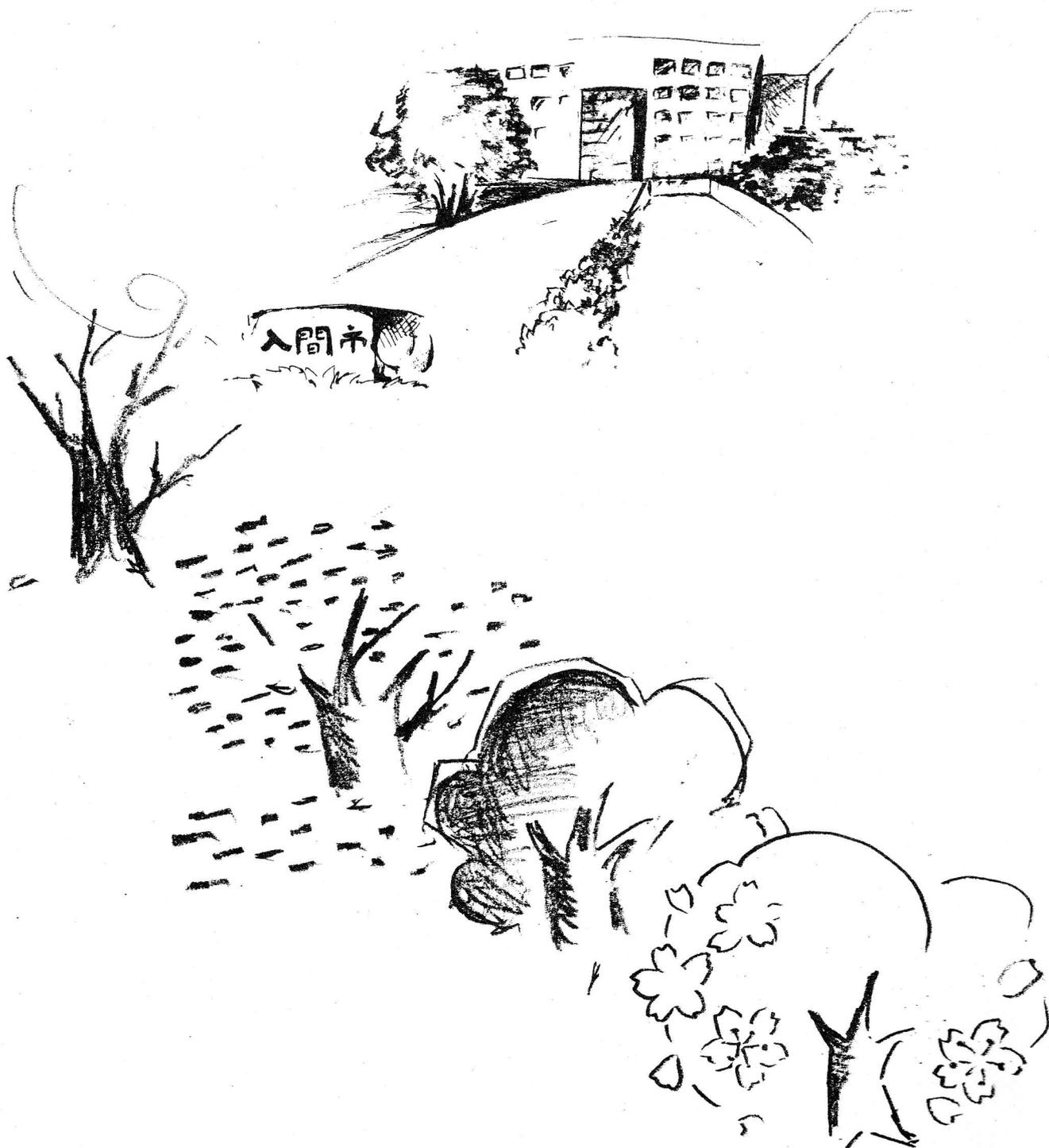
折りしも、今年、2001年は、日本が国連で提案して決まった「ボランティア国際年」です。21世紀の我々の生き方に何かヒントを与えてくれそうな、そんな意義あると年なるような気がします。何か大切なものを失った日本人として、あらためて「ボランティア」について考えてみる良い機会ではないでしょうか。もちろん、行政の立場からも、その意味を真剣に考えなければならないことは言うまでもありません。

例えば、今までは、ややもするとボランティアを「ボランティア」という名のもとに、「受け入れる側」が自分に都合の良い「お手伝い」として活用してきたということがあったかも知れません。ボランティア活動によって得る対価は「感動」そのものである、とも言われています。単なる「お手伝い」では感動や満足感は得られないでしょう。ボランティア活動は、自発性・公共性・無償性を基本とした活動である、と自分なりに定義付けしているのですが、「ボランティアという概念が定着していなかった頃には、ボランティア活動をする側も、それを受け入れる側も、少なからず戸惑いがあったのではないのでしょうか。そしてボランティア活動に対する評価もあまり高いものではなかったような気がしてなりません。昨今の社会情勢の中で、やっとボランティア活動が評価されるようになってきたと言っても過言ではないと思います。

最近、「協働」という考え方が「まちづくり」などをすすめるためのキーワードとして良く使用されています。私は行政とボランティアの関係も、正にこの「協働」とか、「パートナーシップ」という視点で築いていくべきだと思います。そのためには、お互いが対等の意識・自主性の尊重・相互理解・情報の共有といった共通認識

を持つことが求められてくるでしょうが、結果的に「活動する側」と「受け入れる側」の双方にとって、より意味のあるものになっていくはずです。

2001年も、市内のあちこちで活動するボランティアさんの生き生きした笑顔に出会えることを楽しみに、そして、この国に、真にボランティア活動が根付くことを心から願いながら、これからも皆さんと共に歩んでいきたいと思えます。



## お話の小箱

斉藤 幸子

「おはなし会 ぜったいやめないでね。ずーうっとだよ そしたらみんなよろこぶよ だから やくそくだよ。」 これは、小学一年生からもらったお礼の手紙の一部です。

このような子供達の応援に支えられ、私達「おはなしの小箱」は四人の主婦が、学校・図書館・文庫・こども会などへ、お話しを届けているグループです。

もともと図書館で読みきかせをしていた私達でしたが、約十年前、藤沢小学校の六年生に8回のおはなし会をしたのを、きっかけに「おはなしの小箱」を結成しました。今思うと、高学年でおはなし会に8回もの回数時間をさいてくださった先生方に感謝しています。

現在は、東町小学校、豊岡小・新久小へ毎月一回訪問して一・二年生に行っています。

おはなし会では、まずおはなしの世界に入るためのろうそくに火をつけます。そして詩の朗読にはじまり、紙芝居、ピクチャーボックスなどに進み、いよいよ素語りの昔話が始まります。日本だけでなく世界各国のお話で、短いものだと三話、長いと二話くらい聞いてもらいます。そして、パネルシアターで子供達といっしょに歌ったりゲームをして遊びます。最後にお誕生月のお友達に前に出てきてもらい、おはなしのろうそくの火を消してもらおうと、おはなし会は終わりです。

子供たち一人一人が頭の中に、おはなしの世界が描けるように、そして、どっぷりお話しの中に浸って楽しんでもらえるように、私達はいっしょうけんめい語ります。子供達が真剣に私達をみつめてくれているその瞳に、魅せられて私達自身もお話しに夢中になっています。

冒頭に紹介した子の、手紙の他にも、一年生だと「おはなし会がある日、わたしは、ドキドキします」とか「おばさん達のこえをきくと、心がゆたかになります」又「とってもとってもたのしいおはなしなので、ゆめにでてきてほしいなとおもっています」などがあります。五年生のお友達からは「ことばって、こんなにおもしろかったんだ」「聞いているとその場面の様子が頭にうかんできた」又藤

小の六年生で「こんなにいろいろしてもらえたぼくは、とても幸福だと思います。」

と書いてくれています。

これらは、ほんの一例です。これらの手紙からは、子供達の本当に喜んでいる気持ちが素直に私達に伝わってきます。子供達が待っていてくれると思うと、がんばらなくては！とおもうのです。

只、私達が残念に思うことは、この会が一・二年で終わってしまうことです。三・四年、いや六年までも継続してできたらどんなにいいだろうと思います。たくさんの昔話を聞いて、心からそれを楽しんでもらいたい。昔話は、古今東西を問わず何百年、いやもっと古くから、人から人へと語り継がれた様々な人の生き方や生命の真相を伝えているだけでなく、それぞれの民族の伝統文化をも伝えています。

昔話をたくさん聞く中で、子供達が心豊で幸福でいてほしいと願ってこの活動をこれからも続けていきたいと思っています。

### 天国から見守って

高木 久子

彼女に始めて出会ったのは、入間市産業文化センターの舞台の袖でふたりともドキドキしているときでした。入間学習フェスティバル実行委員会発行の記念誌『かがやく』Specialに活動発表をした者達が、舞台上で紹介されるために出番を待っているときでした。その後いつしか月日が過ぎました。

二度目に彼女にお会いしたのは生涯学習をすすめる市民の会の会合で、二人とも新委員でした。後に生涯学習情報誌『かがやく』にそろばんのことを掲載するときには、いろいろご協力頂きました。更に彼女は、東町公民館でフラダンスを楽しみ、市内全域のフラダンスグループにも働きかけ、生涯学習フェスティバルで一堂に会して発表出来るように働きかけ実現させました。

やがて私は体調に不安を覚え市民の会を辞めることにして市役所に出向いた日、路上で彼女に合い、誘い合って昼食を共にしました。彼女は数ヶ月前から足を治療中なもの、ご子の大学卒業論文の発表を控え幸せいっぱいの様子でした。

幸せな旅行のお便りの後、三月に彼女は入院し、田中澄子さんのお名前の書かれた病室を訪ねるととても喜んでくださいました。それからお見舞いに通うようになりましたが、私達の話題はいつも未来のことでした。ご近所の子供達にそろばんを教えている彼女は、力になれることを喜んでいました。いつかトンガ王国にそろばんを教えに行く夢もありました。ボランティアとして入間市児童センターで『永年読み聞かせ』の活動もされていました。指折り数え初めて短歌も詠まれました。

ありがとう きょうも一日生かされてあなたの笑顔思い浮かべる 田中澄子

わが笑顔思い浮かべる人待つと思えば近し小江戸への道 高木久子

あなたは、今や寂びしくもご家族や私や友人の心の中に生きる人となりましたが、天国から私達の生涯学習を見守っていてくださることでしょう。 合掌。

### 地域の力、お借りしています

井下 夏代（旧姓：西久保）

#### はじめに

「開かれた学校」づくりが、近年言われ続けています。今まで、閉鎖的であった「学校」を、地域の人々に開かれた場所にしていこうという、試みです。多くの人の目があると言うことは子どもにとっても教師にとっても良い面・悪い面両方あります。大阪の事件などを見れば、学校に関係者以外の方が自由に立ち入る事の危険性も理解できると思います。しかし、今までのように「学校教育は学校だけで」という訳にはいかなくなってきている

のも現状です。地域の人々の力を借りなければ、成り立たない授業も存在します。

どのような形で、学校は地域の人々の力を必要としているのか。私の体験した小学校での授業をいくつか紹介する事で、学校の現状を理解して頂ければと思います。

### (1) お正月の遊びを教えてください！！

小学校1・2年生で行われる生活科は、「具体的な活動や体験」をすることで、地域や自然や周りの人々に感心を持たせていく教科です。例えば、春には虫取りをしてどんな虫が近くにはいるのか観察したり、朝顔やミニトマトなどを育てたり、電車やバスに乗ったりなど、身近な事を体験させています。

その中で、地域の方のお手伝いを頂いたのは1年生の「お正月の遊びをしよう」という単元でした。たこあげやお手玉、竹とんぼに独楽回しなど、昔から伝わる遊びを体験させる物です。学年の担任は3人。しかもそういった遊びに長けているとお世辞にも言えない3人でした。そこで、子どもたちのおじいちゃん・おばあちゃんに授業のお手伝いをお願いしました。まず手紙で、子どもたちと一緒に遊んで下さる方を募集し、同時にどの遊びが得意かをお聞きしました。そして、集まったアンケートを見て、どの方に何をやっていただくかの方で決めていきます。10人以上の方が参加しますと返事を下さいました。電話や手紙で連絡をとりながら、当日学校へ来ていただきます。竹馬やお手玉などは学校の教材として有るので、教師は場所の設定を時間までに子どもたちとしておきます。あとは、子どもとおじいちゃん・おばあちゃんにお任せです。

竹とんぼや凧を作ってきて下さるおじいちゃんがいたり、あやとりだけでなく、毛糸で簡単にできる編み物を教えて下さるおばあちゃんがいたり……。子どもたちは夢中になって3時間遊んでいました。休み時間には他の学年の子どもも参加です。遊んでいくうちの、独楽回しができるようになった子や、竹馬に乗れるようになった子が「先生！！見てみて！！」と呼びに来ます。どの子も本当に楽しそうでした。

### (2) 戦争の体験談を聞かせてください

3年生から始まる「社会科」こそ、地域の協力なくしては出来ない教科です。地域の商店街の探検をしたり、公共施設について調べたり、品物の流通を勉強したりと、その範囲は様々です。

6年生では日本の歴史を簡単に勉強します。その中でやはり教師の思いとして強いのは「戦争」を子どもたちに感じて欲しいということです。ゲームやテレビの影響なのか、殺し合うことや戦う事を「かっこいい」と思っている子どもがいることは事実です。そして多くの子どもは、「平和ぼけ」とでも言うのでしょうか、この豊かな生活が当たり前と漠然と思っています。

そんな子どもたちに戦争の体験談を話して下さったのは、地域に住む男性でした。校長の紹介で、わざわざ学校へきて下さいました。子どもたちは、同じ町に住んでいる人の話を聞き、この町からも戦争へ行った人がいる、そして戦死した人もいるということを知りました。爆弾を抱えた飛行機がこの上空を飛んでいったこと、爆撃され町が焼ける炎が

ここからも見えたこと・・・・・・。

自分たちの住む町にも戦争の爪痕が残っていることを知り、子どもたちはそれまでとは違った想いを戦争に対して持ち始めました。

### (3) 主婦のお手を拝借

5・6年生で習う家庭科は教師1人で行うのはとても大変な授業の一つです。子どもたちはみんなほとんど初めて針をもつ子ですし、一人で料理をするのもほとんど初めてです。2時間続きの授業なのですが、簡単な作業でもやり遂げさせるのは大変です。いつも、後一人か二人先生が居てくれたら・・とっていました。

そこで、学年の教師同士相談し、クラスのお母さんで時間を取って下さる方6・7人に、お手伝いをお願いしました。毎時間ではなく、裁縫の初めの時間とか、調理実習で大変そうなときに、連絡をし、学校へ来ていただきました。

教師が1人だと、聞いてもなかなか自分の所には来てくれなく不満に思っていた子どもたちも、すぐそばに分からない所を教えてくれる人がいるので、作業が早く進みます。1人ではなかなか丁寧に一人一人教えて教えてあげられなかった、玉結びや玉止めなども、お母さんたちが丁寧に教えてくださいました。

調理実習では、お母さんたちが居るおかげで安心して環境整備や道具の出し入れが出来ました。包丁の使い方や食材の取扱など、指導してあってもなかなか子どもたちは上手くできないものです。お母さん方が居て指導して下さることで、子どもたちにそうした細かい点にも気をつけさせることが出来ました。

家ではお母さんと一緒に料理をすることが少ない男の子もとても楽しそうに調理をしたり、「裁縫めんどくさい」と行っていた女の子がお母さんに教わりながら、作品を完成させたりと、「物を作る技能を身につける」以上の成果が有ったと思います。

### (4) いろいろな活動を学校のなかで・・・・

私が1年生の担任をしてる時に、一番地域の方にお世話になったのが、子どもたちへの「読み聞かせ」でした。地域の「読み聞かせサークル」の方が朝の自習時間にきて下さり、クラスごと順番に「読み聞かせ」をして下さいました。子どもたちは本を読んでもらうのが大好きです。「次はいつ来てくれるの？」と楽しみにしていました。

サークルの方は、ふつうの絵本だけでなく、自分たちで作られた大きな本やかわいらしい紙芝居なども子どもたちに見せて下さいました。

さらに、国際理解教育を担当したときには、地域の「国際協力サークル」に入られていた保護者の方に大変お世話になりました。その方からのご紹介を受けて、地域に住んでいらっしゃるタイの女性5人に学校へ来ていただきました。そしてタイ舞踊を見せて頂いたり、子どもたちにタイに付いて話して頂いたりしました。タイのきれいな民族衣装や、タイ語の挨拶を子どもたちは楽しんでいました。そして、「先生、この前学校に来たタイのチャンさんにスーパーで会ったよ。」報告してくれる子がいたり、「手紙を書いたら、遊びにおいでって誘ってもらった！タイカレーごちそうになるんだ。」と自ら交流を深める子も

居ました。「地域が同じ」ということが、こんなふうな広がりを見せるんだ・・・と感心しました。

#### (5) これからますます地域の力にお世話になります

来年度から本格実施される「総合的な学習の時間」は、どのような形で地域の方々のお世話になるのか、教師の方も未知数的な所があります。それは、子どもの興味関心がどういった方向に行くのか検討が付かないからです。

「総合的な学習の時間」はいったい何なのか？まず言えるのは「教科」では有りません。ですから成績もつきませんし、内容の細かい規定も有りません。子どもたちが自分で見つけた課題を自分の方法で解決していく事が求められています。ただ、漠然と子どもたちに「課題をみつけよう！」といっても、見つけられる物ではなので、方向付けは学校または学年で行われます。その「方向」も「地域の実態に即したもの」が要求されています。

入間市の小学校なら、「お茶」や「入間川」「狭山丘陵」「生糸」などを大きなテーマに出来るでしょう。(ほかにも一杯あるとおもうのですが・・・)

私のいた学校は「防災」が大きなテーマでした。3年生から6年生までこのテーマで、学年ごと、その方向性が少しずつ変えられていました。6年生は「災害復旧大作戦」ということで、簡易トイレを組み立てたり、空き缶でご飯を炊いたり、汚い水をきれいにする方法を考え出したり、と様々な体験をする中で、自分をもっとも興味を持った事について課題を見つけ、解決していきました。

「非常食」に感心を持った子は、「かんぱん」を作っている会社に電話し作り方を質問をしたり、子どもやお年寄りが食べやすい非常食を調べたりしていました。地域のスーパーや商店にどんな非常食がおいてあるのか、調べた子もいました。「救急法」に興味を持った子は、消防署へ行って話を聞いたり、実際に自分で応急処置をやってみたりしていました。地域の病院へ話を聞きに行った子もいます。「地震」そのものに興味を持った子はインターネットを使っていろいろな情報を取り出していました。地震の予測をした子も居ます。

「総合的な学習の時間」は取り組みが始まったばかりなので、教師の方も試行錯誤・五里霧中・・・という感じです。地域の方の協力が必要なのですが、どのような形で必要になるのかが、まだ明確になっていないという感じがします。

#### 問題点も・・・

教師一人では出来ないことも、地域の方々の協力で出来ることが、学校にはたくさんあります。けれど、問題点もたくさんあるのです。それが、教師が地域から協力に対し二の足を踏む原因だと思います。いくつか問題点をあげると、

①計画の時間がない・・・地域の方の協力を得るためには、ある程度の時間がかかります。今日決めて、すぐ明日とは行かないのですが、その計画を前もって準備する時間が教師には少ないのです。

②学年、学校での調和を乱さない・・・クラスで考え行動することは基本的にタブーです。学年で統一、学校の方針を重んじます。一人の教師が「こんな風に地域の人に協力しても

らおう」と考えても同じ学年の教師から反対されたり、他の学年から批判が出たりすると、出来ないのです。

③協力して下さる人との打ち合わせが十分に出来ない・・・学校に協力して下さる方はみなさん熱心です。とてもありがたいことなのですが、その熱心さが逆に授業の方針とずれてしまうことが有ります。先に挙げた「お正月の遊び」の例でも、一緒に楽しく遊んで下さって、子どもたちに指導して頂きたいのですが、中には専門的に「竹とんぼの上手な飛ばし方」を子どもたちに説いてしまう方もいるのです。学校の趣旨を十分に理解していただくだけの打ち合わせ時間が充分取れないのが現状です。

④やったり・やめたりは良くない・・・今年やったことは来年も・・・というのが有るようで、ある提案をしても「これからずっと続けられるの？」と聞かれると自信がないので、二の足を踏んでしまいます。この体制も新しい事にチャレンジしづらい原因です。

⑤地域の現状把握がしづらい・・・「こんな事をやっている方に学校に来ていただきたい」と思っても、地域にそのような方が居るのか分からない現状があります。時間をかけて探せば良いのですが、なかなかそういう訳にもいきません。言い訳になってしまいがちですが、教師は本当に「忙しく時間がない」のです。

#### おわりに

「地域に開かれた学校」を目指して地域の方々に協力を頂いているのではなく、そういった協力なしには、今の学校教育はあり得ないのだと思います。これからますます、そうした傾向が強くなるでしょう。来年度から学校は週5日制になります。総合的な学習の時間も始まります。音楽では伝統楽器を取り入れることも決まっています。琴や三味線の演奏が出来る方も必要です。国際理解教育では英語のコミュニケーションも重要になります。英語での会話が出来る方も学校は必要です。

そして、協力いただける方に学校という物を、そして学校教育という物を理解していただくことが重要です。授業の目的に沿った協力ができるよう、協力する側も意識していかなければならないと思います。

「子どものために」何が必要か。教師はいつもそれを考えています。「学習指導要領」で決められた学習内容のなかで、一生懸命工夫しているのです。是非そのことは理解して頂きたいのです。

今を一生懸命生きている子どもたちのために、そして、日々頑張っている教師を応援するために、これからも学校への協力をお願いします。

感動をあなたに・・・【歌と映像で綴る いるまの100年史】をふりかえって

塚田 とも子

「20世紀の最後だから歌で綴る100年史なんてどうかしら」という事務局Iさんの発案にプロジェクトの皆が賛同したのは、企画の段階であった。

このとき「人間市生涯学習フェスティバル」は第6回を迎えていた。

いままでそのオープニングセレモニーも、パネルディスカッション・講演会・ふれあいコンサート・1分スピーチなどなど、それぞれ趣向を凝らして来たが、二番煎じもつらいし・・・と、アイデアも出尽くしていた。

今回のオープニング部会は、男性4人・女性3人でチームを組んでいた。

テーマが決まってからは、次々と楽しい発想が浮かび、歌は童謡、時代に合わせた写真をスライドにしよう、BGMは・・・と話し進んでいった。

だが、時間の制限もあり、100年間で45分でまとめなければならなかった。

チームの皆で必死に集めた人間市史・博物館資料・図書館資料・膨大な量の写真などに埋もれながら、時にはなごやかに、又あるときはケンケンガクガク、役所の会議室が盛り上がった。

そんな中で私は、杉山さんと二人で【歌と映像で綴る人間の百年史】のたたき台を作る、という大役を仰せつかったのだった。私の持ち分は前半。百年前から市制の引かれる昭和41年までの30分間。これは大変なことになった。

たまたま20年ほど前から、舞台に携わり、脚本も何本か書いていたので、観客の方々に何かか伝わり、その観客の感動の鼓動が・・・舞台の袖で感じられたときの何ともいえない、胸のなかで何かかキュンと詰まるような素晴らしい想いも又、よく知っていた。

ただ、私自身人間市民となって、やっと15年を過ぎたところだ。が、人間は100年前はどんな町だったのだろうか、とても興味をおぼえていた。まだまだ知りたいことは山ほどあった。

きっと、私と同じ考えを持っている方が、沢山おられるのではないだろうかと思いつながら、いつのまにか、みんなの汗の結晶である資料の山の中でストーリーを書きすすめた。

そして・・・

2000年12月3日 山口百恵ではないが、小春日和の 穏やかな日だった。

場所は産業文化センターホール。 「第6回生涯学習フェスティバルが開催されました」というFM人間の女性アナウンサー篠田さんの第一声からセレモニーはスタートした。

会場おほぼ満員だった。舞台一面には、白の紗幕が降りてその向こうには【童謡連盟】の皆さん達が腰を下ろしているのが透けて見えている（黒木さんのアイデアだ）。 BGMはピアノの生演奏（生涯学習課の浅見さん、本当に無理を言ってごめんなさい ゆうべ眠れなかったでしょう）

紗幕に、百年前の扇形屋の映像が映し出される。（馬車鉄道の線路の跡もちゃんと写った。よかった）

客席にパソコンを置いて 水村さん・小岩井さん・横山さんが苦心して映し出している。

入間に鉄道が写かれたのは、85年も前の大正5年だったのだ。今の西武鉄道、そのころは武蔵野鉄道・・・

映像が消え舞台が少し明るくなると 童謡連盟の皆さんが一斉に静かに立ち上がり、「きいてきいっせい新橋を・・・」と歌う。

歌が終わると、又静かに座る。その影が、動く大道具としてまた、舞台を美しくしている。

関東大震災は、入間でも被害の写真が残っていた。(戦前のアマチュア写真家・増田昌巳さん多大なご協力に感謝申し上げます)

大正14年に豊岡公会堂で催された「豊岡大学」の様子が映し出され、犬養毅 や 新渡戸稲造の名が出る。(客席は水を打ったように静まりかえってじっとスクリーンをみつめている。)

さすがにナレーションは本職、澄んだよく透る、歯切れの良い声に着きつけられる。(スタジオと違い、ゆっくり語るのは大変だったでしょう?)

時代は変わり、昭和の初めの入間は、麦や桑の畑、雑木林、茶畑や水田など豊かな自然がたくさんあったことが映像を通じて伝わってくる。

10年計画でやっと八高線が開通したのが昭和6年、汽車の通過による危険回避のため、茅葺き屋根から瓦に替えた というエピソードもその時代ならではです。

(SLの音・写真……童謡 里の秋、と続くと、故郷を思い出された方 でしょうか、それとも……涙ぐんでいる方が沢山おられました。)

しかし……穏やかなことばかりではなかった

昭和6年の満州事変、昭和12年には日中戦争、そして……昭和16年から開始されたアジア太平洋戦争へと日本は突き進んでいったのだ。

昭和8年に所沢に陸軍航空学校が開校され、その分教場として入間に狭山飛行場が出来た。

当時東金子・元狭山・宮寺の約30万坪が買収された。(現在の武蔵工業団地の辺りです。)

広大な山林原野が、草原の飛行場ご生まれ変わり、格納庫や宿舎・飛行訓練台などが次々と建てられた。また、昭和12年には、豊岡町と入間川町にまたがる10万坪の土地が買収され、豊岡町には陸軍士官学校が建設された。

昭和17年には豊岡陸軍病院が竣工となった。現在、市民体育館や、保健センターの建っているところは、戦時中は、陸軍病院、戦後は国立療養所豊岡病院があった。

この豊岡病院に21歳の若さで入院し、27歳で亡くなるまで、短歌を作り続けた薄幸の詩人「相沢トヨ子」さんがいた。

いつも笑顔を絶やさず誰にも愛された「相沢さん」のために100名近くの方が協力し、歌集《りんどう》が出版されたとのこと。

揚花火 我が目撃いで消えてゆく

闇にひときは 黒き森かげ

さて場面は舞台特設エプロンステージへと移る。

ライトが当たるとそこには……テーブルを中心に、市長・教育長・フェスティバル実行委員長(松永さん)が腰掛けしている。

「おー」というどよめきを尻目に、対談が始まる。(エプロンステージには誰も気が付かなかったのだ。成功だ)

今回のフェスティバルのテーマは【遊び・ふれあい・学びの場】であった。

まず、市長には、少年時代の遊びや大人とのふれあいを語っていただき、次に、教育長には少年時代や当時の学校の様子をお話しいただいた。

突然の質問にももかわらず、市長も教育長も、すっかりリラックスされ、少年時代を愉しげに、そして熱く語って下さいました。(松永さんの話術に佩服です)

会場の皆さんも、普段絶対見られない市長や教育長の、少年時代の素顔にふれ、すっかり和やかな雰囲気になったところで、舞台は後半にさしかかる。

童謡連盟の【翼をください】の透きとおる歌声に乗って・・・

昭和41年11月。市制誕生です。

この10年ほど前に豊岡町と周辺の村が合併し武蔵町となっていたが、更に西武や二本木地区が合併して人間市が誕生した。県下25番目にあたる人間市は、当初わずか4万6千人だった。日本の人口は1億人を突破した。その頃の人間市は、昭和35年藤沢地区の角栄団地開発を皮切りに一戸建て住宅が次々と建設された。林や田畑が切り開かれて行き、【埼玉都民】と呼ばれる人々のベッドタウンとして人口も膨らんでいった。

急激な人口の増加に合わせて小中学校も次々建設された。現在のまるひろデパートの向かい側にあった市庁舎が現在地に移転したのは昭和49年、同じ頃市民会館や、運動公園などの施設も充実し始め、この頃から【香り豊かな緑の文化都市】というスローガンが使われるようになった。

畑の作物が桑や麦から、除余に【お茶】に変わって行き、茶畑の広がる景観が見られるようになったのは人間市が誕生した前後のことです。

ナレーションにあわせて、人間市の移り変わりが次々と映像で映し出される。

(水村さーん、パソコン切替え間に合いますか？ 大丈夫？ がんばってね)

昭和45年には、そのころ少年少女だった人たちに、忘れられない出来事があった。

ローカル色豊かに茶畑の中を、ゆっくりと走っていたD51機関車が八高線から別れを告げるときが来たのだ。お別れのその日、機関車に乗った人、写真を撮った人、旗を持って一緒に走った子供達・・・

ここでいるま朗読の会の富田さんが紗幕の向こうに登場する。

紗幕にはサトウハチローの詩が映し出されている。

落ち着いた、心にしみる朗読だった。

一方昭和41年の武蔵工業団地の造成に伴い産業道路の充実がなされた。

国道16号の増幅工事・武蔵バイパス・299バイパスの開通へと進んでいった。

昭和54年には10万人の市民が住む町となった人間市も、次第に一人ひとりが心の充足にも目をむけるようになっていった。

人間市は昭和61年10月新潟の両津市、そして昭和62年10月にはドイツのヴォルフラーツハウゼン市と姉妹都市を結んだ。

異文化にふれることの素晴らしさや大切さを学ぶことは、同時にわか町のことを知るチャンスかもしれません。

国では生涯こわたり自由に学び、お互いに認め合う【生涯学習】の考え方が強くなり、これと前後して人間市でも、市民の様々な学習の要望に合わせて、公民館や図書館・体育館・武道館が地域の身近な場所に建てられ、博物館・リサイクルプラザやミーゴなど、次々に生涯学習施設が充実してきています。

今回は21世紀を目前に【歌と映像で綴る20世紀・・・そして故郷いるま】をお贈りいたしました。

悲喜もごもの100年間のかがたつたでしょうか。

皆様の心の中にひとつでも残るものがあれば、そして私たちが住んでいるこの町が、いま、こころのふるさとになれば幸いと存じます

最後にふるさと【いるま】をこころに皆さんと一緒に童謡【ふるさと】を歌って、このセレモニーを終了したいと思います。・・・というナレーションと同時に会場から【ふるさと】の大合唱が・・・。

鳴りやまない拍手の中 緞帳が静かに降りました。

PS： 照明の方々・舞台装置の方々・音響効果の方々・出演者の皆様 会場の沢山の方々、  
愉しげに少年時代の思い出を語って下さった

市長さん・教育長さん、そして・・・この機会を与えてくださった

生涯学習をすすめる市民の会 にこころから感謝しております。

みんなのこころが一つになった 感動の【この日】を

わたしは忘れない

2000/12/3 塚田 とも子

## 生涯学習セミナー研修報告

生涯学習課主査 吉川 秀夫

生涯学習推進セミナーが国立教育会館社会教育研修所において、平成12年10月16日(月)～20日(金)の5日間に亘り、全国の生涯学習関係者の参加により開催されました。

生涯学習の振興について、生涯学習審議会の答申に基づき生涯学習社会の実現に向けた基盤の整備がすすんでおり、多くの市町村で生涯学習による成果をまちづくりに生かし、地域社会に還元していく取り組みが全国的に行われているとのことでした。

行政として、住民の参加意欲を汲み上げ、関係団体との連携を深めながら地域社会を活性化させ、その成果を地域づくりに生かすことが必要となっており、今回のセミナーでは、学習の成果を活用した学社連携・融合、住民参加、NPO 支援などの生涯学習のまちづくり推進事業や生涯学習のモデル事業など、多くの実践事例が発表されました。

紙面の都合により、各事例から3件ずつ発表がありましたが、1件ずつ概要を紹介させていただき、他の2件はテーマのみの報告とさせていただきます。

### 1. 地域の形成主体としての青少年育成

#### ① 学びの支援ボランティア「野塾」 高知県野市町教育委員会 池知 龍介 氏

野市町は、県内でも住環境には恵まれているが、人口の増加に伴い住民どうしの連帯意識が薄れたり、近所付き合いや会合、行事などへの参加が少なくなったりと課題が増えていた。

特に、子どもたちの問題として、子どもたちの遊ぶ姿が見えないという声が、地域教育推進協議会で議論された。町民対象に実施したアンケートでもそれが明らかとなり、遊びの支援ボランティア事業が始まった。企画は教育委員会、運営は町民が行い、自然の中でいろいろな遊びや体験をすることになった。

「のいち遊びすとクラブ」の結成により、子どもたちの野外活動の支援、活動を通して地域活動のリーダーの育成、子どもたちも大人も楽しめる活動をねらいとして、自主的な活動を目指している。「野塾」では、子どもたちが自然体験の中から様々な学びをするために、自然体験、文化伝承、仲間づくりに視点をおき、企業や運営にあたっている。

#### ② 「よるの協育委員会」事業 岡山県加茂川町教育委員会 岸本 久夫 氏

#### ③ 子どもプランと体験的地域理解 埼玉県新座市教育委員会 増子 義久 氏

## 2. 地域で学習成果を生かすシステムづくり

### ① 修了生を各種委員会に「ましこ町民大学」 栃木県益子町生涯学習課

櫻井 英樹 氏

益子町では、生涯学習によるまちづくりの取り組みの一つとして、ましこ町民大学を開講し、行政主導のまちづくりから町民主役のまちづくりを行うための人材を育成している。

テーマは、「わたしが主役「まちづくり」」とし、町民大学を通して住民の自意識をいかに拡大していくかが、課題とのことである。内容は、約半年間、週1回、20回を超える講義と演習を行い、受講した人たちが生涯学習によるまちづくり、町行政の現状や計画、先進地の事例などを研究したり、まちづくりの政策についての討議や発表を行うものである。大学の修了者には、町民学士の称号を授与し、地域でのコミュニケーション活動や地域活動のリーダーとなり、まちづくりに参加している。

注目すべき点は、大学の卒業生が自主的に大学院「悠楽塾」を設立し、まちづくり研究会などの専門学科で研究を継続し、その成果を政策提言として町へ提出するなど、新しいまちづくりが生まれている。

### ② 佐倉市民カレッジとサークル化支援 千葉県佐倉市教育委員会

羽根井 禎敏 氏

### ③ 武生ユニバーシティの講師養成 福井県武生市生涯学習センター

國定 博司 氏

## 3. 地域の発展に生かす住民参画の実際

### ① パソコンスキルを生かしたボランティア活動 仙台シニアネットクラブ

庄子 平彌 氏

仙台シニアネットクラブは、仙台中央郵便局の主催する「情報ひろば」の無料で開催する「60才からから楽しむパソコン教室」で学んだ受講者が、今度はパソコン教室の講師となって、次々に高齢者の社会参加、社会貢献を拡大していくことで注目されている。

平成10年5月に発足した組織であるが、1年間に96回、出動は延べ275日、受講者は1,512名であり、1年間のサポーターとしての出動は延べ1,730名にもなり、地域の情報化を推進している。

このクラブは、行政、企業、学校、市民団体と連携を深め、特に学校教育に高齢者の生涯学習の成果を生かしている。生徒のパソコン能力の格差について指導方法を工夫し解消したり、生徒が高齢者に教えたりするという学社融合の新しい体験もしている。

地域の公民館等で指導にあたるケースも増えているが、高齢者の情報化教育、小中学校の生徒の情報化教育を中心に学社融合を推進し、学校が地域の文化センターとし

ての役割を果たすために活動していきたいとのことである。

② 市民による基本構想の素案計画 みたか市民プラン21会議

宮川 齊 氏

③ 生涯学習まちづくりワークショップ 広島県廿日市市教育委員会

増村 光恭 氏

4. 情報技術の確信をまちづくりに生かすには

① 情報推進はSIPにおまかせ? 北海道標茶町総務課 後藤 英之 氏

標茶インターネットプロジェクト(SIP)は、地域にインターネットのプロバイダーがなく、アクセスするのに高額な電話料がかかるため、町内にアクセスポイントが求められていたことから始まった事業である。

このプロジェクトは、地域情報化や調査研究を目的として、町内の学校関係機関、民間団体、企業、行政機関や趣旨に賛同する人たちが構成されている。

活動については、ボランティアをベースとして、様々な活動を行っており、機器の保守費用、回線の使用料とプロバイダー経費は町が負担し、使用料で運営を行っている。

また、地域情報化セミナーやCGコンテストを開催したり、地元の(過疎)仮想商店街への支援をするなど、地域情報化の推進に努めている。

② オンラインによるまちづくり講座 千葉県柏市中央公民 遠藤 義一 氏

③ 県立生涯学習センターのまちづくり支援 新潟県立生涯学習センター

渡邊 正親 氏

5. 関連行政機関等との連携によるまちづくり

① 公設「市民」営のコミュニティ施設 草津コミュニティセンター

仲野 優子 氏

滋賀県の草津市の駅前に国鉄清算事業団が所有していたマンションが草津市に寄贈された。その建物を草津コミュニティ事業団が無料で借り、市民に運営を委託する公設市民営のコミュニティサポートセンターとして活用されている。

開設3年目であるが、42団体のホームステーションであり、まちづくりに参加したいというボランティアで運営され、公募による登録制度を採用しており、子育て支援、環境問題を取り上げる団体も多いようである。

情報発信基地として、サーバーを設置し、大学生がボランティア活動を行ったり、窓口の他に喫茶コーナーも設けており、市民の憩いの場ともなっている。

ボランティアマネーという地域通貨（おうみ）を発行し、金銭の代用ともなっているが、個人間のボランティアのやり取りにも使用され、ボランティアの活性化にも役立っている。子どもには環境事業にも協力するともらえるエココインもある。

NPO の中間支援センターとして、市民活動の支援にも力を入れている。

- ② 学校を取り込んだ地域づくり 長野県大町市教育委員会 大日方 寿二 氏
- ③ コミュニティ醸成と職員意識の改革 山形県高畠町教育委員会  
山木 義昭 氏

## 6. NPO とのパートナーシップをまちづくりに生かすには

NPO 活動の支援方策と実際 三重県生活部生活課 NPO 室 出丸 朝代 氏

NPO 法施行の日、平成10年12月1日、三重県市民活動センターが市民活動の拠点として開設された。その取り組み状況などが紹介された。

平成10年4月1日、市民による市民活動センター開設準備会「みえ NPO 研究会」が26名の委員により組織され、検討が始まった。毎月の研究会以外は、ボランティアで、記録、パソコン入力等は行政ではなく、すべて自分たちで行い、会議は公開して、インターネットで情報を開示し、参加できない人たちの意見を集め、反映されたのである。

その成果が、「みえパートナーシップ宣言」である。宣言のキーワードは「夢の実現」とのことである。行政は、NPO のことをよく知る努力をし、市民と協働することが大切であり、市民の活動を支援することである。行政として、場所の提供と情報の提供をしていくことが、市民活動を促進していくことになり、市民主体の公共社会になっていくとのことである。

- ② 生涯学習分野の NPO の連携によるまちづくり支援事業  
山梨県山梨市教育委員会 石場 正敏 氏
- ③ NPO として自治体に求めること NPO サポートセンター理事長  
山岸 秀雄 氏

## 市民の皆さんから教えていただいたこと

生涯学習課主任 今井文香

私が職場を入間市博物館から生涯学習課に移って、はや3年が経ちました。

はじめは、同じ部内の似たような仕事と安易に考えていましたが、市民の方々とのお付き合いの違いとまどい、私の中にあつた「市民像」を大きく変える事になりました。

博物館の時には、かつての市域の暮らしや産業を教えていただく対象であり、それを通して学んだ事を伝える対象が「市民」でしたが、それが「生涯学習によるまちづくり」とともに「市民」に変わっていったのです。それは、生涯学習課で出会った市民の会をはじめとする多くの市民によって、まちづくりや行政に市民が主体的に関わることの大切さを教えていただいたおかげだろうと思っています。「市民参加のまちづくり」などという言葉は、机上では理解したつもりでいましたが、それを実感することができたのは、皆さんとの共同作業を通してのことでした。

とはいえ、行政だけで進める「仕事」と異なり、様々な価値観を持った皆さんとの会議は、なかなか効率よく、スムーズには運びません。しかし、こうした試行錯誤の時間こそが、互いの立場や考え方への理解を深め、これからのまちづくりに欠かせない時間だと思えるようになりました。現に、市民の方々が関わったからこそみせる企画力や事業への愛情、情報収集・伝達力に脱帽し、終わった後、今までにない充足感を覚えることもしばしばありました。

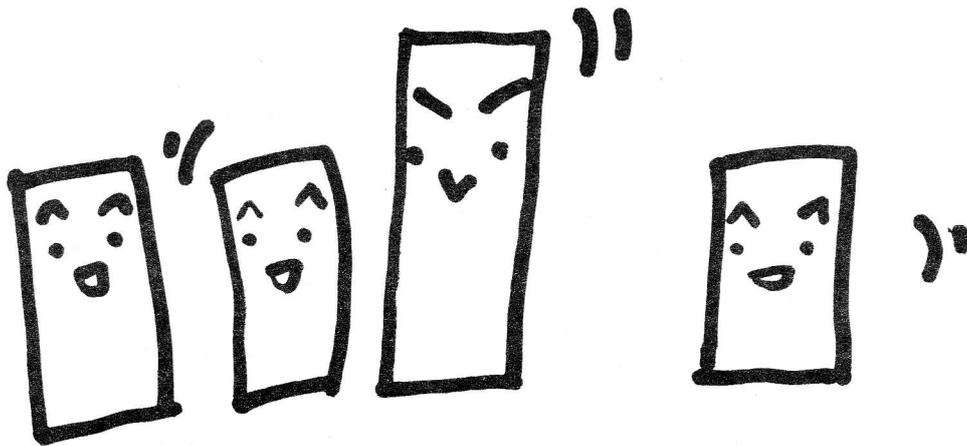
茨城県日立市では、「ひたち生き生き百年塾」という名で、様々な世代や立場の市民とともに、魅力的な生涯学習事業を展開していますが、以前研修で日立市の職員がおっしゃっていた「100年かけて、じっくりと市民に生涯学習が浸透していけばいい」という言葉が私の中で大きな励みになっています。

昨年のフェスティバルのオープニングで、入間の20世紀を古写真と歌でふりかえる企画を行いました。その時に強く印象に残ったのは、激動の時代を生き抜いた市民の底力と、また、まちの歴史が都市整備や開発から、近年、市民一人一人の心の充足や環境の問題へと変わっていることでした。

これらの変化は、次の百年に向かう序章であると思います。「入間市史 21世紀編」には、目次に「生涯学習によるまちづくり」という項目が設けられ、市民が時代や地域の課題に対処しながら、互いに学び合い、認め合う社会を作っていったことが記述されるようになれば…などと、未来の人が見たら大笑いするようなことを考えたりもします。しかし、日立市のように、本当に市民に浸透するには長い時間がかかるということを充分理解しながら、百年後少しでも実現できるように、あせらずじっくりと取り組み、市民の方々のお手伝いをしていけたらと思っています。

# people

200 1 .2002



## 平成13年度入間市生涯学習をすすめる市民の会 実績報告

入間市生涯学習をすすめる市民の会は、以下の入間市生涯学習推進計画7施策に基づいて活動しています。

- ① 生涯にわたる学習機会の充実
- ② 学習情報の提供と相談体制の整備
- ③ 指導者、ボランティアの養成と活用
- ④ 学習成果の評価と活用
- ⑤ 生涯学習関連施設の整備・充実
- ⑥ 推進体制の整備・充実
- ⑦ 大学、企業、民間、団体との連携

注 ①～⑦は上記の該当する施策

継続 は平成14年度も予定されているもの

共 は、生涯学習課と一緒に取り組んでいるもの

### 1. 第7回いるま生涯学習フェスティバルの開催

②③④⑦

継続

共

平成13年12月2日(日) 入間市産業文化センター他で実施

市民の会全委員9名と関係課職員11名で実行委員会を組織

参加者・来場者 のべ7000人 協賛 174件

参加団体(サークル・民間教室、学校、企業等) 94団体

ボランティアスタッフ 55人

「元気!やる気!活気!!」をキャッチフレーズに、NHK手話ニュースキャスターの丸山浩路氏による元気講演、地域での小中学校支援や地域に開かれた高校・大学をテーマにした公開ディスカッション、多くの団体・個人による実演・体験コーナー等、多彩な催しを実施した。

### 2. 「いるま学びの場 入間市生涯学習サークル・教室一覧」製作

②

継続

共

入間市生涯学習情報収集・公開システム検討委員会(関係課職員とともに組織)で、体育活動分野の情報収集方法を検討し、それらの情報を加えた「いるま学びの場 入間市生涯学習サークル・教室一覧」を製作した。

### 3. FM入間との連携

②④⑦

継続

委員・協力委員・FM職員と1~2ヶ月に一度企画会議

生涯学習に取り組む市民をPRしたCM 本制作、年間 回放送

「気ままにティータイム」他さまざまな番組に多数情報提供。

4. 生涯学習情報紙「かがやく」の企画・編集協力 ②④⑦ 継続 共  
第13・14号企画編集協力 委員3名・協力委員1名が編集委員会に参加。
5. 学校との連携 ②③④⑥⑦ 継続 共  
フェスティバルでの学校、市民、関係課職員とのディスカッションや、「総合的な学習の時間」担当教諭との意見交換等を行い、学校に対する地域の支援のあり方や必要な情報等について、現状把握や検討を行った。
6. 市民意識調査の実施 ⑥ 継続 共  
目的 生涯学習についての市民の意識を探り、生涯学習推進施策の現状や課題を把握する。  
対象 市内在住の40歳以上の男女 1,000人  
調査期間 平成13年10月1日～10月20日  
回答率 49% (490人)
7. 市民の会ホームページ開設準備 ⑥ 継続  
市民の会のホームページ開設にむけて、維持管理方法や内容等について、検討を行った。
8. 視察・研修 ⑥ 継続  
3月18日 新潟県長岡市を視察し、市の生涯学習の取り組みや学校における人材教育について研修。15名参加。  
3・4月 パソコン研修。
9. 会報（事業報告書）編集 ⑥② 継続  
平成12・13年度の活動報告をまとめた。
10. 市民活動連絡会議の設立 ⑦ 継続  
イベント等の事業を継続して行っている市民活動団体の交流や情報交換、連絡調整を目的として、市民活動連絡会議を開催した。
11. 協力事業 ②⑦ 継続  
市民が主体となってすすめる生涯学習事業を積極的に支援した。
12. コーディネート事業 ②③④⑦ 継続  
個々の委員が、学校授業・公民館事業・市民大学・他の団体や実行委員会の事業等に講師を紹介した。

## 入間市生涯学習をすすめる市民の会委員名簿

平成 13 年 4 月 1 日現在

	氏 名	活 動 分 野 等
1	川野英明	健康太極拳、ウォーキング
2	河嶋典子	障害児ボランティア、手話ボランティア
3	栗原良子	東野高校講師（現代詩）
4	斎藤昌紀	ウォーキング
5	下野武司	城西大学経済学部教授、県金融広報アドバイザー
6	杉山若江	公務員
7	曾根直行	入間遊び場づくり協会
8	土屋照子	書道ボランティア
9	鶴田優子	幼児教育、着付け、水泳指導
10	並本寿紘	会社員、日本テニス協会公認指導員
11	永石珠江	民生児童委員
12	野村和雄	健康生きがいアドバイザー、社会保険労務士
13	袴田友久	パソコン
14	菱千代子	博物館協議会委員、絵画、美術全般
15	増岡達也	グラフィックデザイナー
16	◎松永輝義	幼児教育、家庭教育
17	三浦はるみ	SAC 埼玉代表さいたまチャイルドライン運営委員
18	室山茂子	画家
19	森田美那子	入間台リサイクルグループ代表
20	○山尾聖子	杉野女子大学講師（フランス語）、二八落語会主宰

◎会長 ○副会長

[男性 9 名、女性 11 名]

平成13年度入間市生涯学習をすすめる市民の会

収 支 決 算 書

(収入)

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	説 明
補 助 金	1,300,000	1,300,000	市補助金
繰 越 金	19,628	19,628	
諸 収 入	72	115	預金利子
合 計	1,319,700	1,319,743	

(支出)

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	説 明
総務費	170,000	175,911	
会議費	50,000	25,633	
事務費	50,000	78,183	封筒代・名刺
備品費	50,000	52,095	CD-Rドライブ・スキャナー
負担金	20,000	20,000	万燈まつり・観光協会
事業費	925,000	1,125,913	
普及奨励費	150,000	111,655	CM放送
調査研究費	400,000	140,027	市民意識調査
事業活動費	355,000	716,281	フェスティバル 197, 413 情報収集 518, 868
研修費	20,000	157,950	長岡市研修・パソコン講習
予備費	44,700	0	
合 計	1,139,700	1,301,824	

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席	者
4月10日	火 10:00 ~ 17:00	和室		総務		書類整理	山尾 山増			
4月11日	水 13:30 ~ 15:00	505号		総務		監査	山尾			
4月11日	水 15:00 ~ 20:00	505号		役員		役員会	杉山 曾根 松永 山尾 (事) 宮岡 吉川 今井			
4月13日	金 10:00 ~ 11:30	事務局		総務		資料作成	山尾			
4月13日	金 16:00 ~ 17:30	事務局		総務		資料作成	山尾			
4月17日	火 14:00 ~ 17:30	和室		総務		資料作成	山尾			
4月17日	火 15:00 ~ 17:30	和室		総務		資料作成	山尾			
4月17日	火 19:20 ~ 21:30	中央		定例会		4月定例会	川野 栗原 斉藤 下野 杉山 曾根 土屋 鶴田 永石 野村 袴田 菱 増岡 松永 壺山 山尾 (事) 吉田 田中 宮岡 吉川 今井			
4月17日	火 18:30 ~ 19:15	中央		定例会		交付式	川野 栗原 斉藤 下野 杉山 曾根 土屋 鶴田 永石 野村 袴田 菱 増岡 松永 壺山 山尾 (事) 吉田 田中 宮岡 吉川 今井			
4月25日	水 11:00 ~ 13:15	こむ		会報		企画会議	川野 齋藤 三浦 山尾 柳橋 (事) 吉川			
5月8日	火 9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
5月8日	火 18:00 ~ 21:00	和室		役員会		専業・予算案	松永 曾根 並本 杉山 袴田 鶴田 壺山 森田 (事) 宮岡 今井			
5月10日	木 13:30 ~	博物館				視察対応				
5月15日	火 9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
5月15日	火 19:00 ~	中央		定例会		5月定例会	川野 河嶋 杉山 曾根 土屋 鶴田 永石 野村 袴田 菱 松永 三浦 壺山 森田 山尾 (協) 秋葉 清水 高木 塚田 中内 (事) 吉田 田中 宮岡 吉川 今井			
5月22日	火 9:30 ~ 12:00	入札控		かがやく		編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
5月22日	火 19:00 ~ 21:10	入札室		フェス		実行委員会	川野 杉山 曾根 野村 袴田 菱 松永 山尾 (市) 宮岡 野口 水村 清水 津久井 神山 (事) 吉田 田中 宮岡 吉川 今井			
5月29日	火 9:30 ~ 12:00	入札控		かがやく		編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
5月29日	火 19:00 ~ 21:00	505号		学校選考		会議	曾根 永石 壺山 山尾 杉山 (協) 中内 (事) 宮岡			
5月30日	水 11:00 ~ 12:00	博物館		フェス		フェス役員会	山尾 杉山 (市) 宮岡 水村 津久井 (事) 吉川			
6月2日	土 10:00 ~ 11:00	FM本社		FM		企画会議	鶴田 杉山 増岡 長谷川 栗原 (FM) 篠田			
6月5日	火 9:30 ~ 12:00			かがやく		編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
6月6日	水 10:00 ~ 12:00	設計室		会報			川野 齋藤 山尾 (事) 吉川			
6月12日	火 9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
6月13日	水 14:00 ~ 16:00	大会議室		情報収集		全体会議	室山 川野 袴田 森田 (市) 中村 水村 (事) 宮岡 今井			
6月19日	火 9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 野村 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
6月19日	火 19:00 ~ 21:15	中央		定例会		6月定例会	川野 栗原 斉藤 下野 杉山 曾根 土屋 鶴田 永石 野村 袴田 菱 増岡 松永 壺山 森田 (事) 宮岡 今井			
6月26日	火 9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	永石 野村 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
6月26日	火 19:00 ~ 21:15	中央		フェス		実行委員会	川野 杉山 野村 袴田 菱 山尾 (市) 宮岡 野口 水村 清水 津久井 神山 (事) 宮岡 吉川			
6月28日	木 18:30 ~ 21:00	中央		情報収集		会議	室山 森田 川野 下野 袴田 山増 (事) 今井			
7月2日	月 14:00 ~			役員会?						
7月3日	火 9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	永石 野村 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
7月4日	水	和室		情報収集		書類作成	室山 袴田 (事) 今井			
7月10日	火 9:30 ~ 12:00	入札控		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
7月10日	火 13:30 ~	和室		フェス		会議?				
7月12日	木 18:00 ~ 20:30	アミゴ		調査研究		会議	並本 松永 斉藤 袴田 鶴田 (事) 今井			
7月17日	火 9:30 ~ 11:30	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
7月17日	火 19:00 ~ 21:30	中央		定例会		7月定例会	川野 栗原 斉藤 山尾 杉山 曾根 土屋 鶴田 永石 野村 袴田 菱 増岡 松永 壺山 森田 (事) 宮岡 吉川 今井			
7月17日	火 18:00 ~ 19:00	中央		フェス		実行委員会	川野 杉山 野村 袴田 菱 山尾 松永 永石 森田 壺山 斉藤 曾根 三浦 (市) 宮岡 野口 北原 水村 清水 津久井 神山 (事) 宮岡 吉川 今井			
7月19日	木 13:00 ~	和室		総務		会計引継ぎ				
7月24日	火 9:30 ~ 11:30	和室		かがやく		編集会議	永石 土屋 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席
7月24日	13:30 ~ 17:00	和室		情報収集		会議	室山 川野 袴田 (事) 今井		
7月28日	10:00 ~ 11:30	FM本社		FM		企画会議	杉山 栗原 野村 (FM) 篠田		
7月31日	9:30 ~ 11:50	和室		かがやく		編集会議	永石 土屋 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
8月7日	18:00 ~ 21:00	藤沢		調査研究		会議	並本 松永 斉藤 袴田 鶴田 (事) 今井		
8月21日	18:00 ~ 21:00	藤沢		調査研究		会議	並本 松永 斉藤 袴田		
8月22日		中央		フェス		フア合同会議	山尾 宮岡 北原 (事) 宮岡 吉川		
8月24日		和室		フェス		部会?			
8月26日	16:00 ~ 17:00	老人館の家		HP作成		会議	下野 斉藤 増岡 菱 袴田		
8月28日	9:30 ~ 11:30	和室		かがやく		編集会議	野村 永石 土屋 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
8月28日	19:00 ~ 21:20	中央		定例会		8月定例会	川野 栗原 斉藤 山尾 杉山 曾根 土屋 鶴田 永石 野村 袴田 菱 松永 室山 森田 (事) 宮岡 吉川 今井		
9月4日	9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	永石 土屋 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
9月4日	14:00 ~	和室		フェス		部会(銀断幕)	杉山 水村 (事) 吉川		
9月5日	10:00 ~ 12:00	水		フェス		部会(講演会)			
9月7日	18:10 ~ 20:00	藤沢		調査研究		会議	松永 袴田 斉藤 (事) 今井		
9月11日	9:30 ~ 12:30	和室		かがやく		編集会議	永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
9月11日	19:30 ~ 21:30	中央		フェス		部会(フェス)	曾根 永石 室山 杉山 (事) 宮岡 今井		
9月12日	18:30 ~ 20:00	アミーゴ		フェス		部会(広報)	野村 津久井 (事) 今井		
9月14日	19:00 ~ 21:30	中央		フェス		実行委員会	川野 杉山 菱 山尾 (市) 宮岡 野口 北原 水村 清水 津久井 神山 (事) 宮岡 吉川 今井		
9月17日		和室		総務		会計作業	袴田 鶴田		
9月18日	9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
9月18日	19:00 ~ 21:30	産文		定例会		9月定例会	川野 栗原 斉藤 下野 山尾 杉山 鶴田 土屋 並本 野村 袴田 菱 松永 室山 森田 (事) 吉川 今井		
9月19日	19:00 ~ 21:30	中央		フェス		部会(フェス)	曾根 室山 永石 水村 (事) 宮岡 今井		
9月20日	13:30 ~	中央		フェス		フア合同会議	山尾 宮岡 北原 (事) 今井		
9月21日	18:30 ~	アミーゴ		フェス		部会(広報)	野村 津久井 (事) 今井		
9月25日	9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
9月25日		和室		フェス		広報・役員会	山尾 杉山 宮岡 水村 (事) 宮岡 吉川 今井		
9月27日	18:30 ~	中央		フェス		部会(フェス)	杉山 並本 栗原 菱 (事) 宮岡		
10月2日	9:30 ~ 11:30	和室		かがやく		編集会議	土屋 野村 (編) 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
10月2日	9:30 ~ 12:00	505会議室		かがやく		編集会議	永石 (編) 池田 西垣 長谷川 (事) 吉川		
10月2日	9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	永石 土屋 (編) 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
10月2日	9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	永石 土屋 野村 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
10月2日	9:30 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	永石 土屋 野村 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川		
10月2日	10:00 ~	和室		総務		会計作業	袴田 鶴田		
10月2日	19:00 ~ 21:20	中央		定例会		10月定例会	川野 栗原 山尾 杉山 曾根 鶴田 永石 袴田 菱 松永 森田 下野 増岡 (事) 宮岡 吉川 今井		
10月2日	10:00 ~ 12:00	和室		フェス		広報・役員会	山尾 杉山 宮岡 水村 (事) 宮岡 吉川 今井		
10月2日	19:00 ~ 21:30	中央		フェス		実行委員会	川野 野村 菱 山尾 (市) 宮岡 野口 水村 清水 津久井 富田 (事) 吉川 今井		
10月2日	13:30 ~ 17:00	和室		フェス		会場配置会議	山尾 杉山 宮岡 水村 津久井 野口 神山 (事) 宮岡 吉川 今井		
10月2日	10:00 ~	和室		フェス		広報・役員会	山尾 杉山 宮岡 水村 津久井 (事) 宮岡 吉川 今井		
10月2日		和室		フェス		茶打合せ?			
10月2日	17:00 ~ 19:00	中央		フェス		部会(フェス)	曾根 室山 永石 水村 松永 (事) 今井		
10月2日	19:00 ~ 21:30	中央		フェス		実行委員会	山尾 野村 菱 袴田 杉山 (市) 宮岡 野口 水村 北原 清水 津久井 富田 (事) 宮岡 今井		

日	時	場	所	部	章	内	出	席
10月2日	土					万燈まつり		
10月2日	日					万燈まつり		
11月1日	木	16:00 ~	和室			フェス	役員会	山尾 杉山 西岡 水村 (幹) 宮岡 吉川 今井
11月2日	金	18:00 ~	産文			調査研究	会議	並本 松永 袴田 斉藤 (幹) 今井
11月6日	火	9:30 ~	505会議室			かがやく	編集会議	土屋 野村 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
11月6日	火	18:00 ~	産文			フェス	説明会	川野 杉山 曾根 野村 袴田 菱 松永 三浦 山尾 (市) 宮岡 野口 水村 北原 清水 津久井 神山 富田 (幹) 田中 宮岡 吉川 今井
11月7日	水	10:00 ~				フェス	装飾?	菱 斉藤 川野 袴田
11月13日	火	9:30 ~	入札控			かがやく	編集会議	永石 野村 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
11月14日	水	10:00 ~				フェス	装飾?	菱 斉藤 川野 袴田
11月14日	水	18:00 ~	アミーゴ			フェス	部会(フェイス)	曾根 松永 室山 永石 水村 (幹) 今井
11月15日	木	18:00 ~	藤沢			調査研究	会議	並本 松永 袴田 斉藤 (幹) 今井
11月20日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
11月20日	火	19:00 ~	中央			定例会	11月定例会	山尾 川野 斉藤 下野 杉山 曾根 並本 森田 永石 鶴田 野村 袴田 増岡 室山 菱 (幹) 宮岡 吉川
11月21日	水	10:00 ~				フェス	装飾?	菱 斉藤 川野 袴田
11月27日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	土屋 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
11月27日	火	19:00 ~	産文			フェス	部会(フェイス)	曾根 松永 室山 永石 水村 (幹) 今井
11月28日	水	10:00 ~				フェス	装飾?	菱 斉藤 川野 袴田
11月28日	水	13:30 ~	和室			フェス	実行委員会	山尾 野村 菱 袴田 杉山 松永 (市) 宮岡 野口 水村 北原 清水 津久井 神山 富田 (幹) 宮岡 吉川 今井
12月1日	土		産文			フェス準備		
12月2日	日		産文			フェス当日		
12月4日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	野村 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
12月11日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
12月18日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
12月19日	水	14:00 ~	和室			総務	会計作業	袴田 鶴田
12月20日	木	18:00 ~	藤沢			フェス	部会(フェイス)	曾根 松永 室山 永石 水村 (幹) 今井
12月25日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	永石 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
1月8日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	野村 土屋 永石 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
1月12日	土	10:00 ~	FM本社			FM	企画会議	杉山 栗原 増岡 (FM) 徳田
1月15日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	野村 土屋 永石 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
1月15日	火	14:00 ~	和室			総務	会計作業	山尾 袴田 鶴田
1月17日	木	15:30 ~	金子小			学校連携	教諭打合せ	曾根 (学校) 仲川 (幹) 宮岡 今井
1月22日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	土屋 永石 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
1月22日	火					総務	会計作業	山尾 杉山 袴田
1月22日	火	20:00 ~	産文			定例会	1月定例会	松永 山尾 室山 永石 曾根 菱 川野 斉藤 下野 野村 土屋 袴田 杉山 (幹) 宮岡 吉川 今井
1月22日	火	19:00 ~	産文			フェス	実行委員会	川野 斉藤 下野 杉山 曾根 永石 野村 袴田 菱 松永 三浦 室山 山尾 (市) 西岡 野口 水村 北原 清水 津久井 神山 富田 (幹) 宮岡 吉川 今井
1月24日	木	17:30 ~	藤沢			調査研究	会議	並本 松永 袴田 斉藤 (幹) 今井
1月29日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	土屋 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
1月30日	水	18:00 ~	藤沢			役員	役員会	松永 山尾 袴田 曾根 齊藤 杉山 森田
2月5日	火	9:30 ~	和室			かがやく	編集会議	土屋 永石 野村 (編) 池田 新宅 高橋(幹) 長谷川 西垣 (幹) 吉川
2月6日	水	14:00 ~	和室			会報		山尾 川野 齊藤
2月6日	水	15:00 ~	和室			市民活動会議	発送準備等	山尾 川野 齊藤 永石 室山 (幹) 宮岡 今井

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席
2月8日	金 13:30 ~ 15:30	藤沢公		情報収集	会議	室山 川野 梶田 森田 (事) 今井			
2月12日	火 9:30 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	永石 野村 (編) 池田 新宅 長谷川 西垣 (事) 吉川			
2月14日	木 13:30 ~ 16:30	入間川小		研修	フォーラム出席	栗原 山尾 (事) 今井			
2月15日	金 19:00 ~ 21:00	扇町屋公		学校連携	会議	曾根 栗原 杉山 室山 永石 松永 (事) 吉川 今井			
2月18日	月 17:00 ~ 20:00	アミーゴ		調査研究	会議	並本 松永 梶田 齊藤 (事) 今井			
2月19日	火 9:30 ~ 11:20	和室		かがやく	編集会議	永石 土屋 (編) 池田 新宅 西垣 (事) 吉川			
2月19日	火 19:00 ~ 21:30	中央		定例会	2月定例会	松永 並本 室山 永石 曾根 森田 下野 土屋 梶田 杉山 (事) 吉川			
2月20日	水 13:30 ~ 16:00	入札室		情報収集	全体会議	室山 梶田 森田 (市) 中村 水村 吉澤 大上 田嶋 坂本 (事) 吉川 今井			
2月22日	金 16:00 ~ 17:00	金子小		学校連携	教諭会議出席	曾根 松永 室山 栗原			
2月26日	火 10:00 ~	和室		HP作成	会議	下野 斎藤 杉山 (事) 吉川			
2月26日	火 9:30 ~ 10:10	和室		かがやく	編集会議	野村 土屋 (編) 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
2月27日	水 19:00 ~	中央		市民活動会議	会議				
3月5日	火 9:30 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	永石 土屋 (編) 池田 西垣 長谷川 (事) 吉川			
3月5日	火 13:00 ~	入札室		視察研修	会議	森田 永石 (事) 吉川			
3月6日	水 13:30 ~ 15:00	和室		情報収集	会議	室山 森田 川野 梶田 (事) 今井			
3月12日	火 9:30 ~ 11:30	和室		かがやく	編集会議	永石 土屋 (編) 池田 新宅 西垣 長谷川 (事) 吉川			
3月12日	火 17:00 ~ 20:00	藤沢		調査研究	会議	並本 梶田 齊藤 (事) 今井			
3月13日	水 13:00 ~ 17:00	和室		情報収集	免送作業	室山 森田 川野 梶田 (事) 今井			
3月14日	水 14:00 ~ 17:00	入札室		総務	会計作業	梶田 (事) 今井			
3月18日	月 6:30 ~ 19:30	新潟県真上市		視察研修	視察	川野 齊藤 下野 杉山 曾根 土屋 鶴田 永石 野村 梶田 菱 増岡 松永 室山 森田 山尾 (事) 田中 吉川 今井			
3月19日	火 9:30 ~ 11:00	和室		かがやく	編集会議	野村 永石 土屋 (編) 池田 新宅 長谷川 西垣 (事) 吉川			
3月19日	火 19:00 ~ 21:30	中央		定例会	3月定例会	齊藤 杉山 菱 野村 梶田 増岡 松永 鶴田 山尾 三浦 永石 下野 栗原 (事) 吉川			
3月26日	火 9:30 ~ 10:30	和室		かがやく	編集会議	野村 永石 土屋 (編) 池田 新宅 長谷川 西垣 (事) 吉川			
3月27日	水 13:30 ~ 17:00	和室		総務	会計作業	梶田 (事) 今井			

## 平成14年度 入間市生涯学習をすすめる市民の会 実績報告

入間市生涯学習をすすめる市民の会は、平成8年に策定された入間市生涯学習推進計画の下記7施策の実現をめざして活動しています。

- ① 生涯にわたる学習機会の充実
- ② 学習情報の提供と相談体制の整備
- ③ 指導者、ボランティアの養成と活用
- ④ 学習成果の評価と活用
- ⑤ 生涯学習関連施設の整備・充実
- ⑥ 推進体制の整備・充実
- ⑦ 大学、企業、民間、団体との連携

平成14年度は以下の事業について、202回の会議・作業を行いました。

1. 第8回いるま生涯学習フェスティバルの開催 会議・作業64回  
平成14年12月1日(日) 入間市産業文化センター他で実施  
市民の会委員9名と関係職員12名で実行委員会を組織  
参加者・来場者 延べ8000人 協賛 125件  
参加団体(サークル・民間教室、学校、企業等) 109団体  
当日ボランティアスタッフ 51名  
「生きること、学ぶこと」をテーマに開催。各分野ごとに参加団体による合同企画が実現し、運営形態が大きく変わった。ステージ発表、学校・市民・行政の意見交換会、まちづくりや子育てをテーマにしたディスカッション、実演・体験コーナー等多彩な催しを実施した。
2. サークル・教室情報を収集 会議・作業11回  
平成13年度に制作した体育活動分野の情報を加えた冊子及びHP「いるま学びの場入間市生涯学習サークル・教室一覧」の充実のため、入間市生涯学習情報収集・公開システム検討委員会(関係職員とともに組織)で、情報の収集・提供方法等の検討や情報更新作業を行った。
3. 市民意識調査報告書の制作・発行 会議・作業10回  
生涯学習についての市民の意識を探り、生涯学習推進施策の現状や課題を把握するために平成13年度に実施した市民意識調査報告書を編集・発行した。(200部)
4. 生涯学習情報紙「かがやく」の企画・編集協力 会議・作業40回  
第15・16号の企画編集協力(委員3名、協力委員1名が参加)

5. 学校との連携 会議 6回  
生涯学習フェスティバルでの学校・市民・行政の意見交換会や市内小中学校の「総合的な学習の時間」担当教諭との意見交換、情報提供を行い、学校に対する地域支援のあり方について検討を行った。
6. 講座開設検討 会議 15回  
市民による市民のための新たな講座を開設するため、検討会議を開催した。
7. 市民活動支援 会議3回  
行政内に事務局を持たない市民活動団体の交流や情報交換、連絡調整のため、市民活動団体連絡会議を開催した。
8. 掲示板設置 会議・作業10回  
市民団体主催事業のPRのための掲示板設置について検討を行い、「生涯学習けいじばん」2基を制作・設置した。
9. FM入間との連携 会議5回  
委員・協力委員・FM入間職員と1～2ヶ月に一度企画会議  
生涯学習に取り組む市民をPRしたCM制作・放送  
「気ままにティータイム」他様々な番組に多数の情報を提供
10. 市民の会ホームページ開設 会議・作業5回  
市民の会のホームページについて、内容や維持管理方法の検討を行い、開設した。  
<http://www.pc-happy.com/~syogai-gakusyu/>
11. 視察研修  
3月3日(月)長野県小布施町の視察を行い、第3セクター(株)アラ・小布施のまちづくりの取り組みについて、研修した。(16名参加)
12. 市民の会運営のための定例会・役員会・会計作業・パソコン研修・会報編集会議等 会議・作業32回

## 入間市生涯学習をすすめる市民の会委員名簿

平成 14 年 4 月 1 日現在

	氏 名	活 動 分 野 等
1	川野英明	健康太極拳、ウォーキング
2	栗原良子	東野高校講師（現代詩）
3	斎藤昌紀	パソコン
4	下野武司	城西大学経済学部教授、県金融広報アドバイザー
5	杉山若江	公務員、ガーデニング
6	曾根直行	入間遊び場づくり協会、伝統工芸絹織物製造
7	土屋照子	書道ボランティア
8	鶴田優子	幼児教育、着付け、水泳指導
9	並本寿紘	会社員、日本テニス協会公認指導員
10	永石珠江	腹話術、民生児童委員
11	野村和雄	健康生きがいアドバイザー、社会保険労務士
12	袴田友久	入間遊び場づくり協会、一級建築士
13	菱千代子	博物館協議会委員、絵画、美術全般
14	増岡達也	グラフィックデザイナー
15	◎松永輝義	幼児教育、家庭教育
16	三浦はるみ	SAC 埼玉代表、さいたまチャイルドライン運営委員
17	室山茂子	画家、染色作家
18	森田美那子	入間台リサイクルグループ代表
19	○山尾聖子	杉野服飾大学講師（フランス語）、二八落語会主宰

◎会長 ○副会長

[男性 9 名、女性 10 名]

平成14年度入間市生涯学習をすすめる市民の会

収 支 決 算 書

(収入)

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	説 明
補 助 金	1,300,000	1,300,000	市補助金
繰 越 金	17,919	17,919	
諸 収 入	81	10,270	預金利子等
合 計	1,318,000	1,328,189	

(支出)

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	説 明
総務費	170,000	250,723	
会議費	50,000	17,743	定例会等
事務費	50,000	32,980	郵便切手等
備品費	50,000	180,000	スタッフジャンパー
負担金	20,000	20,000	観光協会年会費、万燈まつり協賛金
事業費	1,111,000	1,058,514	
普及奨励費	150,000	100,000	CM放送
		35,000	ホームページ
調査研究費	210,000	210,000	市民意識調査
事業活動費	561,000	302,016	フェスティバル
		98,433	学習情報
		76,307	掲示板
		14,145	市民連絡会議
		45,000	会報製作
研修費	190,000	121,613	視察研修
		56,000	パソコン研修等
予備費	37,000	0	
合 計	1,318,000	1,309,237	

日	時	場	所	部	会	内	容	出席者
4月3日	17:00 ~ 19:00	藤沢		調査研究	報告書作成	並本	袴田 斉藤 松永	
4月8日	15:00 ~ 17:00	和室		役員	役員会	松永	山尾 杉山 袴田	
4月8日	19:00 ~ 21:00	アミーゴ		学校連携	会議	曾根	松永 栗原 室山	
4月9日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
4月9日	15:00 ~ 17:00	和室		会報	作業	山尾	斉藤 川野	
4月12日	18:00 ~ 20:00	東金子		調査研究	報告書作成	並本	袴田 斉藤 松永	
4月16日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
4月16日	19:00 ~ 21:30	中央		定例会	4月定例会	斉藤 下野 曾根 鶴田 永石 野村	(編) 新宅 池田 袴田 菱 増岡 三浦 室山 栗原 川野 森田 山尾	
4月23日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
4月23日	10:00 ~ 12:00	和室		情報収集	更新準備作業	谷		
4月23日	15:00 ~ 17:00	和室		会報	作業	山尾	斉藤 川野	
4月24日	10:00 ~ 12:00	和室		情報収集	会議	室山	袴田 川野 森田	
4月30日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
5月7日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
5月7日	15:00 ~ 17:00	和室		会報	作業	山尾	斉藤 川野	
5月9日	17:00 ~ 19:00	藤沢		調査研究	報告書作成	並本	袴田 斉藤 松永	
5月13日	19:00 ~ 21:00	アミーゴ		掲示板	会議	杉山	曾根 森田 袴田	
5月14日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
5月16日	13:00 ~ 16:00	和室		総務	決算監査	袴田 鶴田 下野 山尾		
5月16日	16:00 ~ 17:00	和室		HP作成	会議	下野	山尾 杉山 菱	
5月21日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
5月21日	13:00 ~ 17:00	和室		会報	作業	山尾	斉藤 川野	
5月21日	19:00 ~ 21:30	中央		定例会	5月定例会	栗原 斉藤 下野 杉山 曾根 永石 野村 袴田 松永 室山 森田 山尾		
5月27日	13:00 ~ 17:00	和室		フェス	会議	松永		
5月28日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
5月29日	14:00 ~ 17:00	505会議室		研修	パソコン研修	山尾 斉藤 菱 袴田		
5月29日	19:00 ~ 21:30	中央		市民連絡会議	会議	山尾	杉山	
6月3日	10:00 ~ 12:00	和室		講座開催	会議	杉山 並本 下野 山尾 森田 室山 野村 菱 鶴田		
6月4日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
6月5日	17:00 ~ 19:00	東金子		調査研究	報告書作成	並本	袴田 斉藤 松永	
6月7日	19:00 ~ 20:30	藤沢		掲示板	会議	杉山	曾根 森田 袴田	
6月11日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
6月11日	14:00 ~ 16:00	和室		情報収集	全体会議	室山	袴田 川野 森田 (市) 関谷 吉澤 水村 大上	
6月11日	19:00 ~ 21:30	東町		フェス	実行委員会			
6月14日	10:00 ~ 12:00	和室		情報収集	作業	谷		
6月18日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
6月18日	19:00 ~ 21:00	中央		定例会	6月定例会	松永 山尾 杉山 室山 袴田 菱 川野 森田 野村 斉藤 栗原		
6月25日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議	土屋 永石 野村	(編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	

平成14年度市民の会議・作業一覧

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席	者
6月26日	水 17:00 ~ 20:00	藤沢		調査研究		報告書		並本	袴田 斉藤 松永	
6月28日	火 19:00 ~ 20:30	FM本社		FM		企画会議		杉山	増岡 栗原 長谷川	
7月1日	月 19:00 ~ 21:00	アミーゴ		掲示		会議		杉山	曾根 森田 袴田	
7月2日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議		土屋	永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
7月2日	火 13:30 ~ 16:30	和室		情報収集		作業		谷		
7月3日	水 10:30 ~ 12:00	設計室		情報収集		会議		室山	袴田 川野	
7月5日	金 13:30 ~ 14:00	富士見公園		掲示		候補地下見		杉山	袴田 曾根 森田	
7月8日	月 10:00 ~ 12:00	和室		講座開催		会議		杉山	並本 菱 室山	
7月8日	月 19:00 ~ 20:00	アミーゴ		学校連携		会議		曾根	松永 栗原 室山	
7月9日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議		土屋	永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
7月9日	火 19:00 ~ 21:30	中央		フェス		実行委員会		谷		
7月12日	金 10:00 ~ 12:00	和室		情報収集		校正作業		袴田		
7月15日	月 13:00 ~ 15:00	和室		総務		会計作業		杉山	袴田 曾根 森田	
7月15日	月 19:00 ~ 20:00	アミーゴ		掲示		会議		土屋	永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
7月16日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議		川野	斉藤 下野 杉山 永石 野村 袴田 菱 松永 三浦	
7月16日	火 19:00 ~ 20:30	中央		定例会		7月定例会		袴田		
7月18日	木 13:30 ~ 15:00	和室		総務		会計		山尾	斉藤 川野	
7月22日	月 13:00 ~ 17:00	和室		会報		作業		土屋	永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
7月23日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議		山尾	斉藤 川野	
7月23日	火 13:00 ~ 17:00	和室		会報		作業		並本	袴田 斉藤 松永	
7月24日	水 18:00 ~ 20:00	藤沢		調査研究		報告書作成		杉山	並本 菱 室山 野村 下野 山尾	
7月29日	月 10:00 ~ 12:00	和室		講座開催		会議		土屋	永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
7月30日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議		山尾	杉山 袴田 山増 (市) 黒木 宮岡 鳥山	
7月30日	火 19:00 ~ 21:30	中央		フェス		実行委員会		室山		
8月1日	木 12:00 ~ ?	和室		フェス		オープニング		室山		
8月5日	月 10:00 ~ 12:00	豊岡配水場		学校連携		意見交換		室山		
8月6日	火 19:00 ~ 21:30	中央		フェス		団体企画会議		室山		
8月6日	火 20:00 ~ 21:30	中央		フェス		福祉会議		室山		
8月20日	火 9:30 ~ 12:00	大会議室		情報収集		発送作業		室山	袴田 川野 (市) 水村 大上	
8月20日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議		土屋	永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
8月21日	水 13:30 ~ 16:00	中央		フェス		ステージ会議				
8月21日	水 19:00 ~ ?	児童センター		フェス		子育て会議				
8月26日	月 10:00 ~ 11:00	和室		フェス		楽器体験会議		袴田		
8月26日	月 14:00 ~ 17:00	和室		会報		作業		山尾	斉藤 川野	
8月26日	月 19:00 ~ ?	アミーゴ		学校連携		会議		曾根	松永 栗原 室山	
8月27日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議		土屋	永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋	
8月27日	火 13:30 ~ 15:00	和室		フェス		広報会議		山尾	(市) 鳥山 大石 井上	
8月27日	火 18:00 ~ ?	産文センター		定例会		8月定例会				

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席	者
8月28日	水		中央	フェス		まちづくり会議				
8月29日	木		中央	フェス		福祉会議				
8月30日	金	10:00 ~ 12:00	和室	講座開催		会議		杉山 並本 菱 室山 野村 下野 山尾		
8月30日	金	13:30 ~ 15:00	入札室	フェス		ハレエ会議		山尾 (市) 宮岡 鳥山		
8月30日	金	19:00 ~	中央	フェス		レク会議		三浦 山尾 (市) 井上		
9月2日	月	19:00 ~ 21:30	アミーゴ	掲示板		会議		杉山 袴田 曾根 森田		
9月3日	火	10:00 ~ 12:00	和室	かがやく		編集会議		土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
9月3日	火			フェス		福祉会議				
9月5日	木	19:00 ~		フェス		オープニング				
9月6日	金	19:00 ~		フェス		子育て会議				
9月9日	月	17:30 ~ 19:00	藤沢	調査研究		報告書		並本 袴田 斉藤 松永		
9月10日	火	10:00 ~ 12:00	和室	かがやく		編集会議		土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
9月10日	火	19:00 ~ 21:30	中央	フェス		実行委員会				
9月11日	水	19:00 ~ 21:30	中央	市民連絡会議		会議		山尾 杉山		
9月13日	金	10:00 ~ 12:00	和室	講座開催		会議		杉山 並本 菱 室山		
9月17日	火	10:00 ~ 12:00	和室	かがやく		編集会議		土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
9月17日	火	19:00 ~ 21:30	中央	定例会		9月定例会		栗原 杉山 並本 松永 室山 山尾 曾根 斉藤 菱 川野 永石		
9月18日	水			フェス		横断幕				
9月18日	水	19:00 ~ 21:30	中央	フェス		まちづくり会議				
9月20日	金			講座開催		会議		杉山 並本 菱 室山 野村 下野 山尾		
9月24日	火	10:00 ~ 12:00	和室	かがやく		編集会議		土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
9月24日	火	9:30 ~ 12:00	和室	フェス		広報会議		山尾 (市) 鳥山 大石 井上		
9月24日	火	17:00 ~ 21:30	藤沢	調査研究		報告書		並本 袴田 斉藤 松永		
9月24日	火			フェス		福祉会議				
9月25日	水			フェス		レク会議				
9月26日	木	19:00 ~ 21:30	アミーゴ	役員会		会議		松永 山尾 杉山 袴田 曾根		
9月30日	月	19:00 ~ 21:30	アミーゴ	掲示板		会議		杉山 袴田 曾根 森田		
10月1日	火	10:00 ~ 12:00	和室	かがやく		編集会議		土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
10月2日	水	9:00 ~		フェス		横断幕				
10月5日	土	13:00 ~ 17:00	博物館	視察対応						
10月6日	日			フェス		広報会議		山尾 (市) 鳥山		
10月7日	月	10:00 ~ 12:00	和室	講座開催		会議		杉山 並本 菱 室山		
10月8日	火	10:00 ~ 12:00	和室	かがやく		編集会議		土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
10月9日	水	14:00 ~ 17:00	和室	総務		会計		袴田		
10月9日	水	19:00 ~ 21:30		フェス		実行委員会				
10月10日	木			フェス		福祉会議				
10月15日	火	10:00 ~ 12:00	和室	かがやく		編集会議		土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
10月15日	火	19:00 ~ 21:30	アミーゴ	定例会		10月定例会		菱 野村 松永 山尾 杉山 永石 下野 斉藤 袴田		

平成14年度市民の会会議・作業一覧

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席	者
10月16日	水 9:30 ~	和室		調査研究	報告書作成					
10月18日	金			フェス	福祉会議					
10月21日	月 13:30 ~	和室		フェス	幹事会			山尾 杉山 (市) 中澤		
10月22日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議			土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
10月23日	水 16:00 ~ 17:00	和室		フェス	会場調整会議			袴田 (市) 田中 鳥山 瀧澤		
10月23日	水			フェス	オープニング					
10月24日	木 9:00 ~ 12:00	和室		フェス	会場調整会議			菱 (市) 中澤 鳥山 大久保 野口		
10月25日	金 19:00 ~ 21:30	藤沢		フェス	手作体験会議			菱 (市) 大久保 野口		
10月28日	月 18:00 ~ 21:00	アミーゴ		学校連携	会議			曾根 松永 栗原 室山		
10月29日	火 10:00 ~ 12:00	和室		講座開催	会議			杉山 並本 菱 室山		
10月29日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議			土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
10月29日	火 19:00 ~ 21:30	産文センター		フェス	実行委員会					
10月31日	木			フェス	レク会議					
11月1日	金 13:30 ~ 17:00			フェス	横断幕					
11月1日	金 13:30 ~ 17:00	産文センター		フェス	ハレ会議			山尾 谷 (市) 宮岡		
11月5日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	オープニング					
11月5日	火 10:00 ~ 12:00	和室		フェス	編集会議			土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
11月6日	水			フェス	装飾・サイン			菱 袴田 川野 斉藤		
11月6日	水 19:00 ~ 21:30	産文センター		フェス	参加団体説明会					
11月12日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議			土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
11月12日	火 10:00 ~ 12:00	和室		フェス	装飾・サイン			菱 袴田 川野 斉藤		
11月12日	火			フェス	まちづくり会議					
11月13日	水 10:00 ~ 12:00	和室		フェス	装飾・サイン			菱 袴田 川野 斉藤		
11月17日	日	富士見公園		掲示板	設置作業			杉山 曾根 袴田		
11月19日	火 19:00 ~ 21:30	中央		定例会	11月定例会					
11月20日	水			フェス	装飾・サイン			菱 袴田 川野 斉藤		
11月20日	水 13:30 ~ 17:00	博物館		視察対応						
11月25日	月 10:00 ~ 12:00	和室		講座開催	会議			杉山 並本 菱 室山		
11月26日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議			土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		
11月27日	水			フェス	装飾・サイン			菱 袴田 川野 斉藤		
11月27日	水			フェス	まちづくり会議					
11月27日	水 13:00 ~ 15:00	和室		フェス	実行委員会					
11月29日	金			フェス	横断幕					
11月30日	土	産文センター		フェス	前日準備					
12月1日	日	産文センター		フェス	当日運営					
12月16日	月 10:00 ~ 12:00	和室		講座開催	会議			杉山 並本 菱 室山		
1月10日	金 10:00 ~ 12:00	東町		掲示板	会議			杉山 曾根 袴田		
1月14日	火 10:00 ~ 12:00	和室		かがやく	編集会議			土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋		

平成14年度市民の会会議・作業一覧

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席	者
1月15日	13:30 ~ 15:00	和室		総務		会計	袴田			
1月18日	14:00 ~ 17:00	藤沢		学校連携		会議	室山 並本 松永			
1月20日	10:00 ~ 12:00	和室		講座開催		会議	杉山 並本 菱 室山			
1月21日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋			
1月21日	19:00 ~ 20:30	産文センター		フェス		反省会				
1月21日	20:30 ~ 21:30	産文センター		定例会		1月定例会	栗原 斉藤 下野 野村 袴田 菱 松永 山尾			
1月28日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋			
1月29日	13:30 ~ 17:00	和室		情報収集		全体会議	室山 袴田 (市) 関谷 水村 大上			
1月31日	14:30 ~ 17:00	和室		役員会		会議	松永 山尾 袴田 斉藤 杉山			
2月3日	10:00 ~ 12:00	和室		講座開催		会議	杉山 並本 菱 室山			
2月4日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋			
2月14日	10:00 ~ 12:00	和室		講座開催		会議	杉山 野村 菱 室山			
2月18日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋			
2月18日	19:00 ~ 21:30	中央		定例会		2月定例会				
2月25日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋			
3月3日		小布施町		視察研修						
3月4日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋			
3月4日	13:30 ~ 16:00	中央		フェス		準備会	松永 山尾 杉山			
3月5日	10:00 ~ 12:00	和室		講座開催		会議	杉山 野村 菱 室山			
3月10日	10:00 ~ 12:00	入札控室		調査研究		校正	斉藤 袴田			
3月11日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋			
3月13日	13:00 ~ 15:00	和室		情報収集		会議	室山 袴田 川野			
3月18日	10:00 ~ 12:00	和室		かがやく		編集会議	土屋 永石 野村 (編) 新宅 池田 長谷川 西垣 高橋			
3月18日	10:00 ~ 15:00	和室		研修		パソコン研修	山尾 菱 袴田 斉藤 杉山			
3月18日	18:30 ~ 19:00	中央		新委員説明会			松永 山尾 土屋 川野 室山 永石 下野 袴田 菱 杉山 土屋 斉藤 増岡			
3月18日	19:00 ~	中央		定例会		3月定例会	松永 山尾 土屋 川野 室山 永石 下野 袴田 菱 杉山 土屋 斉藤 増岡			
3月24日	13:30 ~	505会議室		掲示板		会議	杉山 曾根 袴田			
3月24日	13:30 ~	505会議室		研修		パソコン研修	山尾 菱 袴田 杉山 袴田 斉藤			
3月24日	13:30 ~	505会議室		会報		作業	山尾 斉藤			
3月26日	9:00 ~ 12:00	505会議室		情報収集		市報記事作成	室山 袴田 川野			
3月28日	10:00 ~ 12:00	和室		講座開催		会議	杉山 並本 菱 室山			

## 生きがい探し

川野 英明

セカンドライフの生きがい探しの旅に出て、各種講座・健康法・趣味などにおいて試行錯誤・暗中模索、迷える子羊状態に陥ってしまった。

生涯学習をすすめる市民の会に応募し、その活動を通して各種ジャンヌ・年代においてかがやいている人・団体などとの出会い、学習・実践することにより迷路からの脱出を図り、そのとき「有意義な生涯であった！」と素直に言えるようになりたい。

## 生涯学習

河嶋 典子

現在、仕事は在宅介護のヘルパーをしています。生涯学習には、以前から漠然とした感心がありました。そして部会の一つに「学校と連携」があり、所属させて頂きました。短大時代に児童福祉を専攻していた関係もあって、その頃の子供達とは接触した経験はあっても、現在の子供達については殆んどわかりません。ただ、いろいろな意味で、難しい環境の中で生活していると聞いております。これからの日本、いや世界を担う今とこれからの子供達と何らかの形（レクリエーションも活動もその一つにしたいと考えてはいますが・・・）で関わっていかれたらと思っています。

宜しくお願い致します。

## 出会いの場

栗原 良子

今私が感じているのは、生涯学習がいろいろな職業や立場の違う人々、いろいろな世代の人々、つまり性格や年齢や立場を超えて出会える場ではないかということです。これは本当に楽しいことです。役職や肩書き、親である矜持も解いて純粋に学ぶからこそ新しい自分が見えてくる。そして、人との出会いが自分と世界を広げてくれます。

## 生涯学習の重大さ

斉藤 昌紀

仕事をリタイヤして早くも1年が経過。周囲に同じ境遇の人を多く見かけるこの頃。家計を背負い会社の環境に耐え自分を捨てひたすら努力した人々、それが今、腕に頭に多くの光る才能を保持したまま社会の片隅でただ自己のためにだけ生きている。その様な場面を多く見かける。次への展開が遅く頑固になったこのような人達に周囲の環境は冷たい。しかし、この様な人達は今後もっと増加していく。無力感を持った熟年層は早く老い、老年層は低年齢化し増大する。そしてそれがやがて地域の負担として大きくのしかかる日が来る。それは今後の社会を担う若い世代へも大きな負担を残す。私は、この様な方達の考

え方の最大公約数を知り地域の発展と結びつく接点を見つけたい。そして自分も含め私たち熟年者の今後の指針をはっきりさせたい。だから「市民の会」で「生涯学習に関する調査・研究」の部会に入らせて頂いた。若い人達より多く享受出切る「時間」を使ってせつかく長い時間をかけて培った知識と能力に更に磨きをかけながら「熟年・老年・学習年」の掛け声で頑張り、リタイヤ組が入間市の発展に手助けできるような気概と環境を創出する事が出来ないものかと言う事を考えていきたい。

### 人生90年時代の生涯学習

下野 武司

日本人は、男女ともこの30年間に平均寿命が10年以上のび、平均寿命は男77才、女84才であり、言わずと知れた世界の最長寿国である。この平均寿命とは、現在0才児の平均余命のことであって、この年になれば、大部分の人が、人生を終わるというわけではない。現在、65歳の人の平均余命は、男が約20年、女が約25年あり、人生90年時代という長寿社会はすでに現実のものとなっている。

わずか30年前までは、特に男性にとっては、60才までの現役時代をどう生きるかということが人生最大の問題であって、老後とはまさに余生であり、人生の付け足し程度の意味しか持たなかった。しかし、人生90年時代という長寿社会にあっては、老後30年をどう生きるかということが、人生総決算となる最大の課題であって、人生60年時代とは違った積極的な意味をもって迫ってきており、人類が史上初めて体験する未解決の大きな問題となってきた。

長寿社会、高齢化社会の問題というとすぐ、病気、介護や年金といったマイナスイメージが先行し、高齢化イコール厄介者、薄汚い存在、できれば遠ざけておきたい甚だ厄介な問題である。こうした状況の中で高齢者が如何に存在感を主張し、それなりの役割を演じ、充実した感動の人生を送るためには、まず健康で、存在感があって、少々の蓄えと、若者を惹き付ける魅力とか、威厳とまでは言わないまでも、高齢者としての豊富な経験と知識、  
見識をもつことが要求されるが、  
これを実現するのが生涯学習の実践だと思ふ。

### 会の活動は生活の一部

杉山 若江

市民の会のメンバーになって6年目になります。

いろいろな分野で活躍されている方々と知り合いになれば、私の交友関係にも幅と深みが増してきた感じがします。皆さんの優しさと刺激は、まるやかな温泉のようで、ぬくぬく

とドブプリ浸かっています。

フェスティバル部会6年、かがやく委員4年、普及奨励部会他、調査及び視察研修以外は経験してきました。どの部会も過ぎてしまえば、貴重な体験の積み重ねをさせていただけたと思います。

おだてに乗りやすく、思慮が浅い、その上お祭り大好き人間なので、お声がかかれば神出鬼没で顔を出します。

モットーは若々しく、しなやかです。メンバーの足を引っ張らないように気をつけながら、自分らしさが出せたら幸いです。

### 「遊び場」づくりを通じて

曾根 直行

目を輝かせて遊びに興じる子ども達。その遊びを通じて、仲間との付き合い方、危険を察知する方法を体験的に学んでいくのだと思っています。大人達はその子供達の行動半径を広げる機会を増やし、自らの責任で遊ぶことを築かせる努力をするのが役目だと思います。「生きる力」ってそんな経験の中で「心」に宿って来るとと思っています。その思いを少しでも、市民の会の活動の中で話していけたらいいなと感じています。

### 自己紹介

土屋 照子

2001年4月から生涯学習をすすめる会の委員として席をおきました土屋照子です。現在一人住まいです。人一倍好奇心旺盛と自負しております。私はこの会の内容をほとんど理解も把握もせずに市報を見て申込みました。第一回の例会に出席して大変な感銘を受けました。私の年令にはふさわしい？戸惑いました。

しかし皆さんより永く生きてきた私です。この会に相応しいか否かすぐに察知しました。大変温かく先輩の方々は私を向かえて下さったのです。

色々なキャリアを持たれた方、また私と同じにニューフェース7名の方とも何年もお付き合いいただいているかのような錯覚に陥りました。何だか私は何年ぶりかでこんな感動を受けたのです。

10の部会があり何の部会に入るかが良く判断できず、学校との連携とかがやくへ入りました。ファックスもパソコンも車もない私に何が出来ますか歩みは遅くとも前向きに生きたいと思います。今年は例年どおりの計画に学校との連携が入り動き出しました。

無理せずあせらず前向きに自分のために、委員として自主的に活動、運営されるのでやり甲斐はありそうです。皆様どうぞよろしくご指導下さい。

## 出会い・生きがい・ふれ合い

鶴田 優子

生涯とは・・・一生の間。また、そのうちのある期間。

その全てを大事にしたいと思っています。そこで私に出来る事は何だろうかと考えていますが・・・。

物事を見る時、それぞれの相手の目線に立ち、判断をする時は、頭の中をふる回転させ、知識・経験・他人の考え、話を聞き、耳をかたむけ人間らしい温かい人の流れと、集まりへのお手伝いが出来たらいいなと思っています。

## 自己紹介

永石 珠江

「いつまでも、何か目標を持って、輝いて、やる気の出る人生が送れるように願うのが、生涯学習だと思います。身近な年配の方々に、今、それが見られ、私もそうありたいとつくづく思い、いろいろと勉強させていただいています。」

## 市民の会委員受託への抱負

野村 和雄

「定年発、現役経由、健やか行き」のバスに乗り遅れないよう多くの方のご指導を大切にしつつ、生涯学習活動に取り組んでいきたいと思っています。

## 自己紹介

袴田 友久

静岡生まれの東京育ちです。

入間市には昭和51年から住んでいますが、在職中は単身赴任が多く、市民の感覚はほとんどありませんでした。

平成11年に、38年間勤めた会社（中堅建設会社）を卒業して、「サンデー毎日」の身となり、やっと入間市みんなのだと実感してまいりました。

なにかお役に立てないかと思案していたところ、地元の交通安全協会を手伝わないかとの話があり、引き受けました。しかし、こちらは、活動頻度が少なく、何かまだ出来ると思っていたところ、市報で「生涯学習をすすめる市民の会」の公募を知り、思い切って応募した次第です。

私は、この会に参加することが、自分の生涯学習だと捉えています。  
取得資格は、一級建築士・一級建築施工管理技師、宅地建物取引主任があります。  
趣味は、ドライブ・国内旅行・ゴルフ等です。  
これからも宜しくお願いいたします。

### 寄り道、迷い道（自己紹介）

菱 千代子

東京の大田区に生まれる。戦後の混乱期、幼少年時代を過ごした。小学校は1クラス60人以上の詰め込み教室であった。放課後は、缶蹴り、ゴム縄、ドッジボール、ローラーズケート等、ケガも忘れて遊びまくった。

小学校高学年より突如、外交派から室内はへ転向、貸本屋のマンガから始まった読書熱は、一挙に大人の本まで突き進む。この時以来、乱視、肥満に悩んでいる。中学時代は、自分でデザインしたセーラー服を着て通学し、鞆を持ったまま映画館に出入りしていたが、周囲の大人から注意された記憶が無い。

結局、高校、大学も放任教育だったようで、強い課題意識を持たないまま社会人となった。以来、寄り道、迷い道の旅は中年まで続く。興味の赴くまま、写真、エレクトーン、書道、油絵、英会話等、様々な分野に首を突っ込む事になった。趣味だけでは飽き足らず美術教師の道に転進。14年間中学生と泣き、笑いし、汗を流した。自分の絵を思いっきり描きたくて、教師の道を退く。

3年前、松戸市より入間市に転入。昨年より入間市博物館協議会委員を務めながら、郷土の勉強をさせて頂いている。知れば知るほど楽しい入間市である。

### 自己紹介

増岡 達也

- ① 知りたい人だけこっそりどーぞ
- ② 世の中デビューーは昭和の中期
- ③ 生まれも育ちも生粋入間
- ④ がりべん知らずの自然体

- ① 一生懸命やることは
- ② 学校で教えてくれない事ばかり
- ③ 苦しいことも、楽しいことも
- ④ 知らず知らずに“生涯学習”
- ⑤ 友人、家族に恵まれて
- ⑥ 腕がなります人生半ば！

### 生きる喜びを基にして

松永 輝義

生涯学習をいろいろな角度から応援しようと思い、市民の会に加わって数年、市民の方々への応援は思うようにはいかないが、一步一步前進していることは、生涯学習フェスティバルへの取り組みや各部会の動きを見ても確かなことと思います。私自身は長いこと子供の育ちに関わる仕事をしておりますが生涯学習に対するボランティア活動を通してさまざまな人々に出逢い、その中で多くのことを学ばせていただきました。考え方の違いや性格の違い、個々人の持つ能力など、触れ合う中で感じとり、自分の仕事に生かされたような気がいたします。生涯学習は各人が生きる喜びをその行動を通して感じられることが大切なのだと思えるようになったこのごろです。

### 私的 生涯学習

室山 茂子

生涯学習として何かに取り組めることは幸せです。

学ぶことが意識的 or 無意識的      学ぶことを与えられる or 与えられる状況  
 それから      まわりの人に恵まれる      時間をみつける      活動場所をみつける  
 そしたら      紆余曲折はあるだろうけれど、めげてなんかいられない。  
 どこか楽しいところをみつける・・・ひそかに楽しむ・・・

## 自己紹介

森田 美那子

私は、現在、区長会副会長として、7年目を続投しております。

その間[21世紀女性環境問題を語る]ダイヤプランのシンポジウムにて入間市代表で参加いたしまして、下記の活動内容を発表いたしました。

地域における廃品回収のみの収益金で集会所建設を実現しました。入間市では、“ごみで花を咲かそう”を目指し、廃油からの石鹸づくり、コンポスターの堆肥作り、EMぼかし、牛乳パックの作品展に出品等のごみ減量化へと展開し紹介させていただきました。当時、新聞、NHKにて報道され、関東近県から引き合いや問い合わせが、多く寄せられました。

最近では、四季折々の山野草、薬草を取り入れた、ガーデニング作りで、見事にごみで花が咲きました。リサイクルによる色彩豊かな花を視て、これからのライフスタイルに一歩前進、愛しい草花を視ている今日この頃です。

## 元気な人間市民

山尾 聖子

今年は、11の実行委員会に所属しています。私より若い実行委員長も増えて、年々隠居の立場になっていくのをうれしく思います。市民がとても力をつけ、多くの行政職員が1市民ボランティアとして関わるという理想的な形態も生まれてきています。

ところで、この実行委員会という重い名称は、何とかならないものでしょうか。

12月2日は私たち「7回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会」が主催です。

第8回にむけて軽やかで活発な市民の集まりを表す名前をどなたか考えてください。

## 私の生涯学習

三浦 はるみ

“人間は死ぬまで勉強だ”とは94歳で亡くなった祖母の口癖でした。

子供の頃は「えー！そんなに勉強するの！いやだなあ！」と思っていました。

でも本当でした。いくつになっても生きてる限り学んでいくんだらうと思っています。人の一生なんてきつとわずかな事しか知りえないのではないだらうか。しかし、人は何かにこだわって行こうとする。それが、生涯学習かな、と思えます。

私自信のこだわりは「子ども」です。子供達が幸せなら社会が豊かな証拠です。

2001年4月SAC(ステージ アート コーディート)埼玉を発足しました。

子供からお年寄りまでの地域での出会いと文化活動を通じて共に創り上げることを趣旨

としています。

また、5月5日の子供の日にさいたまチャイルドラインを発足しました。

子供の心に寄り添う事を趣旨とし、相談ではなく、どんな事でも聞き、子どもが電話を切らない限り、きちんと聞く姿勢を柱としてきました。

私の生涯学習は子どもの活動です。きっと、死ぬまで続けていくことでしょう。



## 公開ディスカッションー地域に開かれた高校・大学をめざしてー（抜粋）

日 時	2001年12月2日（日）午後1：30～3：10
場 所	産文センター 図書館 2階 研修室
司 会	白木 賢信（東京家政大）
出席者	小島 芳男（東野高校） 杉田 学（大妻女子大） 木村 博人（東京家政大） 林 猛（武蔵野短大） 木村 得朗（駿河台大） 下野 武司（城西大） 大熊 勝（日高市ライブラリーカレッジ） 田中 修（入間市教育委員会生涯学習課課長）
書 記	栗原 良子 菱 千代子（入間市生涯学習を進める市民の会）

司 会 ) 1校あたり7, 8分で現状をご説明頂き、その後質疑に入りたい。

東 野 高) 1986年～1991年まで「東野公開講座」をやってきた。内容は入間の自然や歴史についてである。1989年から小中学生と父母対象に、つり大会や校内でのサマーキャンプ（カヌー、テニス、サッカー、キャンプファイアー）、まきはた山登山等を実施してきた。

大妻女子大) 狭山台キャンパスでS54年から入間市と共催で「婦人教育講座」を実施してきた。その後新しい時代の女性の生き方に合わせた内容へ組み替え、「大妻女子大学公開講座」として行っている。テーマとしては、「子育てをめぐる諸問題」、「ヨーロッパの都市」、「午後の紅茶パーティ」、「源氏物語講読と十二単の実演」等である。今後は環境をテーマに開いていくが、更に音楽関係等新しい講座も模索していきたい。

東京家政大) S63年、県からの依頼により発足した。その後県との共催は無くなったが、独自で続けている。参加人数は50人～230人でほとんど50代、60代の女性がしめている。体育施設、図書館の開放等の要望が多い。

武蔵野短大) 昨年、公開講座を立ち上げたばかりである。専任のスタッフが担当しており600人程申し込みがあるが、参加実数とずれが出るのが、悩みである。テーマとしては「身近な生活文化を考える」、「コンピュータ講座」の二つをとり上げている。要望があれば、市民講座にも応じられる。講堂、体育館は貸し出しできる。

駿河台大) 1988年より開始した。今年度は『市民の大学』として春、秋の2回行った。内容は「暮らしと生活」、「暮らしと経済」、「これからの経済はどうなるか」等である。ドイツ文化関連で「オペラ鑑賞」も実施した。又、地の利を生かし、入間川沿いの自然観察、カヌー、ウォークライミング、

オリエンテーリング、等を行う「アウトドア講座」も好評である。「英語講座」は50代以上のリピーターが多い。

城西大) 大学の経営が岐路に立たされている。創立36年、現在60のエクステンション講座を持ち、2500人位の受講者が聴講している。主に地域の主婦が多いが、学生も利用している。大学が地域の中で果たす役割を自覚すべきである。将来的には、低料金で参加できる聴講制度を検討している。学生に対しても、企業実習に対し単位を与えたり、このフェスティバルに参加するよう呼びかけたりして、地域との連携をはかっている。

日高ライブリーカレッジ) 平成2年から12回続いている。当初立教大学の公開講座として発足

11回目より他大学の先生を呼んで、市民が企画、運営をするようになった。日曜の午後1:30~4:00で行っている。毎回プログラムを作り、自治会を通して回覧し、ポスターも自作している。1回3000円の予算は市で出してくれる。

司会) 「開かれた」の解釈には二つの意味があり、物理的、機能的面と内容面とに分かる。補足があれば付け加えてほしい。

東野高) 施設の貸し出しは手続きによりできるようになっている。

城西大) エクステンションセンターと図書館は利用できる。

大妻女子大) 子育てをテーマとした講座を実施する際、市民ボランティアに保育を担当してもらうことができるだろうか。

日高ライブリーカレッジ) パンフレット等の印刷物はすべて自分達でつくっている。又、懇親を兼ねて、女性センターで1泊自主学習会を実施している。

曾根) PTAや遊び場協会の講演会に講師を招請する時、いままでは遠くから招いてきたが、もっと身近に良い講師がいるのではと思われる。

武蔵野短大) 各大学のホームページに職員の研究業績を公開している。参考にされてはいかがか。

曾根) 具体的な中身をもっと知りたい。

並本) 公開講座に対する市民側のニーズをどのように捉えているか。

城西大) 公開講座後のアンケートを参考にしているが、20人位の公開講座委員会で「うちの大学で、何ができるのか」と言う議論をしている。

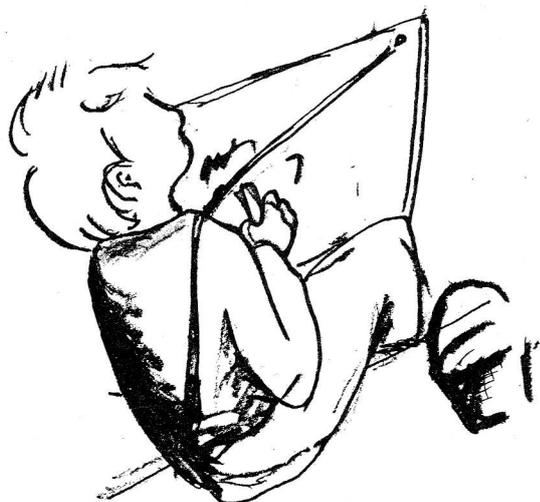
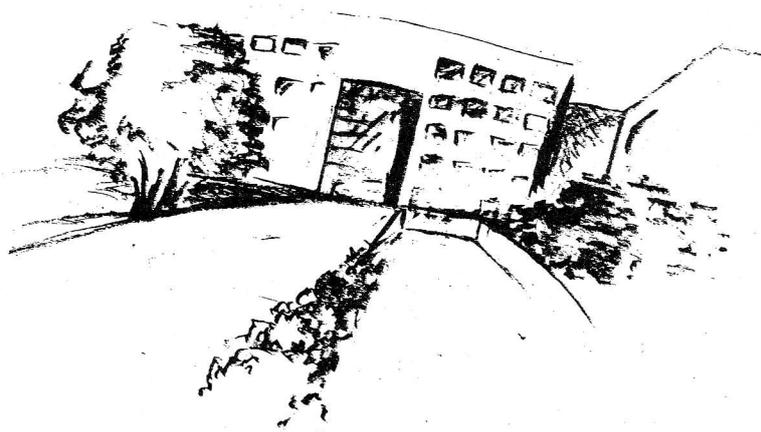
駿河台大) やはりアンケートはとっているが、感想は百人百様であり、テーマの決定には苦勞している。なるべくタイムリーなものをと考えている。

東京家政大) アンケートは参考程度、人気教授はいるが、いつも頼むわけにはいかない。時間割の立て方も少人数で多教室か、多人数で少ない教室か等考える必要がある。

並本) どれくらいの人数が集まるのか、市民の側との連携が必要と思う。市

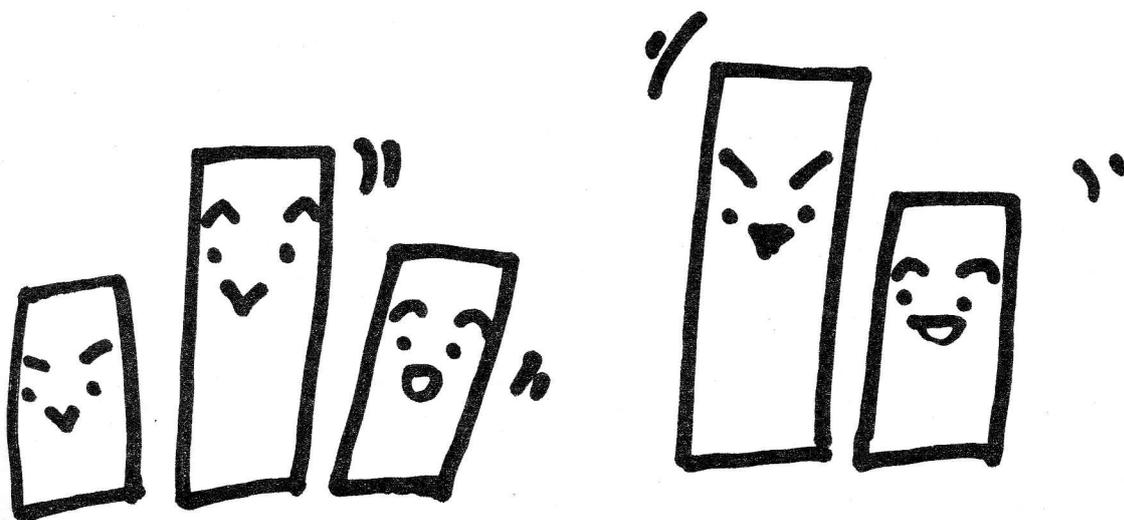
民側が企画し、目的をもって、参加できる、システムがあると良いと思う。  
日高ライブリーカレッジ)大学は、自分の得意分野をどんどんやればよい。受講する人が選  
択する。主張をもって、スタンスをもってやってほしい。

司 会 )時間なのでまとめをしたい。情報提供システム 講座支援システム 成  
果評価システムの三つが考えられる。 またそれらをコーディネートする  
機関が重要になっている。



# people

200 3 .200 4



入間市生涯学習をすすめる市民の会は、平成8年に策定された入間市生涯学習推進計画の下記7施策の実現をめざして活動しています。

- ① 生涯にわたる学習機会の充実
- ② 学習情報の提供と相談体制の整備
- ③ 指導者、ボランティアの養成と活用
- ④ 学習成果の評価と活用
- ⑤ 生涯学習関連施設の整備・充実
- ⑥ 推進体制の整備・充実
- ⑦ 大学、企業、民間、団体との連携

平成15年度は以下の事業について、129回の会議・作業を行いました。

1. 第2次生涯学習推進計画策定準備会への参画 会議・作業12回

松永・並本・山増・山尾・柏木・小暮

従来の調査研究部会メンバーが中心となり、生涯学習関連行政職員とともに、平成17年度以降の生涯学習推進計画について、これまでの計画の進捗を検証し、今後の方向性を論議しています。

2. サークル・教室情報を収集 会議・作業6回

山増・室山・野村・山尾

生涯学習サークル・教室情報「学びの場」第4版を発行。

情報収集総数1682件（内訳 民間427件、公民館990件、体育課265件）

情報の提供方法では、公民館窓口で市民と対話しながら冊子を有効利用する工夫が見られました。また民間の銀行・病院・理容店の待合室に設置したことで、問合せも増え、学ぶきっかけを作っています。これからパソコン等での情報提供が主流となっていくても、「学びの場」の冊子の良さを生かして多くの人に広げていきたいと思えます。民間情報調査や編集協力委員への位置付けを確認する為、会をもち充実した情報収集をしていきたいです。

3. 学校との連携 会議・作業18回

関谷・小暮・松永・風間・柏木・曾根

学校に市民の生涯学習活動の力をどのようにしたら活かしていけるのか、今まで学校長や担当教員の集まりの会議などに参加し、協議してきた。今年度、さらに一歩前進させるために、現場の先生方のお考え、要望を聞き取り、それに見合う支援を提供しようということが話し合われた。

その後の交渉、話し合いの中から、現場の先生方の要望があがり、学校からの依頼があり、今年度市民のボランティアを学校の総合学習に活かす初のモデル事業が実現できた。

【高倉小5年生総合学習支援ボランティア導入】報告書（回覧文書）参照

次年度は、今年度の活動により見えてきた、学校支援ボランティアへの講座、コーディネーターの

人材発掘、養成の方策など、検討し、講座開設等、市民の会として取り組める事業に取り組む。

#### 4. 講座開設検討 会議・作業 11回

杉山・野村・並本・岡崎・下野・柏木・菱

H14年度 講座部会立ち上げ、一年間は講座をなぜ開くのか、分野は、テーマは何にするのか、市民の立場で考えられる面白さは何か等を25回議論。

H15年度 講座名は『市民のいるま塾』とする。テーマは中高年の生きがい作りとし、生涯現役で生きるにはどのようにしたら良いのかを実践している人から話を聞き、自らアクションを起こす人たちの塾とする。

社会事業大学の、辻 浩先生をアドバイザーに迎え、15年9月に第1回目開催、16年1月8回目終了。申し込み39名、受講者32名、現在20名が1期生としてステップアップの為にサークル化した。記録集作り、次回講座開催係り、1期生全体の活動など、やりたい事に手を上げた人たちが会長などを決め、会の運営について自ら動き出した。市民の会メンバーも第2回目の内容について動き始めた。

#### 5. 第9回いるま生涯学習フェスティバルの開催 会議・作業 37回

山尾・松永・杉山・市川・小暮・増岡・三浦・山増・風間・関谷

平成15年11月30日(日) 入間市産業文化センター他で実施

市民の会委員10名、市民活動団体・個人21名、関係職員15名の計46名で実行委員会を組織

参加者・来場者 延べ6000人 協賛113件

参加団体(サークル・民間教室、学校、企業等) 111団体

当日ボランティアスタッフ 34名、

「出会う、つながる、広がる」をキャッチフレーズに開催。実行委員に新たに各分野で活動する市民団体等が加わり、参加団体とともに合同企画を開催する等団体同士の交流や連携が更に深まった。内容は、ステージ発表、まちづくり、子育て等をテーマにした講演会やディスカッション、ボランティアきっかけコーナーや実演・体験コーナー等多彩な催しを実施。

#### 6. 市民活動支援 会議・作業 5回

山尾・関谷

行政内に事務局を持たない市民活動団体の交流や情報交換、連絡調整のため、市民活動団体連絡会議を開催した。

#### 7. 掲示板設置 会議・作業 4回

杉山・曾根・山増・袴田

市民団体主催事業のPRのための掲示板設置について検討を行い、市民手作りの「生涯学習けいじばん」2基を新たに制作。昨年設置したものと合わせ、計4基となった。

8. FM人間との連携 会議・作業5回

栗原・増岡・柏木・長谷川

委員・協力委員・FM人間職員と1～2ヶ月に一度企画会議

生涯学習に取り組む市民をPRしたCM制作・放送

「気ままにティータイム」他様々な番組に多数の情報を提供

9. 視察研修 会議・作業5回

岡崎・下野・山尾

2月24日(火)横浜市へ視察研修に行きました。まず、神奈川県横浜市市民活動共同オフィス、生涯学習支援センターを見学し、その後、横浜市市民活動支援センター・市ヶ尾プラザ(青葉区)に移動し、職員の方から資料を戴き、ていねいな説明を受けました。市民一人ひとりが主体的に学び、受けてから創り手になる活動を支援されてこられているようです。実際にパソコン教室(青葉区地域振興課事業「青葉ばそこん横丁」)の現場を見せていただきましたが、市民どうしが自主的に協働し、学習成果を生かしあってとても楽しそうでした。視察研修の参加者15名。次期の課題として、委員が一人でも多く参加できる実施月、曜日、研修先・内容などを早めに企画検討していけたらと思いました。

10. 市民の会ホームページ 会議・作業1回

市川・山尾・下野

市民の会のホームページの内容を更新。

<http://www.pc-happy.com/~syogai-gakusyu/>

11. 市民の会運営のための定例会・役員会・会計作業・パソコン研修等

会議・作業25回

## 入間市生涯学習をすすめる市民の会委員名簿

平成 15 年 4 月 1 日現在

	氏 名	活 動 分 野 等
1	いけだこうじ 池田宏司	入間市環境審議会委員、ウォーキング、読書、旅行
2	いちかわよしお 市川欣伸	児童センターボランティア会、青少年活動
3	おかざきさちこ 岡崎幸子	健康管理士の会
4	かしわざひさし 柏木久司	経営コンサルタント、ISO14001環境審査員、介護保険事業計画等支援
5	かざまえみ 風間恵美	福祉ボランティア、お茶のめんの会（福祉サークル）
6	くりはよしこ 栗原良子	東野高校講師（現代詩）
7	こぐれきんさく 小暮欽作	アリット茶の花会、地域老人会活動
8	しものたけし 下野武司	城西大学経済学部教授、県金融広報アドバイザー
9	すぎやまわかえ 杉山若江	公務員、ガーデニング
10	せきやあつこ 関谷敦子	どろだんごの会（子育てサークル）
11	そねなおゆき 曾根直行	入間遊び場づくり協会、
12	なみもとひろ 並本寿紘	会社員、日本テニス協会公認指導員
13	のむらかずお 野村和雄	健康生きがいアドバイザー、社会保険労務士
14	ますおかたつや 増岡達也	グラフィックデザイナー
15	まつながてるよし 松永輝義	幼児教育、家庭教育
16	みうら 三浦はるみ	SAC 埼玉代表さいたまチャイルドライン運営委員
17	むろやましげこ 室山茂子	画家、染色作家
18	やまおせいこ 山尾聖子	杉野服飾大学講師（フランス語）、二八落語会主宰
19	やまますともこ 山増智子	入間おやこ劇場、文化活動（子育て中心）

◎会長 ○副会長

[男性 10 名、女性 9 名]

平成15年度入間市生涯学習をすすめる市民の会

収 支 決 算 書

(収入)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	説 明
補 助 金	1,300,000	1,300,000	市補助金
繰 越 金	18,952	18,952	
諸 収 入	0	28	預金利子
合 計	1,318,952	1,318,980	

(支出)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	説 明
総務費	170,000	152,873	
会議費	50,000	9,970	定例会等
事務費	50,000	60,470	郵送料、郵便切手等
備品費	50,000	62,433	MDカセットレコーダー・マイク等
負担金	20,000	20,000	観光協会年会費、万燈まつり協賛金
事業費	1,080,000	1,148,351	
普及奨励費	100,000	100,000	CM放送
	10,000	10,000	ホームページ
事業活動費	200,000	219,478	講座開設
	200,000	272,017	学びの場
	70,000	62,649	掲示板
	10,000	0	会報編集
	10,000	24,769	学校との連携
	300,000	300,000	フェスティバル開催
	10,000	0	調査・研究
	20,000	5,560	市民活動支援
研修費	150,000	113,878	視察研修
		40,000	パソコン研修等
予備費	68,952	0	
合 計	1,318,952	1,301,224	

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席	者
4月1日	13:30 ~ 17:00			調査研究	市報記事打合せ	松永 並本 斉藤 袴田	(事) 今井			
4月10日	13:30 ~ 15:00	和室B		総務	会計作業	袴田 山尾				
4月14日	15:00 ~ 17:00	和室A		総務	会計監査	袴田 山尾 下野 鶴田				
4月15日	19:00 ~ 21:30	中央		定例会	交付式・4月定例会	市川 岡崎 柏木 風間 栗原 小暮 下野 杉山 関谷 曾根 野村 松永 室山 山尾 山増	(事) 吉田 山崎 宮岡 吉川 今井			
4月18日				その他	観光協会総会出席	杉山				
4月23日	10:00 ~ 12:00	第2委		研修	パソコン研修	山尾 市川 柏木 小暮 岡崎				
5月20日	19:00 ~ 21:30	中央		定例会	5月定例会	市川 岡崎 柏木 栗原 小暮 杉山 関谷 野村 松永 室山 山尾 山増	(事) 宮岡 吉川			
5月28日				総務	会計作業	関谷 風間 山尾 (事) 今井				
6月12日	16:00 ~ 17:00	和室		学びの場	会議	室山 山増 山尾 野村 (事) 今井				
6月17日	19:00 ~ 21:30	中央		定例会	6月定例会	市川 岡崎 風間 柏木 栗原 小暮 杉山 関谷 増岡 松永 山尾 山増	(事) 宮岡 吉川			
6月19日	19:00 ~ 21:30	中央		フェス	実行委員会	山尾 小暮 杉山 山増 風間 関谷 (事) 宮岡 吉川 今井				
6月21日	10:00 ~ 12:00	FM本社		FM	企画会議	栗原 増岡 柏木 長谷川				
6月23日	10:00 ~ 12:00	入札控		講座開設	会議	杉山 岡崎 野村 並本 下野 柏木 菱 (事) 宮岡				
6月26日	15:00 ~ 17:00	中央		学校連携	会議	並本 松永 柏木 小暮 関谷 (事) 今井				
6月26日	10:00 ~ 12:00	入札控		掲示板	会議	杉山 曾根 山増 (事) 今井				
6月26日	13:30 ~ 15:00	中央		調査研究	策定準備会	並本 松永 山増 柏木 小暮 (事) 宮岡 吉川 今井				
6月30日	19:00 ~	扇町屋		市民活動	連絡会議	山尾 (事) 宮岡				
7月3日	19:00 ~	中央		HP管理	会議	市川 山尾 下野 (事) 吉川				
7月3日	13:30 ~ 15:00	入札控		情報収集	全体会議	室山 山増 柏木 市川 野村 杉山 (事) 宮岡 今井				
7月3日	16:00 ~ 17:00	505会議室		フェス	幹事会	山尾 杉山 市川 関谷 風間 (事) 宮岡 吉川 今井				
7月3日	15:00 ~ 16:00	入札控		学びの場	全体会議	室山 山増 (事) 宮岡 今井				
7月7日	13:30 ~			講座開設	会議	杉山 岡崎 野村 並本 下野 柏木 菱 (事) 宮岡				
7月14日	13:30 ~	入札控		講座開設	会議	杉山 岡崎 野村 並本 下野 柏木 菱 (事) 宮岡				
7月15日	19:00 ~ 21:30	中央		定例会	7月定例会	岡崎 風間 栗原 小暮 杉山 下野 関谷 曾根 並本 野村 増岡 松永 室山 山尾 山増	(事) 宮岡 吉川			
7月18日	19:00 ~ 21:30	産文		フェス	実行委員会	山尾 小暮 杉山 山増 風間 関谷 (事) 宮岡 吉川 今井				
7月23日	16:00 ~ 18:00	都市計		フェス	幹事会	山尾 関谷 (事) 宮岡 今井				
7月24日	10:00 ~ 12:00	503号室		調査研究	策定準備会	並本 松永 柏木 小暮 山増 (事) 宮岡 吉川				
7月31日	10:00 ~ 12:00	豊岡第一		掲示板	会議	杉山 曾根 山増 (事) 今井				
8月5日	16:00 ~ 20:00	中央		フェス	幹事会	山尾 杉山 市川 関谷 風間 (事) 宮岡 吉川 今井				
8月6日	18:00 ~ 21:30	研究所		フェス	参加団体企画会議	山尾 小暮 杉山 山増 風間 関谷 (事) 宮岡 吉川 今井				
8月23日	10:00 ~ 11:00	FM本社		FM	企画会議	栗原 増岡 長谷川				
8月26日	15:30 ~ 17:00	505会議室		学校連携	会議	関谷 小暮 柏木 松永 風間 (事) 今井				
8月26日	9:00 ~ 12:00	研究所		学校連携	教諭との意見交換	関谷 小暮 柏木 (事) 今井				

平成15年度市民の会会議・作業一覧

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席	者
8月29日	金 13:30 ~ 16:00	研究所		調査研究		策定準備会	並本 松永 柏木 小暮 山増	(事) 宮岡 吉川 今井		
9月1日	月 10:00 ~ 17:00	葛浦町		研修		生涯学習振興大会	柏木 (事) 今井			
9月4日	木 19:00 ~ 21:30	中央		フェス		実行委員会	山尾 小暮 杉山 山増 風間 関谷	(事) 宮岡 吉川 今井		
9月9日	火 20:00 ~ 20:30	ガスト		フェス		広報	増岡 (事) 今井			
9月16日	火 19:00 ~ 20:30	中央		定例会		9月定例会	市川 風間 栗原 小暮 下野 杉山 関谷 並本 野村 松永 三浦 山尾 山増	(事) 宮岡 吉川 今井		
9月16日	火 15:00 ~ 17:00	入札控		フェス		幹事会	山尾 杉山 関谷 風間 (事) 宮岡 吉川 今井			
9月17日	水 15:30 ~ 17:00	アミーゴ		学校連携		会議	関谷 小暮 柏木 松永 (事) 今井			
9月17日	水 19:00 ~	中央		フェス		部会(青少年)	関谷 山増 (事) 宮岡			
9月22日	金 10:00 ~ 12:00	505会議室		講座開設		会議	杉山 岡崎 野村 並本 下野 柏木 菱	(事) 宮岡		
9月22日	金 16:15 ~ 17:00	和室		総務		会計作業	関谷 風間 (事) 今井			
9月25日	木 14:30 ~ 16:00	研究所		調査研究		策定準備会	並本 松永 柏木 小暮 山増	(事) 宮岡 吉川 今井		
9月25日	木 13:10 ~ 14:30	研究所		学びの場		会議	山増 室山 野村 (事) 今井			
9月27日	土 9:30 ~ 11:30			講座開設		いるま塾	杉山 岡崎 野村 並本			
9月30日	火 19:00 ~ 21:30	西武分館		フェス		部会(福祉・まちづくり)	風間			
10月2日	木 19:00 ~ 21:30	中央		フェス		実行委員会	山尾 小暮 杉山 山増 風間 関谷	(事) 宮岡 吉川 今井		
10月3日	金 15:00 ~ 17:00	アミーゴ		学校連携		会議	関谷 小暮 柏木 松永 (事) 今井			
10月4日	土 9:30 ~			フェス		部会(広報)	増岡 (事) 今井			
10月8日	水 16:30 ~ 18:00	高倉小		学校連携		事前会議	関谷			
10月8日	水 15:00 ~	博物館		フェス		調整会議	山尾 (事) 山崎 宮岡			
10月9日	木 19:00 ~	中央		フェス		部会(青少年)	関谷 山増			
10月9日	木 19:00 ~	産文		フェス		部会(福祉・まちづくり)	風間 (事) 宮岡			
10月10日	金 ~	高倉小		学校連携		会議	関谷 小暮 (事) 今井			
10月11日	土 9:30 ~ 11:30			講座開設		いるま塾	杉山 岡崎 野村 並本			
10月17日	金 14:00 ~ 15:30	高倉小		学校連携		事前会議	関谷			
10月18日	土 10:00 ~ 11:30	FM本社		FM		企画会議	栗原 増岡 柏木 長谷川			
10月18日	土 9:20 ~			フェス		部会(広報)	増岡 (事) 今井			
10月21日	火 14:00 ~ 15:30	高倉小		学校連携		事前会議	関谷			
10月21日	火 19:00 ~ 21:30	中央		定例会		10月定例会	小暮 下野 曾根 杉山 関谷 野村 松永 山尾 山増	(事) 宮岡 吉川		
10月24日	金 15:00 ~ 15:45	高倉小		学校連携		事前会議	関谷			
10月25日	土 12:30 ~ 17:00			フェス		万燈まつりPR	小暮 山尾 室山 市川 関谷 山増 杉山			
10月26日	日 9:00 ~ 17:00			フェス		万燈まつりPR	小暮 山尾 室山 市川 関谷 山増 杉山			
10月28日	火 14:00 ~ 15:30	高倉小		学校連携		事前会議	関谷			
10月28日	火 10:00 ~ 12:00	和室		フェス		ポランティア会議	山尾 山増			

日	時	場	所	部	会	内	容	出	席	者
10月29日	水 10:00 ~ 12:00	第4委		フェス	幹事会	山尾 杉山 関谷	(事) 宮岡 吉川 今井			
10月30日	木 15:30 ~ 17:00	研究所		調査研究	策定準備会	並本 松永 山増	(事) 宮岡 今井			
10月31日	金 15:00 ~ 15:45	高倉小		学校連携	事前会議	関谷				
11月1日	土 9:30 ~ 11:30			講座開設	いるま塾	杉山 岡崎 野村 並本				
11月5日	木 12:00 ~	和室		フェス	幹事会	山尾 杉山 関谷	(事) 宮岡 吉川 今井			
11月7日	金 13:20 ~ 14:45	高倉小		学校連携	公開授業	関谷 松永 小暮				
11月7日	金 15:30 ~	市民会館		市民活動	連絡会議	山尾 (事) 宮岡				
11月7日	金 11:00 ~	あんず		調査研究	資料作成	松永 並本 山増 杉山				
11月7日	金 18:00 ~ 21:30	産文		フェス	実行委+説明会	山尾 小暮 杉山 山増 風間 関谷	(事) 宮岡 吉川 今井			
11月12日	水 17:20 ~			フェス	会計	関谷 風間 山尾	(事) 今井			
11月15日	土 9:30 ~ 11:30			講座開設	いるま塾	杉山 岡崎 野村 並本				
11月18日	火 19:00 ~ 20:35	中央		定例会	11月定例会	岡崎 栗原 杉山 関谷 野村 松永 室山 山尾 山増	(事) 宮岡 吉川 今井			
11月19日	水 10:00 ~ 11:30	高倉小		学校連携	交流会	関谷				
11月20日	木 16:30 ~ 18:00	高倉小		学校連携	反省会	関谷 松永 柏木 小暮				
11月21日	金 17:00 ~ 21:00	産文		フェス	幹事会	山尾 杉山 関谷	(事) 宮岡 吉川 今井			
11月25日	火 13:30 ~	和室		フェス	会計	関谷 風間 (事) 今井				
11月27日	木 16:00 ~ 21:15	大会議室		フェス	実行委員会	山尾 小暮 杉山 山増 風間 関谷 野村 袴田 増岡 室山 菱	(事) 宮岡 吉川 今井			
11月29日	土			フェス	フェス準備					
11月30日	日			フェス	フェス当日					
12月2日	火 10:00 ~ 12:00	健福		その他	講座会議	栗原				
12月4日	木 19:00 ~ 20:00	入札控		フェス	会計	関谷 風間 山尾	(事) 今井			
12月11日	木 15:00 ~ 17:00	和室		調査研究	資料作成	並本 山増 (事) 宮岡 吉川 今井				
12月13日	土 10:00 ~ 11:00	FM本社		FM	企画会議	栗原 増岡 轟谷川				
12月13日	土 9:30 ~ 11:30			講座開設	いるま塾	杉山 岡崎 野村 並本				
12月25日	木 9:30 ~ 12:00	和室		調査研究	資料作成	並本 山増 (事) 宮岡 吉川 今井				
1月7日	水	和室		フェス	青少年会議?	関谷 山増				
1月10日	土 9:30 ~ 11:30			講座開設	いるま塾	杉山 岡崎 野村 並本				
1月13日	火 10:00 ~ 12:00	健福		その他	講座会議	栗原				
1月13日	火 13:30 ~ 17:00	大会議室		調査研究	策定準備会	並本 山増 松永 小暮 柏木	(事) 宮岡 吉川 今井			
1月14日	水 14:00 ~ 16:00	505会議室		フェス	会計	関谷 風間 山尾 (事) 今井				
1月14日	水 16:00 ~ 17:00	505会議室		フェス	幹事会	山尾 杉山 関谷 風間 (事) 宮岡 吉川 今井				
1月20日	火 10:00 ~ 11:30	健福		その他	講座会議	栗原				
1月20日	火 19:00 ~ 21:00	中央		定例会	1月定例会	岡崎 栗原 小暮 杉山 関谷 並本 野村 松永 室山 山増	(事) 宮岡 吉川 今井			

日	時	場	所	部	会	内	出	席	者
1月22日	19:00 ~ 21:30	産文		フェス	反省会	山尾 小暮 杉山 山増 風間 関谷 松永 (事) 宮岡 吉川 今井			
1月31日	9:30 ~ 11:30			講座開設	いるま塾	杉山 岡崎 野村 並本 (事) 宮岡			
2月2日	10:00 ~ 12:00	入札控		学びの場	会議	山増 室山 野村 (事) 今井			
2月5日	13:00 ~ 14:00	市内		掲示板	候補地確認	杉山 山増 樽田 (事) 今井			
2月5日	10:00 ~ 12:00	和室		調査研究	資料作成	並本 山増 (事) 宮岡 吉川 今井			
2月7日	10:00 ~ 11:30	FM本社		FM	企画会議	栗原 増岡 長谷川			
2月9日	19:00 ~			市民活動	連絡会議	山尾 (事) 宮岡			
2月12日	13:00 ~ 14:00	和室		学びの場	会議	山増 室山 野村			
2月12日	14:00 ~ 17:00	和室		学びの場	全体会議	山増 室山 野村 (事) 今井			
2月16日	15:00 ~	入札控		フェス	ポランティア会議	山尾 山増 (事) 宮岡			
2月17日	19:00 ~ 21:30	扇町屋		定例会	2月定例会	山尾 山増 岡崎 野村 松永 杉山 室山 関谷 小暮 風間 (事) 宮岡 今井			
2月17日	9:30 ~ 12:00	505会議室		フェス	幹事会	山尾 杉山 関谷 (事) 宮岡 吉川 今井			
2月18日	15:00 ~ 17:00	研究所		学校連携	教諭との意見交換	関谷 小暮 (事) 今井			
2月22日	10:00 ~ 12:00	高倉		掲示板	会議	杉山 山増 曾根 (事) 今井			
2月23日	15:30 ~ 17:30	アミーゴ		学校連携	会議	関谷 松永 小暮 (事) 今井			
2月23日	15:00 ~ 17:00	研究所		調査研究	策定準備会	松永 山増 小暮 (事) 宮岡 吉川 今井			
2月24日		横浜		研修	視察研修	岡崎 栗原 小暮 下野 杉山 関谷 野村 松永 山尾 山増 (事) 立石 宮岡 今井			
2月27日	10:00 ~ 12:00	健福		その他	講座会議	栗原			
3月2日	13:30 ~ 17:00	研究所		フェス	準備会	山尾 山増 関谷 杉山 松永 (事) 宮岡 吉川 今井			
3月16日	10:00 ~ 12:00	健福		その他	講座会議	栗原			
3月16日	13:30 ~ 15:00	研究所		その他	合同研修会	柏木 岡崎 栗原 小暮 杉山 関谷 並本 松永 室山 山増 山尾 (事) 宮岡 吉川 今井			
3月16日	15:00 ~ 17:00	研究所		定例会	3月定例会	柏木 岡崎 栗原 小暮 杉山 関谷 並本 松永 室山 山増 山尾 (事) 宮岡 吉川 今井			
3月22日	13:00 ~ 17:00	和室		市民活動	作業等	山尾 関谷 田中			
3月24日	13:00 ~ 17:00	和室		研修	パソコン研修	並本 杉山 岡崎 室山 野村			
3月24日	13:00 ~ 15:00	和室		総務	会計作業	風間 関谷 (事) 今井			
3月25日	15:00 ~ 17:00	高倉小		学校連携	高倉小との打合せ	関谷 (事) 今井			
3月29日	10:00 ~ 11:00	和室		市民活動	作業等	山尾 関谷 田中			
3月29日	11:00 ~ 13:00	和室		総務	役員会	松永 山尾 杉山 山増 関谷 田中 (事) 宮岡 吉川 今井			
3月29日	11:30 ~	和室		総務	役員会				
3月30日	13:00 ~ 16:00	和室		研修	パソコン研修	並本 杉山 岡崎 室山 野村			

## 平成16年度 人間市生涯学習をすすめる市民の会 実績報告

1. 講座開設検討 岡崎・下野・杉山・田中・並本・野村・(斉藤・菱)  
第2回目となる『市民のいるま塾』を開講した。テーマは「子育て支援実践講座」とし、地域ぐるみの子育ての大切さを学びあい、主体的に活動するグループ作りを目指した。
  
2. サークル・教室情報を収集 山増・野村・室山  
生涯学習サークル・教室情報「学びの場」第5版を発行。  
情報収集総数 1716 件 (内訳 民間 463 件、公民館 989 件、体育課 264 件)  
生涯学習課や公民館の窓口相談等に活用している。また、民間の銀行・病院等の待合室に閲覧用として配布し、学習情報の提供範囲も広がっている。今後、インターネットによる情報提供と併せて「学びの場」の冊子を充実させていく。
  
3. 掲示板製作・設置 杉山・曾根・山増  
市民団体が主催・共催する事業のPRのための掲示板設置について検討を行い、市民手づくりによる「生涯学習けいじばん」2基を制作。計6基となった。
  
4. 会報編集 室山・岡崎・(山尾)  
平成16年度の活動報告をまとめた。
  
5. エフエム茶笛との連携 栗原・増岡・(長谷川・斉藤)  
委員・協力委員・エフエム茶笛職員と1~2ヶ月に一度企画会議を開催。生涯学習に取り組む市民をPRしたCM制作・放送。また、番組「気ままにティータイム」などに多数の情報を提供した。
  
6. 学校との連携 関谷・岡崎・風間・小暮・曾根・松永  
学校に地域の教育力をどのようにしたら活かしていけるのか、総合的な学習の時間の担当教諭の会議などに参加し、協議してきた。今年度は、学校支援ボランティアの情報収集、コーディネーターの人材発掘、養成の方策などの検討を行った。
  
7. 第10回いるま生涯学習フェスティバルの開催  
杉山・風間・小暮・関谷・曾根・田中・増岡・室山・松永・三浦・山増 (山尾)  
平成16年11月28日(日) 人間市産業文化センター他で開催。  
市民の会委員10名、市民活動団体・個人20名、関係職員17名の計47名で実行委員会を組織。

参加者・来場者 延べ12500人 協賛125件

参加団体（サークル・民間教室、学校、企業等）161団体

「出会い ∞（無限大）」をキャッチフレーズに開催。実行委員に各分野で活動する市民団体・市民等が加わり、参加団体とともに協働による企画・運営を行った。内容は、子育て、環境、まちづくり等をテーマにした講演会やディスカッション、発表・体験コーナー等多彩な催しを実施した。

#### 8. 第2次生涯学習推進計画策定準備会への参画

並本・小暮・松永・山増・(山尾)

従来の調査研究部会メンバーが中心となり、生涯学習関連行政職員とともに、平成17年度以降の生涯学習推進計画について、市民の主体的な参画と市民の学習成果の活用に視点から策定に取り組んだ。

#### 9. 市民の会ホームページ

下野・(山尾)

市民の会の活動状況をホームページにより公開している。

<http://www.pc-happy.com/~syogai-gakusyu/>

#### 10. 視察研修

岡崎・下野・野村

2月22日（火）鎌倉市への視察研修を実施。中央公民館と4地区の公民館が生涯学習センターとなり、公民館活動を支えてきた社会教育推進員を基に公募が加わり、生涯学習推進委員会が設立され、委託により市民の手による市民のための講座を企画運営している鎌倉市の取り組みを研修した。

#### 11. 市民活動支援

関谷・田中・(山尾)

行政内に事務局を持たない市民活動団体の交流や情報交換、連絡調整のため、市民活動団体連絡会議を開催した。

#### 12. その他

市民の会運営のための定例会・役員会・会計作業・パソコン研修等を開催

## 入間市生涯学習をすすめる市民の会委員名簿

平成 16 年 4 月 1 日現在

	氏 名	活 動 分 野 等
1	おかざきさちこ 岡崎幸子	健康管理士の会
2	かしわぎひさし 柏木久司	経営コンサルタント、ISO14001環境審査員、介護保険事業計画等支援
3	かざまえみ 風間恵美	福祉ボランティア、お茶のめんの会（福祉サークル）
4	くりはらよしこ 栗原良子	東野高校講師（現代詩）
5	こぐれきんさく 小暮欽作	アリット茶の花会、地域老人会活動
6	しものたけし 下野武司	城西大学経済学部教授、県金融広報アドバイザー
7	すぎやまわかえ 杉山若江	公務員、ガーデニング
8	せきやあつこ 関谷敦子	どろだんごの会（子育てサークル）
9	そねなおゆき 曾根直行	入間遊び場づくり協会、伝統工芸絹織物製造
10	たなかしんいち 田中伸一	日本語教室（西武分館）北京語サークル（黒須公民館）他
11	なみもととしひろ 並本寿紘	会社員、日本テニス協会公認指導員
12	のむらかずお 野村和雄	健康生きがいアドバイザー、社会保険労務士
13	ますおかたつや 増岡達也	グラフィックデザイナー
14	まつながてるよし ◎松永輝義	幼児教育、家庭教育
15	みうら 三浦はるみ	SAC 埼玉代表、さいたまチャイルドライン運営委員
16	むろやましげこ 室山茂子	画家、染色作家
17	やまおせいこ 山尾聖子	杉野服飾大学講師（フランス語）、二八落語会主宰
18	やまますともこ ○山増智子	入間おやこ劇場、文化活動（子育て中心）

◎会長 ○副会長

[男性 9 名、女性 9 名]

平成16年度入間市生涯学習をすすめる市民の会

収 支 決 算 書

(収入)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	説 明
補 助 金	1,300,000	1,300,000	市補助金
繰 越 金	17,756	17,756	
諸 収 入	0	4	預金利子
合 計	1,317,756	1,317,760	

(支出)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	説 明
総務費	230,000	263,719	
会議費	20,000	10,575	定例会等
事務費	40,000	34,064	郵送料、郵便切手等
備品費	150,000	199,080	パソコン・プリンターなど
負担金	20,000	20,000	観光協会年会費、万燈まつり協賛金
事業費	1,080,000	1,042,307	
普及奨励費	100,000	100,000	CM放送
	10,000	10,000	ホームページ
事業活動費	200,000	194,337	講座開設
	255,000	150,426	学びの場
	80,000	124,591	掲示板
	5,000	80,000	会報編集
	40,000	24,462	学校との連携
	250,000	250,000	フェスティバル開催
	5,000	0	調査・研究
	5,000	1,905	市民活動支援
研修費	130,000	91,586	視察研修
		15,000	パソコン研修等
予備費	7,756	0	
合 計	1,317,756	1,306,026	

日	時 場	所 部	会 内	容 出	席	者
4月6日	印刷室	学校連携	H15年度モデル事業報告書作成	関谷	関谷	
4月9日	和室	総務	会計作業	関谷	関谷	
4月9日	和室	役員	役員会	松永 山尾 杉山 山増 関谷 (事) 宮岡 吉川 芦澤	松永 山尾 杉山 山増 関谷 (事) 宮岡 吉川 芦澤	
4月10日	アミーゴ	講座	いるま塾記録集編集会議	岩崎	岩崎	
4月13日	高倉小学校	学校連携	会議	関谷	関谷	
4月15日	アミーゴ	学校連携	会議	岡崎 小暮 関谷 (事) 宮岡 芦澤	岡崎 小暮 関谷 (事) 宮岡 芦澤	
4月19日	扇屋公民館	講座	会議	杉山 並本 岡崎 野村 (小暮委員) 岩崎 工藤 人見 渡邊 (事) 宮岡	杉山 並本 岡崎 野村 (小暮委員) 岩崎 工藤 人見 渡邊 (事) 宮岡	
4月20日	和室	総務	会計作業	関谷	関谷	
4月20日	扇屋公民館	定例会	会議	岡崎 栗原 下野 杉山 関谷 田中 野村 増岡 松永 三浦 室山 山尾 山増 風間 (事) 宮岡 吉川	岡崎 栗原 下野 杉山 関谷 田中 野村 増岡 松永 三浦 室山 山尾 山増 風間 (事) 宮岡 吉川	
4月21日	入札控室	学びの場	会議	山増 野村 室山 (事) 宮岡 芦澤	山増 野村 室山 (事) 宮岡 芦澤	
4月22日	入札室	フェス	実行委員(仮)役員会	山尾 杉山 (職員) 鳥山 (事) 宮岡 吉川 芦澤	山尾 杉山 (職員) 鳥山 (事) 宮岡 吉川 芦澤	
4月27日	教育研究所	フェス	実行委員会	松永 山尾 杉山 関谷 三浦 山増 風間 (実行委員) 岡野 他 (事) 山崎 宮岡 吉川 芦澤	松永 山尾 杉山 関谷 三浦 山増 風間 (実行委員) 岡野 他 (事) 山崎 宮岡 吉川 芦澤	計40人
5月1日	大妻女子大	フェス	学生ボランティア説明会	山尾 (事) 宮岡	山尾 (事) 宮岡	
5月10日	入札控室	フェス	実行委員役員会	山尾 杉山 山増 関谷 (実行委員) 岡野	山尾 杉山 山増 関谷 (職員) 鳥山 今井 築地 関谷 河村 (事) 宮岡 吉川 芦澤	
5月11日	和室	掲示板	会議	曾根 山増 杉山	曾根 山増 杉山	
5月11日	扇屋公民館	講座	会議			
5月12日	和室	学びの場	増刷分の仕分け作業	山増 野村 室山 (事) 芦澤	山増 野村 室山 (事) 芦澤	
5月14日	アミーゴ	学校連携	会議	松永 小暮 関谷 (事) 宮岡 芦澤	松永 小暮 関谷 (事) 宮岡 芦澤	
5月18日	FM入間	FM	会議	栗原 増岡 (協) 齊藤 長谷川 (FM) 藤田アナ	栗原 増岡 (協) 齊藤 長谷川 (FM) 藤田アナ	
5月21日	和室	フェス	実行委員役員会	山尾 杉山 山増 関谷 (実行委員) 岡野 鳥山 今井 築地 関谷 河村 (事) 宮岡 吉川 芦澤	山尾 杉山 山増 関谷 (職員) 鳥山 今井 築地 関谷 河村 (事) 宮岡 吉川 芦澤	
5月25日	入札室	調査・研究	推進計画策定準備会議	小暮 山増 並本 (行政) 長谷川 鳥山 片寄 山崎	小暮 山増 並本 (行政) 長谷川 鳥山 片寄 山崎	
5月26日	印刷室	講座	いるま塾記録集印刷	岩崎 渡邊	岩崎 渡邊	
5月26日	産業文化センター	フェス	実行委員会	山尾 杉山 関谷 三浦 山増 室山 田中 (実行委員) 岡野 他 (事) 宮岡 吉川 芦澤	山尾 杉山 関谷 三浦 山増 室山 田中 (実行委員) 岡野 他 (事) 宮岡 吉川 芦澤	計40人
5月28日	印刷室	講座	いるま塾記録集印刷	岩崎 渡邊	岩崎 渡邊	
5月31日	印刷室	講座	いるま塾記録集印刷	岩崎 渡邊	岩崎 渡邊	
6月1日	印刷室	講座	いるま塾記録集印刷	岩崎 渡邊	岩崎 渡邊	
6月10日	アミーゴ	学校連携	会議	岡崎 小暮 関谷 松永 (事) 宮岡 芦澤	岡崎 小暮 関谷 松永 (事) 宮岡 芦澤	
6月19日	FM入間	FM	会議	栗原 増岡 (協) 長谷川 (FM) 藤田アナ	栗原 増岡 (協) 長谷川 (FM) 藤田アナ	
6月23日	教育研究所	フェス	実行委員会			
6月24日	和室	掲示板	会議	山増 杉山 (事) 吉川	山増 杉山 (事) 吉川	

平成16年度市民の会会議・作業一覧

日	時 場	所 部	会 内	容 出	席	者
6月29日	火 15:00 ~ 17:00	入札室	調査・研究	推進計画策定準備会議		
7月1日	木 15:00 ~ 17:00	アミーゴ	学校連携	会議		
7月15日	木 16:00 ~ 17:00	和室	総務	会計作業	風間 関谷	
7月16日	金 10:30 ~ 12:00	第二委員会室	学びの場	学びの場検討委員会	山増 野村 室山 (行政) 大上 東瀬 (事) 芦澤	
7月16日	金 9:30 ~ 10:30	第二委員会室	学びの場	情報公開システム検討委員会	山増 野村 栗原 (行政) 大上 東瀬 高田 (事) 宮岡 吉川 芦澤	
7月20日	火 19:00 ~ 21:00	教育研究所	定例会	会議	岡崎 小暮 杉山 関谷 菅根 田中 松永 山増	
7月27日	火 19:00 ~ 21:00	市民活動センター	市民活動	市民活動連絡会議	山尾	
7月29日	木 19:00 ~ 21:30	教育研究所	フェス	実行委員会		
7月29日	木 ~	●若狭国立青年センター	学校連携	「学校と施設の連携」参加	関谷 岡崎	
8月2日	月 ~	市民活動センター	講座	会議		
8月5日	木 13:30 ~ 17:00	和室	学びの場	編集作業	山増 室山 (アムバイト) 谷 (事) 芦澤	
8月10日	火 19:00 ~ 21:30	教育研究所	フェス	参加団体企画運営会議		
8月26日	木 18:00 ~ 21:00	養老乃滝	会報	座談会	室山 岡崎 松永 並本 山尾 増岡 栗原 下野 杉山 (ゲスト) 中島 大石 今井 (事) 宮岡 吉川 芦澤	
8月26日	木 ~	市民活動センター	講座	会議	杉山 並本 岡崎 (いそまのり) 岩崎 工藤 豊嶋 (事) 宮岡	
9月3日	金 13:30 ~ 16:00	博物館	視察対応	狭山市視察対応	小暮 杉山 関谷 野村 松永 室山 山尾 山増 (事) 山崎 宮岡 吉川 芦澤	
9月9日	木 19:00 ~ 21:30	教育研究所	フェス	実行委員会		
9月10日	金 15:00 ~ 17:00	教育研究所	学校連携	コーディネーター專業会議	小暮 関谷 (事) 宮岡 芦澤	
9月11日	土 9:30 ~ 10:45	FM入間	FM	会議	栗原 増岡 (協) 長谷川 (FM) 藤田アナ	
9月14日	火 ~	入札控室	講座	会議	杉山 並本 岡崎 野村 (いそまのり) 岩崎 工藤 豊嶋 (講師) 辻 浩 (事) 宮岡	
9月15日	水 9:00 ~ 15:00	和室	学びの場	学びの場発送作業	山増 野村 室山 (アムバイト) 谷 (事) 芦澤	
9月21日	火 19:00 ~ 21:00	中央公民館	定例会	会議	並本 野村 岡崎 栗原 関谷 松永 室山 山増 (事) 吉川	
9月21日	火	高倉小学校	学校連携	コーディネーター実践專業打合せ	関谷 小暮	
9月28日	火	高倉小学校	学校連携	コーディネーター実践專業打合せ	関谷 小暮	
9月29日	水 10:30 ~ 12:00	第一委員会室	調査・研究	推進計画策定準備会議		
9月30日	木 19:00 ~ 21:30	教育研究所	フェス	実行委員会		
9月30日	木 9:30 ~ 12:30	健康福祉センター	講座	会議	杉山 並本 岡崎 野村 田中 (いそまのり) 岩崎 工藤 (事) 宮岡	
9月30日	木	高倉小学校	学校連携	コーディネーター実践專業打合せ	関谷 小暮	
10月5日	火	高倉小学校	学校連携	コーディネーター実践專業	関谷 小暮	
10月7日	木 9:30 ~ 12:30	健康福祉センター	講座	会議		
10月12日	火	高倉小学校	学校連携	コーディネーター実践專業	関谷 小暮	

日	時 場	所	部	会	内 容	出	席	
							者	席
10月14日	木 16:00 ~ 17:00	生涯学習課	総務		会計作業	風間 関谷		
10月18日	月 17:00 ~ 18:30	あんず幼稚園	学校連携		会議	岡崎 小暮 関谷 松永	(事) 宮岡 芦澤	
10月18日	月 19:00 ~ 21:00	市民活動センター	市民活動		市民活動連絡会議	山尾		
10月19日	火 19:00 ~ 21:00	中央公民館	定例会		会議	岡崎 小暮 杉山 関谷 並本 田中 野村 松永 室山 山増	(事) 吉川	
10月19日	火	高倉小学校	学校連携		コーディネート実践事業	関谷 小暮		
10月26日	火	高倉小学校	学校連携		コーディネート実践事業	関谷 小暮		
10月27日	水 19:00 ~ 21:30	教育研究所	フェス		実行委員会			
10月27日	水 10:00 ~ 12:00	教育研究所	調査・研究		推進計画策定準備会議			
10月28日	木 15:00 ~ 17:00	教育研究所	学校連携		コーディネート事業会議	小暮 関谷	(事) 宮岡 芦澤	
11月2日	火	高倉小学校	学校連携		コーディネート実践事業	関谷 小暮		
11月4日	木	健康福祉センター	講座		会議	杉山 並本 岡崎 野村	(協) 岩崎 工藤 (事) 宮岡	
11月5日	金 19:00 ~ 21:30	産業文化センター	フェス		実行委員会(参加団体全体会)			
11月6日	土 10:00 ~ 12:00	健康福祉センター	講座		第2回いるま塾講座			
11月9日	火	高倉小学校	学校連携		コーディネート実践事業	関谷 小暮		
11月13日	土 10:00 ~ 12:00	健康福祉センター	講座		第2回いるま塾講座			
11月16日	火 19:00 ~ 21:00	中央公民館	定例会		会議	栗原 杉山 関谷 田中 野村 松永 三浦 室山 山尾 山増	(事) 吉川	
11月19日	金 14:00 ~ 15:00	FM入間	FM		会議	栗原 (協) 長谷川	(FM) 篠田アナ	
11月24日	水 19:00 ~ 21:30	教育研究所	フェス		実行委員会			
11月27日	土 9:30 ~ 17:00	産業文化センター	フェス		準備・交流会	岡崎 野村		
11月28日	日 9:30 ~ 17:00	産業文化センター	フェス		当日	岡崎 野村		
11月28日	日 10:40 ~ 12:40	産業文化センター	講座		第2回いるま塾公開講座			
11月30日	火	高倉小学校	学校連携		コーディネート実践事業	関谷 小暮		
12月9日	木 16:00 ~ 18:00	高倉小学校	学校連携		コーディネート実践事業	関谷 小暮		
12月10日	金 19:00 ~ 21:00	牛角武蔵藤沢店	総務		忘年会			
12月10日	金		調査・研究		推進計画策定準備会議			
12月11日	土 10:00 ~ 12:00	健康福祉センター	講座		第2回いるま塾講座			
12月16日	木 16:00 ~ 17:00	和室	総務		会計作業	風間 関谷		
12月18日	土 10:00 ~ 12:00	健康福祉センター	講座		第2回いるま塾講座			
1月14日	金 19:30 ~ 21:00	東金子公民館	視察研修		会議	岡崎 野村	(事) 吉川	
1月15日	土 10:00 ~ 12:00	健康福祉センター	講座		第2回いるま塾講座			

平成16年度市民の会会議・作業一覧

日		時 場	所 部	会 内	容 出	席 者	
1月17日	月	16:00 ~ 17:00	和室	総務	風間 関谷		
1月18日	火	19:00 ~ 21:00	中央公民館	定例会	小暮 野村 栗原 田中 関谷 室山 岡崎 杉山 並本 松永 三浦 山増	(事)	宮岡 吉川
1月22日	土	9:30 ~ 11:00	FM入間	FM	栗原 増岡 (協) 長谷川 齊藤	(FM)	藤田7+
1月22日	土	10:00 ~ 12:00	健康福祉センター	講座	第2回いいるま塾講座		
1月26日	水	13:00 ~ 17:00	和室	総務	規約の見直し		
1月29日	土	10:00 ~ 12:00	健康福祉センター	講座	第2回いいるま塾講座		
2月3日	木	15:00 ~ 17:00	和室	学校連携	関谷 山増	(事)	芦澤
2月4日	金	10:00 ~ 12:00	教育研究所	視察対応	富岡市視察対応		
2月15日	火	19:00 ~ 21:00	中央公民館	定例会	小暮 並本 田中 小暮 室山	(事)	山崎 宮岡 吉川 芦澤
2月19日	土	9:00 ~ 10:00	藤沢公民館	掲示板	小暮 野村 栗原 田中 関谷 下野 岡崎 杉山 並本 松永 山増	(見学)	中台 (事) 宮岡 吉川
2月22日	火	~	鎌倉	視察研修	杉山 山増	(事)	吉川
3月4日	金	10:30 ~	宮寺公民館	掲示板	岡崎 栗原 小暮 下野 杉山 関谷 田中 並本 野村 松永 山増	(新委員)	岩崎 中台 (事) 吉川 芦澤
3月15日	火	19:00 ~ 21:00	中央公民館	定例会	山増		
3月24日	木	9:30 ~ 12:00	和室	会報	小暮 野村 栗原 関谷 室山 岡崎 杉山 並本 松永 山増	(新委員)	斎藤 中台 大坪 (事) 宮岡 吉川
3月31日	木	14:00 ~ 17:00	和室	会報	室山 岡崎 (事) 吉川		

## 新たな、生涯学習の広がりに向けて

入間市企画部参事 中島竹正

今年も、生涯学習フェスティバルの季節がやってきました。

開催に向けた準備が、多くの市民の主体的な行動によって進められています。発足当時に一般公募したシンボルマークやフラッグが健在であることも当時の状況を知る一人として大変うれしく思います。

今では、市民権を得ている「生涯学習」も、平成7年3月に策定した入間市の総合振興計画では、①生涯学習推進体制の確立、②多様な学習機会の提供と学習活動の活発化、③学習活動を支援する情報の提供や相談体制づくり、④様々な学習ニーズに対応できる学習施設の整備などが課題として挙げられていました。

これらの課題は、当時の首長や教育長などの理解や、この10年間の行政関係者の努力、そして市民の会（入間市生涯学習をすすめる市民の会）の松永会長や山尾さんをはじめ、この活動に設立当初から携わっている人たち、その後、委員となられた人たちの熱い思いや多大なご尽力により、年々それらの課題解決に向けた取り組みが進められ、今では、10年前にめざした「市民と行政が一体となった生涯学習によるまちづくり」に発展しています。

こうした継続した取り組みの基本にあるのは、「市民と行政が協力連携して推進する。」という考えです。この考え方は、生涯学習の主体が市民であることや行政は市民の主体的な学習活動を支援する立場にあることを理解していれば当然のことですが、当時は、具体的な事例になると行政の立場が優先してしまうことや市民の権利的意識が顔をだすこともあり、定例会後も深夜まで議論したことを懐かしく思い出します。こうした議論は、創成期ならではの出来事かもしれませんが、「生涯学習」という新しい価値を共有するための協働作業であったように当時を振り返るとそんな感じを持っています。

そうした前向きで、真剣な議論が重なり合って市民の会が10年という節目を迎えられることに、設立にかかわった者として感謝を申し上げます。

一人ひとりの生涯学習があるように、今後の市民の会の運営にも多様な意見があると思います。また、これからは日常生活圏の拡大や近隣大学との連携などにより、学習機会の多様化や高度化に伴う調整内容も多くなってくると思います。

委員のみなさんには、健康に配慮されるとともに、自らの生涯学習のためにも、更なるご活躍を期待しています。

## 第2次推進計画による生涯学習都市いるまの実現に向けて

生涯学習課長 山崎 國男

課長さん、入間市の予算は幾らですか。

教育費は何パーセントですか。

春の暖かい日差しの中、ここ稲荷山公園の花見に誘われ、うきうき気分でしたところ、小暮さんの矢継ぎ早の質問攻めにあいました。

市民の会はこんなにも厳しいものなのか これは大変だぞ 市民の会に対する最初の印象でした。

その後、市長から市民の会の委員の皆様へ依頼状が交付され、お付き合いが始まりました。

それぞれ個性にあふれ、お付き合いをさせていただくにつれ、口は厳しいがあたたかい心を持った人達だなーという感じを受けました。

市民の会も10周年を迎え、市民と行政との中間組織として益々活発に活動していただいております。

私が就任して直ぐに、第2次入間市生涯学習推進計画の策定が始まりました。第1次推進計画は平成7年当時、新たな取組みとして行政と市民組織が協働して策定したものでありますが、目標年次である平成16年度を迎え、第2次の推進計画の策定に向かったわけでありまして。

策定にあたっては、市民の会と行政が第1次推進計画に基いた施策の現状と課題を明らかにし、また、行政内部の関連各課の施策の方策・事業を模索し、進捗状況の確認など、市民の会の皆様と一緒にヒアリングし、改めて基本的なところから策定の準備が始まりました。

市民の会、市の推進会議、教育委員会の審議等を経て、策定作業が終了し、この3月に製本されました。

第2次推進計画では、生涯学習によるまちづくりをすすめ、「生涯学習都市いるま」の実現を目指すものとなっています。今後、この推進計画に基いた施策の展開を市民の会の皆様のご協力をいただきながら、計画的に取り組んでいきたいと考えております。

さて、市民の会の活動も、生涯学習フェスティバルの開催、講座の開設、学びの場の編集、学校との連携等々、幅広く取り組んでいただいております。市民が市民のために講座を開設し、講師の発掘から自ら運営を図るなど従来の行政主導型の施策がほとんどであった状況からみれば画期的なものだと思います。また、少子化、核家族化の中で、子育てに不安を持っている方の支援として、子育てに関する情報を盛り込んだ子育てわくわくマップは、窓口を訪れる市民の方々に非常に喜ばれています。市民の目線で必要とする事業に、市民同士がお互いの活動を理解し、協働の意識をもって取り組み、成果をあげることは大変すばらしいことと感じております。

NPO法人や公共的な活動を行う市民団体等「新しい公共」という視点も出てき

ました。行政との協働が更に進み、また、行政も本格的な行財政計画を立て、スリム化し、かつ、市民福祉の向上のための施策を展開しなければならないと考えています。

更なる連携を深め、市民の生涯学習の推進のため、よろしく願いいたします。

### 生涯学習ってなに？

生涯学習課主幹 宮岡 利幸

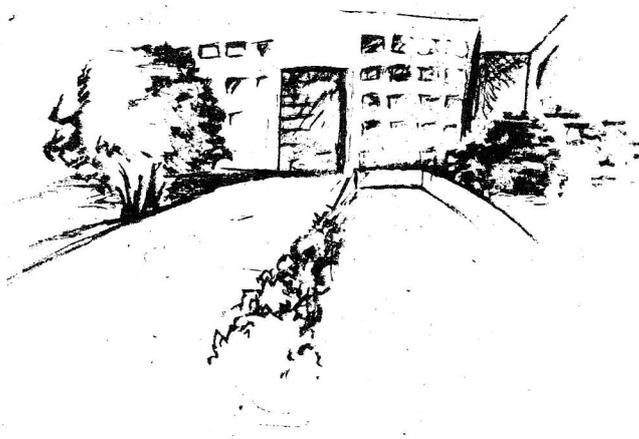
生涯学習推進の担当を4年間努めさせていただきました。その間、「生涯学習ってなに？」と多くの方から聞かれ、シドロモドロになり、一度もうまく答えることができませんでした。同僚のAさんのように「○キャンだよ、○キャン」という単純明快！？な回答も、時と場合によっては通用しないこともあり、生涯学習を説明するのは、「ウーン難しい！」と言うのが本音でした。いや、難しいと言うよりは、一言で説明するのは無理なのかも知れません。しかし、職務上、立場上、どうしても答えなければならない時には、入間市の生涯学習推進は、「まちづくり施策の1つです」と、相手がますます解からなくなってしまうような答えをしていました。ここでご注意いただきたいのは、生涯学習という言葉の下に推進という2文字を付けているということです。つまり、推進という言葉をつけ、「入間市は生涯学習を推進することによって、より良いまちづくりをすすめているのです」と相手が本来聞きたかったこととは少しずれた答えを返して、お茶を濁していたわけです。この答えで、「まちづくりですか？？」と相手は言葉が出なくなり、再質問をしない場合は、「生涯学習をすすめて、このまちを変えて行きましょう！新しいまちをつくって行きましょう！」などと、少しまじめな顔をして、相手に無理やり共感を求めたりしてしまいました。

しかし、相手が納得せず、生涯学習そのものを説明して欲しいといわれた時には、「少し時間が必要ですがよろしいですか？」などと、と少しけん制しながら、「学歴社会の是正と・・・」などと、冒頭でも書いたように、自分でも良くわからないような説明をシドロモドロになりながらしてしまいました。でも、ほとんど相手は納得してくださることはなかったようです。ただ、数名は「生涯学習によって何かが変わって行くのかな？」「まちや暮らしが変わっていくのか？」などといった予感みたいな感覚を持っていたことはあったかも知れません。

社会が複雑に変化する中で、市民の皆さんは様々な課題を抱えながら毎日の暮らしを続けていることは事実です。誰もが「何かを変えなければならない」「何かをしなければならない」と感じながら生きている現代社会。このことに応えることができるのが生涯学習かもしれない！そんな風に思いながら生涯学習の推進に微力ながら努めさせていただきました。

ほとんど実績を残すことはできませんでしたが、一生懸命やって来れたのは、生涯学習をすすめる市民の会の皆様のお陰だと感謝しています。私自身が生涯学習そのものを良く理解していない中で、推進事業をすすめようとするのですから、何かとご迷惑をおかけしたことも多々あったことと存じます。そんな私にとって、市民と行政の間において、時に市民と、時に行政と共に、いわゆる中間支援組織的な役割を担いながら、生涯学習を推進してくださる市民の会の存在は、とても心強いパートナーでした。

今、市民主体のまちづくりや市民と行政の協働が叫ばれています。こうした流れの中で、市民の会に対する期待はますます高まってくることとされます。平成17年度からは、第2次推進計画に基づく新たな取り組みも始まります。市民の会の皆様の個性が存分に生かされ、生涯学習都市実現に向けた充実した取り組みが展開されますよう、お祈り申し上げます。



## メディアを使って生涯学習を紹介するということ

FM入間との連携部会 栗原 良子

市民の会に加わってはや十年が過ぎました。その間いくつかの部会に関わってきましたが、ここでは5年ほど参加している「FM入間との連携部会」（通称FM部会）の活動について報告することにします。

### 大切な地域放送局

FM入間放送（FMチャッピー）は、入間市高倉にある県内でも数少ない地域放送局の1つです。電波の関係から今後も周辺にラジオ局が認可される可能性は少ないということからも、将来に向けて貴重な、地方メディア局といえます。このような地域放送局を、市民の立場から応援することも、市民の会の役割でしょう。

この放送局で制作される「気ままにティータイム」という、地域の問題を中心にした番組に部会は参加しています。パーソナリティーは篠田敬子さん。平日10時から11時の番組の冒頭のコーナーに出演する、いわゆる生涯学習者の人材を推薦することが、部会の役割です。本年度（2004年）は、協力委員を加えた4名の委員と篠田さんとで、およそ2ヶ月に一度、推薦資料を持参して話し合いをしています。

推薦にあたっては、

- ◆あるテーマを長期にわたって学び、実践、発表してきた人。
- ◆活動に公共性があり、営業的でないこと。
- ◆入間市在住、あるいは周辺地域にゆかりのあること。

このような条件を年頭におき、折にふれて知り合った方、イベントや他のメディアで目にとまった方を推しています。会議の中では推薦理由を聞き、話し合い、委員合意の後、本人に正式依頼をします。日程の調整ができなかったり、出演依頼を断られることも当然あるわけです。

### 収録から放送へ

出演が無償であり、高倉の局のスタジオまで収録に来ていただくことも、条件といえるでしょう。収録したインタビューをおおむね5分程度、テーマごとに分けて月・火・水・木と放送し、1週間に1人ずつが紹介されていることになります。

インタビューに応じてくださる方々は、スタジオ収録に緊張することも多いのですが、篠田アナウンサーの明るく自然なリードによって、はじめは謙遜していた方でも、最後には意外な魅力や話題を聞かせてくれます。

参考までに手元にある資料から、出演者の一例をあげてみると——文学賞受賞作家、中学校サッカー部顧問、公民館講師を勤める水墨画・写真・ハーモニカ等、木工作家、ケアマネージャー、遊筆家、役者、イラストレーター、情報紙発行者、腹話術師、まつり保存会員、地域ねこの会員、環境カウンセラー……等等、FM部会が紹介した割合は半分か

ら三分の一程度です。私の実感では、出演を承諾してくださった方自身が、この、無償のインタビューを前向きにとらえてくださって、話すことで客観視し、自身を確認していらっしゃる印象があります。インタビューを受けて、ラジオ放送というメディアに発表されたことを、「新鮮でおもしろい体験でした。」と仰っていただけるのは、とてもうれしいことです。

発表会、展覧会が近々ある場合は時期を合わせて放送することができるので、インタビューもスムーズです。また聴取者にとっても有効な情報源になるでしょう。

## 委員の役割

「このように毎週紹介していたら、そのうちに人材が見つからなくなってしまうのでは？」という声が出たことがありました。確かに、委員が情報を出せない場合もあるわけですが。しかし、これまでの体験から、地域には実に様々な人々がいて、楽しく学びつづけ、努力し、何かを生み出しておられるのだなあ、という実感がありました。本人が自覚していなくとも、何かに取り組んで魅力的な人は地域にたくさんいるのです。ですから番組がある限り、情報が途切れることはないと思います。

また、本人との交渉や推薦基準の理解には責任を負う部分もあるため、定例会で情報の呼びかけをしても、なかなか情報提供だけで参加することはむずかしく、結局は現在のように部会の中で委員が役割を負って活動することが必要になるようです。

## 生涯学習の認知

市民の会では、生涯学習と会の認知のためのCMを局に制作してもらい、「気ままにティータイム」で流しています。バージョンは4つあり、インタビュー出演者の発言の中から、意欲につながるコメントを取り上げた後、『入間市生涯学習をすすめる市民の会』の名称が呼ばれます。

今でこそ「生涯学習」も認知される言葉になりましたが、10年前は一般的でなく、耳で聞いただけでは理解されない名称でもあったのです。このCMも、会の名称と共に、「生涯学習をすすめる」力の1つになったと思っています。

## FM部会の目的—推進計画に照らして—

私たち市民の会は、入間市生涯学習推進計画の施策に準拠して活動しています。会の発足前に発表された『いるま生涯学習プラン21』の中で明示された7項目です。

- 1 生涯にわたる学習機会の充実
- 2 学習情報の提供と相談体制の整備
- 3 指導者、ボランティアの養成と活用
- 4 学習成果の評価と活用
- 5 生涯学習関連施設の整備・充実

## 6 推進体制の整備・充実

### 7 大学、企業、民間、団体との連携

このうち、FM 部会の目的とされているものは、まず、2の「学習情報の提供」があげられます。また、地方放送局との協力関係ということで、7のうち「企業、団体との連携」を実現しているといえます。

### メディアを使って生涯学習を紹介すること

生涯学習とはあらゆる分野において成立しうる、学びの自覚であると思います。学びに継続と蓄積があった時、それは形になるのですが、自分以外の他者に向けて発表して初めて成果になるのではないのでしょうか。

メディアを使ってテーマを追求する方を紹介する時、すでに受賞などの評価を受けている場合もありますが、私たちが推薦し、メディアに出演すること自体が、評価になっているのだと思います。おこがましい言い方になるかもしれませんが、本人も気づいていない魅力や成果がひそんでいる場合もあります。メディアに出演することで自分の蓄積や価値に気づくこともあるのではないのでしょうか。それらの価値と魅力の所在を、出会いの中で発見し、部会の中で話し合うこと。この中に評価があるわけです。ですから、推進計画のうち4の「学習成果の評価と活用」もFM部会の目標に加え、明示しておきたいと思います。

メディアで発表するという事は、評価された結果であり、同時に発表機会であるということです。

地元FM局と協力して生涯学習をすすめる機会に出会い、役割を進めてきた私たちですが、体験の一つ一つがまた学びになっていたことを実感した五年間でした。

### 生涯学習をすすめることに関わって

小暮 欽作

誘われて入会した「市民の会」。多くの人との出会いがあり、学ぶことがたくさんありました。志を高く持ち、努力する人から感動をいただきました。市民とは？と問われたときどんな答えをしたら良いかが少し分かりました。

生涯学習の精神が広く深く行きわたり、実践される入間市を目指して、仲間づくりに励みましょう。これからも風車づくりを通してお役に立てればと思っています。

## 飽きっぽい私が、こんなに長続きしたなんて

杉山 若江

「10年一昔」とはもう過去のことわざになるのでしょうか。

「光陰矢のごとし」とは言うけれど、あつという間の10年に思われます。

10年前「かがやく」の編集委員として創刊号のスタッフになり、「かがやく」の名付け親から始まったのが私の生涯学習スタートでした。

当時は生涯学習という言葉もなじみがなく、障害学習と勘違いされ取材の度に説明から始めないと前に進めない状態でした。創刊号からいっしょに携わったメンバーは今では並本さんだけが市民の会にいる仲間です。

その当時並本さんがパソコンで記事を作っているのを見て、「すごいな—私には一生出来ないもの」と思っていたのですが、どうです今私もパソコンで記録を作っています。これも市民の会で必要に迫られたからで、有難い事です。

2年目から市民の会の委員になり、フェスティバル部会・かがやく編集部会などに係わりながら、夢中で皆さんの脚を引っ張らないように与えられた事をこなしていたように思います。

私にとって市民の会の最大の魅力は何かと考えた時、私の企画が市民の会の理念に合っていれば夢が実現する事でしょうか。

「言い出しっぺがやりなさい」の言葉に、初めは夢を語っていただけの私に出来るのかと心配になりましたが、会員と事務局の協力があつて彼方此方ぶつかりながらも形づくられどうにか動き出します。

それが講座開設部会や、掲示板部会となりました。

「案ずるより産むが易し」と言いますが、産みっぱなしにするわけにいかないのは、子育てと同じで育てることは最も難しいこと、継続していくのが大変です。

時間にゆとりがあるときは、色々考えて実現に向けて頑張りますが、今年は色々やる事が多く十年に向けての文章も書く暇がありません。

気力体力が落ちているのかな、やはり10年経っているのだから。

まあ自分で飽きっぽいと性格がわかっているのに、こんなに長続きしたのは市民の会のメンバーに魅力があつたからでしょう。

私のライフワークになっていたのですからと思います。

### 講座部会

平成14年に今までの講演会に飽き足らなかつたので講座部会を立ち上げました。最初の1年間は何をテーマにするのか、テーマと分野の違いはどこかとか、とにかく話し合いばかりでなかなか前に進みませんでした。

1年目は「中高年の生きがい作り」をテーマに8回、受講した人たちが公益的に何かをしていくようなグループになっていくようにと考えました。

その卒業生が作ったグループが、いるま塾の会です。現在は受講生以外の人も趣旨に賛同した人たちが加わり大活躍しています。

2年目は「子育て支援講座」を現在開講しています。

若い人たちが意見を言って、それはどうしたら実現するのか考え実践していく事に協力していくと言うものです。

2回目の講座部会には、いるま塾の方たちも加わり企画、運営を共にしています。

### 掲示板部会

平成14年に立ち上げました。

はじめ市民活動連絡会議に集まってくる方たちが、広報に苦勞しているのでその場所として掲示板を作ろうと考えました。

しかし掲示板は町の中にあって、あったかいものであり、それ自体が市民の生涯学習発表の場所と考え手作りを原則に始めました。

1年目は、トールペイントの方に描いていただいた絵をベースにしたものを、富士見公園と向陽台の入間市駅に向かう通路に建てました。

2年目は、子供の描いた絵と陶器（まだ陶器は取り付けられていない）、をアミーゴの信号の際に、陶器をまわりに飾ったものを、アポポ商店街の中にある、新しきを知る公園に建てました。

3年目の今年は組み木とステンドグラスを飾ったものを、藤沢方面に建てたいと考えている途中です。

## 生涯学習をすすめることに関わって

関谷敦子

自分の生涯学習だけではなくて、みんなの生涯学習を応援する立場になって、1年半が過ぎました。「出会いが人を変えていくのではないか」というぼんやりとした思いから加わった市民の会でしたが、前向き、せっかち、楽天的の三つの性格プラス、元気な仲間のお陰でなんとか現在に至っているように思います。

「学校と地域との連携」市民の会の委員になり、私が選んだ部会です。地域の学校は、地域の人たちが願う形ものに、地域の人の手によって変わっていったらいいと私は考えています。また、生き生きと学び続けている市民がたくさんいることも実感しています。学校と生涯学習活動を続ける市民、この二者をつなげることができ、それが学校にとって、そして何より子ども達の成長にとって有意義であることを証明できれば、学校と地域の連携を進める一歩になるのではないかと考えました。

そんな思いを学校の先生に伝えていくことから、一年目の市民の会の委員は活動を始めました。高倉小学校の先生は私の話に耳を傾け、その思いを受け止めてくださいまし

た。そして高倉小学校の第五学年の総合的な学習の時間にゲストティーチャーという形で、多くの市民がボランティアとして関わっていく事業を実現できました。この事業では、子ども達がボランティアの先生達と心をつなげ、キラキラと目を輝かせて学ぶ姿に出会うことができ、また、子ども達とのふれあいの中から、喜ばれることに喜びを感じる多くの大人たちがいることがわかり、こちらの心も温かくなりました。

昨年のこの出会いは、今年度の高倉小学校の第五学年の総合的な学習の時間の取り組みとなってつながり、私はそのコーディネーター役を務めています。

こういった新しい取り組みは、常に問題や障害と隣り合わせで、上手く進まないことが起きてきます。そんな時「上手くいなくて当たり前だ」と事態を受け止め、「目的は何なのか」に立ち返り、「どうしたら問題を解決できるのか」に向き合うことが課題解決のための最良の方法だと考えています。

「生涯学習推進」という硬い言葉には、委員になるまで縁がありませんでした。しかし、実際にこの活動に関わってみると「みんなが学びあって生き生きと暮らし、つながって生きていく」ことは、生活の中の小さなことから始まり、まちづくりへとつながっていく「大きなエネルギーになる」と実感しています。

生活が豊かになり、世の中のスピードが速くなるにつれ、人と人とのつながりが薄れ、そこから生まれる新しい問題に私たちは直面しています。そんな中で、自分の好きなことを切り口に、地域の人とつながって学びあう、その出会いから何かを感じたり考えたりする、その新しい出会いが広がって、広がっていく。人と人との「出会いから生まれるエネルギー」を大切に、今後も活動を続けていきたいです。

## この半年を振り返って

田中 伸一

今年の春から参加させていただきました。生涯学習活動には以前から関心があり、何かお手伝いすることがあればと思つての参加でした。しかしやはり不慣れな事が多く試行錯誤の半年だったと思います。そんな活動過程で気づいたのは私と同じ思いの市民の方が大勢おられるということでした。地域の役に立ちたいという積極的な思いが感じられそういった方々に支えられた半年でもありました。

この10年の間に「市民の会」は入間市における市民活動のスタイルを創出されたと思います。特に「生涯学習フェスティバル」における行政との協働、「学びの場」における情報収集は大変な実績だと思います。住みよい地域づくりのために今後も多方面の活動が求められています。「市民の会」10年の貴重な経験を踏まえて、入間市における市民活動がますます活発になるように私もお手伝いしたいと考えています。

## 10年間の活動をふり返って

並本 寿紘

“生涯学習をすすめる市民の会”の一員として、10年間、一貫して調査・研究部会で活動してきたが、“いるま生涯学習プラン21”（入間市生涯学習推進計画）を基にふり返ってみる。

“いつでも、どこでも”必要に応じて、学習することができる環境づくりを計画的に進める”。結果として、“市民と行政が一体となった生涯学習によるまちづくりに発展する”。これが入間市の生涯学習に対する基本的な考え方である。

一方、10年前に“生涯学習をすすめる市民の会”に参加するに当たって、私の考え方をまとめたレポートには以下のような視点で生涯学習の必要性を捉えていた。従来は我国の経済成長のみ考えていればよかったが、今後は、国際的な関連を重視する必要がある。国の経済指標も、GNPという単純な評価尺度のみでは不十分であることが認識されてきつつある。各国の景気動向、各国金融動向、国別外貨収支等々の項目を考慮する必要がある。国の産業活動全体の評価が単一評価尺度から多評価尺度に切り替わってきた。まちづくりにおいてもこのような時代の変化を考慮する必要がある。……

今日では、10年前の予想をはるかに上回る変化が生じている。例えば中国への生産拠点の移動に伴う労働市場の縮小→リストラの増大、年金問題等々と生活者一人ひとりが変化に対応できる自立した能力を強く求められるようになった。

今後の、入間市の生涯学習の課題は、近隣市町村の動向にも気配りしながら、上意下達の学習形態から、市民と行政が一体となったネットワーク型の気付きを中心にした学習形態を推進していくことであると考えます。“高度にある環境に適用した生物は滅ぶ”という言葉があるが、現状システムの何を残し、何を捨てるか市民一人ひとりが積極的に発言し、行動し、変革させることである。「ひとづくり。システムづくり」の両面をバランスよく継続的に推進することが必要である。

## 「入間市の生涯学習推進との関わりを振り返って」

野村 和雄

5年前、定年退職して一番悩んだことは、今までなじみの薄かった地域社会とどう関わったらよいか、であった。

丁度その時、知人から“入間市生涯学習をすすめる市民の会”に入って多くの異業種の方々と接触してみたら」と助言してくれたので早速入会した。

入会の当初は主活動部会である「生涯学習フェスティバル開催部会」に入った。先輩会員の指導を受けながら、講師の派遣、文化団体への出演交渉、会場準備などで多くの

市民の皆さんとの交流ができた。

また、「FM 入間との連携部会」、「講座開設部会」では、異業種の方々との触れあいの中で、余暇生活のありかた、生きがいとはなにか、じかに学ぶことができ感謝している。

これからの生涯学習は自分のために身につけた専門知識や技術（第一人称から）を社会に還元していく（第三人称へ）ことが大切だと思っている。微力ながら会員として、また、ボランティア活動を通してセカンドライフを楽しく過ごしたいと思っている。

### 生涯学習をすすめる市民の会の活動をふりかえって

松永 輝義

早いもので入間市生涯学習をすすめる市民の会（以後市民の会）が結成され、さまざまな活動に取り組んでから十年が過ぎようとしています。振り返ってみれば、行政の第一歩の踏み出しから始まったこの会は、その第一歩から、市民と行政が協働して働き、車の車輪として共に働くことが意図してあったのです。しかし、当時はまだ、市民と行政が同じ立場に立って、あるいは同等の力関係で行動することは、頭で考えられても、いざ実行に移す段になるとそう簡単なものではありませんでした。今考えてみると、この第一歩の所に、この十年間歩み続けられてきた源があると考えられます。一つは、すでに入間市の生涯学習計画の大枠は作られていて行政より示されたのですが、集まった当時の委員は、市民が今後生涯学習へ取り組む基になる計画は、市民の会も対等に参加して作りあげた方が良いという声をあげ、行政もこの声を取り上げて、計画書を発行する予定を長期間遅れて発行しました。完成した折には、お互いの立場を尊重しあいながら良いものに作りあげたという意識を共有できたことにあります。二つめには、すでに日時や場所を決定していた生涯学習フェスティバルのことです。どちらかという、それまでの行政が行うイベントと大差の無い取り組み方で、行政が主導し、市民が動くという方法でありイベントも参加者も、当日会場に足を運ぶ市民も、組織から動員をかけられている意識も強かったのです。ある程度の賑わいをみせたフェスティバルでしたが、共催する一方の主催者である市民の会の委員も何か満足のいくもので無かったのです。その後十回を迎える今回までには、紆余曲折がありましたが、行政と市民の会が中核になってはいるのですが、参加団体や参加者が協力し合ってフェスティバル実行委員会を作り、お互いに意識を持って一つのフェスティバルを作りあげるようになったことです。この第一歩を踏み出した時の二点が市民の会が、この十年間続けてこられた根底にあるのです。私は、十年間、市民の会の責任者として責任を課せられてまいりましたが、その間、多くの委員の方々が、加わったり退会されたりしてまいりました。ここの事情があつての行動です。市民の会は、真のボランティアの会であり、参加する方々は自らの意思で加わり、自らの力の及ぶ所で加わることが望ましいと考えているのです。そして、

委員としての責任をどう果たすのかは個人に委ねられるべきものであり、決して他者から課せられるものではないということです。

この十年間、期間は長短いろいろですが、委員として加わってくださった方々は、折々に力を発揮してくださいました。今回、この十年間、市民の会の要になって思ったことというテーマをいただきましたが、私には要になったという意識はあまりなく、委員の方々と行政の方々と歩んでこられて良かったという思いがあります。

今後の市民の会が、どの方向に歩みを進めれば良いのか、市全体の方向も流動的な所もうかがえるのですが、基本は行政と市民と共に働き、そして歩み続けることが望ましい方向だと考えています。市民ひとり一人が、生涯に渡って自らの意思で学習に取り組むことができるための環境づくりが良い町づくりにつながっていくことと確信しています。十年前に雲の間から差し込んだ光がきえることのないように・・・。

## 入間市の生涯学習推進とのかかわりを振り返ってみて 生涯学習フェスティバル10周年に思うこと

三浦 はるみ

平成7年10月1日に入間市産業文化センターにおいて、「第一回いるま生涯学習フェスティバル」が開催されました。

入間市生涯学習をすすめる市民の会がスタートしてからわずか数ヶ月後でした。

当時、行政の職員も含め、市民の会メンバー自身「生涯学習とは-。」が、あまりに広い意味を持っていたので、よく解っていなかったように思いました。手探りの中一つ一つを行政職員との熱心な討議(?)の下、やって来たように思います。共に初めての経験で、入間市の「特徴」と市民の側の「市の言いなりにはならないぞ!」という「気」と「気」とのぶつかり合いも「たまたま」、「しょっちゅう」あったかな!と、思います。

第2回目以降もこの「熱心な討議」は続き、回を追う毎にかかわる人たちも増えて来ました。様々な才能のある人との出会いやかかわりは、とても楽しいことでした。

10回のフェスティバルは、私にとっても、市にとっても財産だと考えています。

生涯学習とはなにか、を通して行政と市民との関係、「協働」するとはなにか、を考えさせられます。市民が自由に発想し、そのことが実現出来る事はとても素敵なことです。でも、ここまでいくのはとても大変な道のりです。規則や感情がぶつかり合います。「わがまま」であったりもします。人と人が創っていくものは、とても難しいものです。丁寧な人間関係だけがこれを乗り越えられると思っています。だからといって人は、「神」でもなければ「仏」でもありません。心をもった人間です。お互いを思いやる気持ちを持つことは大切です。ほんの少しでいいのです。

「いるま生涯学習フェスティバル」は、市民との「協働」で、他市町村との先駆的な役割を負っているとも聞いています。しかしながら、私は変だなと思います。私たちが

特別のことをやっている訳ではないのです。自分たちの発想で自分たちがやりたい事をやっているにすぎないのです。もちろん100%ではありません。「規則」が邪魔しているのか、「熱心な討議」が充分でないのか、「やりたい事」がないのか、しか考えられません。幸いにして、市民のメンバーは「ぶつつかる」ことも、「意見の相違」も恐れてはいないのです。(時々こまることもあるが-)。

10周年を迎えるにあたり、本当に良くここまでやってこれたな、というのが実感です。色々な人の助けや厳しさがあったと思います。関わってくれた全ての人にこころから**ありがとうございました**。また、これからも続いていくであろう「いるま生涯学習フェスティバル」益々発展していくことを願っています。

最後に、10年間私自身が多くのもを学ぶことが出来ました。人の一生なんて知っていることは、僅かなものです。それが自分の不得手なものをも学ぶ機会に恵まれたことは、とても幸せです。ありがとうございました。

### 10年間を振り返る私的な生涯学習ボランティア

室山 茂子

社会教育と生涯学習ってどちらがうの?…誰ということなしに、私は何度もたずねられた。10年前、まだ生涯学習という言葉は新鮮に聞こえた。そこから考えてみよう、このボランティアが作られ、参加をした頃の私。

10年前、全く何も無いところから、市職員と市民と共に進めることになった生涯学習の形作り…だれを対象に…なにをどのようにすすめたらよいか、具体的形の見ることのむずかしいボランティア。すこし頑張ってみよう、きっと何かに出会えると思った。少しわくわくした。

しかし集まった人々のパワーはすごい。フェスティバル、情報誌の発行、学習の場作り他、10年間を大切に成果をあげてきた。これらを作ることで、少しでも人間市の人々の生涯学習がしやすくなると皆は心から、信じ、考え、作った、と確信をしている。今後もたくさんの方が、いろいろな形で作り上げていくにちがいない。

10年間一緒に活動をした人、現在も半分くらい残っている。この人たちがどこに魅力を感じて続いたのか、私に思えるのはこのボランティアの良いところ、あらかじめ引いてあるレールの上を走るのではなく、何もない状態から自分で考えて、どんどんやっていけること。任されるという事はとても難しく、したがってひとつのことを取りかかる考えをまとめるまでに、何年もかかる。気を長くしないとやっていけない。その結果、立ち上げた部会に対する思いは、並々ならぬものがある。

わたし?どのくらい役に立ったかな?とりあえず10年間という時間にきいてみる。人はひと、自分はじぶん。そうはいうけれど、皆で活動をするときに、自分ペースでいようとするのは難しい。それでも、人の中にいることは楽しい、その中に私自身たく

さんの学ぶことがある。

## 生涯学習によって共にすすんだ10年間

山尾 聖子

平成7年「生涯学習」というなじみのない言葉を取りまき、いろいろな人が集まって、定義づけから始まった私達の活動ですが、その試行錯誤と共に、この10年の間には予想できないほどの社会の変化がありました。

急速なIT化は確かに私達の活動を後押ししてくれました。市民の会の数々の事業の実現とそれを支える年間200近い会議がこなせるのはパソコン、インターネットの力によるところが大きいと思います。

NPOについては、市民の会でいち早く研修も取り入れましたが、その後燎原の火のようにひろがった多くのNPOがすでに淘汰される時代になってしまいました。

そして国を挙げての行革や合併政策を目の前に、1年先のことすら予測のつかない今日、いよいよ市民の力が試され発揮される時代を迎えたことは確かです。入間市の生涯学習推進政策で掘り起こされ育ててきた市民の力が花開く機会到来ともいえます。

この10年間、個性的な委員の発想により、さまざまな取組が行われましたが、自分としては、まなびの場が形になったこと、生涯学習フェスティバルの運営形態の進化が、最も達成感を得たものでした。

14館ばらばらだった公民館サークル情報の書式の一本化と民間情報の併記に3年間もかかかってしまっていたのに、市の公式HP担当者がフェスティバルの実行委員となり、魔法のように、全てが解決して、700件のサークル教室情報をフェスティバル開催に合わせて冊子とすることができたのが、平成11年。その後、まなびの場を担当された各委員の甚大な努力で、文化・芸術・生活・スポーツと分野もひろがり、さらに多くの民間情報が収集され、現在では、2000件を超える第4版の「まなびの場」が出ています。銀行や病院で擦り切れた「まなびの場」を見かけると胸が熱くなります。

生涯学習フェスティバルも試行錯誤の10年でしたが、委員と行政のぶつかり合いが最もドラマチックに展開された事業でもあります。確実に言えるのは、参加団体が増えてきたことに伴い、委員も職員も市民団体のコーディネーターや支援が程よい感じのできるようになったことでしょう。

管理や押し付けではなく、話し合いを大事にして、それぞれの個性を引き出しあってもらおう、これが市民同士、市民と行政、行政間の協働の極意です。ことばにすると簡単ですが、実際それを実現できる市民、行政職員が、このフェスティバルを通して育ててきたと言っても過言ではありません。

また、前年実績を踏襲することなく、常に原点に戻りながら新しい展開を求めてきた委員会は他に例をみない運営と誇りに思っていますが、そう思う私自身がすでに10年

どっぷりこのフェスティバルに浸かっていること自体、新陳代謝をさまたげる原因になっているであろうことを反省せざるを得ません。

このフェスティバルも市民の会そのものも、10年でさまざまな成果をあげてきました。

市民のかかわり方、組織の作り方をもう一度最初から問い直す格好の時機であると思っています。

## 生涯学習をすすめる市民の会とわたし

山増 智子

私は、市民の会にかかわりはじめて約一年半になります。市民の会事は10年を迎える

会でほぼ活動が出来上がっている中で、学びの場部会と掲示板部会と調査・研究部会に参加しています。しかし、はじめは「生涯学習をすすめることがまちづくりにつながるの・・・？」とわかりませんでした。でも最近、日ごろの活動や第10回生涯学習フェスティバル実行委員会の活動を通して少しづつわかってきました。

私自身、学ぶということは新しいものに出会えたり、思い込んでいたものが違うものであったりと新たな発見がありワクワクします。そんなワクワク、ドキドキした思いを気軽に話し合える仲間づくりが、もしかしてまちづくりにつながっていくのでしょうか。今度、市民の会のメンバーのそれぞれのまちづくりの未来予想図がどんなものかじっくり話し合いたいものです。

### 第5版目『いるま学びの場』

この10年の活動の中の一つとして情報冊子「いるま学びの場」があります。

立ち上げ当時からありませんが、今年は第5版目を発行いたしました。情報件数も民間・公民館・体育課と1700件近くあり、ますます充実したものになっています。冊子の特徴としては文化活動・社会活動・体育活動・スクール情報と分類に分かれ、内容・サークル、教室名・活動日時・場所・指導者・流派等・連絡先と一覧表にまとまっています。またこの情報は市のホームページでも紹介されています。しかしまだまだ市民の方々がインターネットで情報を得るような環境ではありません。冊子は手軽に見ることができますので市内の公共施設、病院、銀行、ガソリンスタンド、理容店などに置いてあります。

今後も生涯学習情報を集め、多くの方に広げていきたいと思えます。

## \* 講座開設部会 \*

岡崎 幸子

講座部会の企画懷疑に戸惑いながら出席していましたが、すでに、25回?程の話合いがされ、市民が市民のために講座を開く、という画期的な企画を実現させようとしていることを知りました。8回の内容も決まり、趣味を通して、陶芸家、書道家、写真家の方々、長年校長をされ、定年後、ボランティア活動をしている方、NPO活動をしている方たちを講師に選ばせていただきました。それぞれの方に生き甲斐のある人生を送っていらっしゃる体験談を聞かせいただきましたが、とても心を打つお話で、受講者も感動されたようです。分科会を何回かしましたが、なかなか本音の話が出てきませんでした。6回目に会場が変わり、「金子おやじの会」のおそば名人からそばの作り方を教えていただき、その後、試食をしました。とても好評で受講生の気持ちの打ち解けるきっかけになりました。楽しい体験は人の心を開かせていく、ということをお話いただきました。早い段階でする方が良いということを感じました。人は必ず得意とするものが備っているので、それを教えあって、皆が主役になれる機会がある、という公平平等な運営に共鳴しました。そして、人が大事に育ちあえる会を私も作りたと思いました。

無事、講座も終わりました。今、19名の方が「いるま塾」1期生として、学んだことを地域に生かす、という活動を見事に実現されています。

今、講座開設部会の方々の気心も分かりあえ、楽しい関わりをさせていただいています。

## \* 視察研修部会 \*

岡崎 幸子

初めての『市民の会』の例会で、どの部会に入るか思案している時に、山尾副会長さんから視察研修部会を勧められました。旅行の企画なら、日頃、あちこちに出かけているので気軽な気持ちで引き受けました。ところが、ただ遊びに行くのではなく、他市の生涯学習の活動を視察して、入間市の生涯学習の役に立つことが目的であることを知りました。

果たして、何処の市がよいのか、何を視察すればよいのか?全く分からないので戸惑いました。しかし、幸いにも事務局の今井さんがとても忙しいのに、いろいろ調べていただき横浜市に決まりました。

横浜市民が生きいき活動している施設を何箇所か見学させていただきましたが、一番印象的だったのは、市民パソコン教室の活気ある光景を目の当たりにして、市民の教える方と教わる方の心が一つになって、熱気がみなぎっていました。

横浜市は市民が自主的に活動し、行政側がいつでも自由にパソコンが使える場所を提供して、バックアップしている官民一体の理想的な姿を見せていただきました。

『市民の会』が10年目を迎える中で、私は10年8ヶ月という短い関わりですが、他市の視察を通して、入間市の良いところ、変えていかなければいけないところなどを知るきっかけになり、視野をひろめる良い機会をいただきました。

# 平成 15 年度視察研修報告

入間市生涯学習をすすめる市民の会

小暮 欽作

平成 15 年度視察研修会を下記のように実施しましたので報告します。

## 記

1. 目的 横浜市の生涯学習施策と具体的な取り組みについて、施設の見学及び担当職員との話し合いをもち、入間市の生涯学習施策推進の参考資料を得る。
2. 日時 平成 16 年 2 月 24 日(火)7:30~18:30
3. 場所 (1)横浜市市民活動共同オフィス (横浜市中区本町4-44)  
(2)横浜市青葉区生涯学習支援センター(横浜市青葉区市ヶ尾25-6)
4. 参加者 岡崎幸子 栗原良子 小暮欽作 下野武司 関谷敦子 野村和男  
松永輝義 山尾聖子 山増智子 斉藤昌紀 菱 千代子  
\*事務局 立石 基 宮岡 利幸 今井文香
5. 研修内容

### (1)横浜市市民活動共同オフィス

①平成 14 年 10 月に歴史的建造物である旧富士銀行横浜支店(昭和 4 年建築)を活用してオープンした施設。様々な市民団体が入居し、管理運営団体、行政(横浜市地域振興課)とともに協働のあり方を探っている。

3 年間、暫定的に活用し、協働のあり方の、実験・検証の場としている。

②管理運営NPO法人市民セクターよこはま

③開館時間は年中無休、9:00~22:00

④施設概要:共同オフィス(15ブース)、会議室、コピー・印刷コーナー

ブース内の施設は、いす 2 脚。キャビネット、電気コンセント、電話回線

⑤貸付料:1ブースにつき月額10,000円

### ◎研修を通して得たもの及び感想

①歴史的建造物の保存・活用についての横浜市の構想は参考になった。

②多様な市民活動が、生活を共にする「共同」から、相互交流と協力による共通目標に働きをもにする「協働」へと発展しつつあるという説明があった。異なった分野の団体との交流、協力が「協働」の機運の原動力となるので、入間市にもほしい「共同オフィス」である。

③行政の支援(場・機器・什器)が大きいシステムだが、運営に携わる市民セクターよこはまの存在も大きい。生涯学習をすすめる市民の会以外に、NPOの組織化が必要か。

④「共同オフィス」利用申し込みの実態を見ると、市民の意識がうかがえる。市民の「生涯学習を通してのまちづくり」への意識改革がどうしても必要である。

⑤市民と行政との協働のあり方の実験・検証の場としての「共同オフィス」のシステムは参考になった。

⑥共同オフィスNEWSにあった[異なりが生み出す相乗効果と協働の喜び]は、生涯学習フェスティバルに生かしたい言葉である

## (2)青葉区生涯学習支援センター

①横浜市では、市民の自主的で自立した学習活動を支援し、区における生涯学習の一層の推進を図るため、各区に支援センターを設置している。

②青葉区生涯学習支援センターは、青葉区役所別館にある。この別館には、ボランティア活動や生涯学習に関連のある10の機関が入っており、区民にとって利用しやすい施設である。

2人の学習相談員が配置され、学習情報の提供や、学習相談などを行っている。学習情報の提供講座の内容や、施設の場所や利用方法などの学習を進めるために必要な情報を提供する

○学習相談      ○コーディネート機能      ○貸し出し機材の提供      ○インターネット

○情報交換ボックス設置(サークル交流の支援、資料の保管など)

○ミニギャラリー作品(発表の場を提供)      ○発行物(サークル名簿・生涯学習情報誌)

## (3)横浜市市民活動支援センター(市ヶ尾プラザ)

○ この施設はボランティア活動の裾野を広げる。○情報提供・人材育成・コーディネート活動場所の提供などの支援活動。○行政各部署などと連携して市民活動の推進を図る。

○ 以上を目的として2000年に設置し、横浜ボランティア協会が管理運営している。

○ 市民活動情報の提供・会議室など活動拠点としての場の提供・講座・研修・機器の貸し出し

○常駐するスタッフ(職員やコーディネーター)が市民活動全般に関する相談に応じている。

## ◎ 研修を通して得たもの及び感想

①青葉区は、インターネット普及率が高い・平均年齢が若い・転入者が増えているという特色があり、区民の生涯学習への関心が高く、この施設の存在価値は高い。

②学習相談員が2名配置されていることの価値は大きい。

グループ活動や学習活動を進めるうえでの疑問などについて、学習相談員と一緒に考え、学習計画や方法をアドバイスするので、学習意欲を持つ区民のよき助言者となっている。

③14年度のセンター事業概要を見ると、相談・情報提供件数が2310となっている。区民の生涯学習への関心がうかがえるし、この施設が機能を発揮していることが分かる。

④講師の活用のための方策がよい。○講師登録の方策(登録のお願い・登録用紙・講師登録リスト)

⑤情報を得る・情報を交換するための様々な方策が採られている。

交流コーナー 情報交換ボックス 生涯学習伝言板 資料閲覧 インターネットでの検索

⑥コーディネート機能を重視していることが、職員の説明から感じられた。市民の会の活動も、この機能を充実させる方策がさらに必要と思った。

⑦市民活動支援センターの活動と生涯学習支援センターの活動が共通する部分があるように感じた。市民が何かをやりたいと思ったときに、この施設を利用して情報を得るには便利な面もある。

⑧パソコンコーナーが盛況であった。ボランティアと受講者が「共に学びながら」という姿勢をもっているため、利用者が多いそうである。同じレベルにたつのボランティア活動が大切と思った。

⑨元区役所の施設を市民のために様々な活動拠点としている行政の姿勢、それを裏づける予算処置など参考になることが多かった。このような街づくりには、市民のボランティア活動や生涯学習についての意識が問われる。さて、人間市ではと考えることが多かった。

⑩この研修会から、生涯学習基本計画構想の重要性を改めて学ぶことができ、市民スタッフとして努力する気持ちを再確認した。

以上

平成17年2月25日

平成16年度入間市生涯学習をすすめる市民の会視察研修報告書

生涯学習をすすめる市民の会 関谷 敦子

研修日：平成17年2月22日（火）

研修先：鎌倉市生涯学習センター

研修目的：鎌倉市の生涯学習推進委員会のシステムを学習する。

研修参加人数：市民の会委員13名 事務局2名

<研修内容>

鎌倉市生涯学習推進委員についての説明及び質問 (13:30~14:45)

鎌倉市生涯学習センターの施設見学 (14:45~15:00)

① 鎌倉市生涯学習推進委員の役割

市民本意の生涯学習を推進するボランティア。市民に対して、市民が求める様々な講座を企画し運営、または学習センター企画の講座及びその他講座情報の広報誌の作成、ITを使った情報収集および発信、そのための庶務を行う。

② 推進委員会の組織

平成13年に生涯学習を総合的に推進するために、社会教育施設である各公民館を学習センターと位置づけ、組織を再編成。中央公民館を鎌倉生涯学習センターとして中心的な組織を置く。その際、学習情報誌「MOE」（市長から委託、現在は「鎌倉萌」）に携わっていた人たちや生涯学習推進協議会会員を母体に推進委員会を立ち上げた。（公民館事業を市民の手による市民のためのものにするため）鎌倉生涯学習センターは正職員が8名と嘱託職員。地区センターは嘱託と再任用職員が勤務。現在推進委員は57名。庶務、講座・イベント、広報、情報の4つの部会に分かれて活動している。各部会のリーダーと会長、副会長、会計一名で運営委員会を組織。年に一度の総会が意思決定企画。（組織図は添付の資料のとおり）

\*生涯学習推進委員会に市より委託料1300万円。センターの企画運営を任されている。

\*ボランティアは有償。午前・午後それぞれ500円（交通費）を保障している。

【庶務部会】

（7~8名）部会の連絡調整、推進委員の募集・研修、記録・会計を担当

【講座・イベント部会】

中央センターは15名、他4つの学習センターに各10名ほどで活動。講座教室の企画運営、文化芸術イベントの企画運営、学習成果発表、講座終了後のサークルの組織化・育成

\*各センターに70~80万円の講座予算（講師料、運営企画費、有償ボランテ

ィア料も含む)

\*各センターで年間20～25の講座を企画運営。全体で100講座以上を毎年企画運営。毎回、講座終了後、参加者にアンケート調査を行い、次年度の講座の企画に生かしている。

\*陪審員制度など現代的な課題を解決できるような講座の企画を意識している。

\*講師謝礼は2万円まで。

\*講座参加者から立ち上がった「指導者の会」あり。(講師料5000円程度)

\*なるべく安く多様な講座(種別・年齢別)を企画運営することを心がけている。

\*毎年夏頃から各センターで翌年度の講座を企画、秋にリーダー会で調整、2月頃までに企画を固め、4月総会で講座決定。会議は月一回ほど。

\*講座のテーマ作りは今後の課題。

#### 【広報部会】

「鎌倉萌」毎月一回、1万部の情報誌の企画制作発行、学習情報の収集整理。前身に情報誌「MOE」がある。(添付情報誌参照)配布は公共の場所、民間の人が集まる場所。ボランティアが配達。学習センター企画以外の市民情報は、締め切りまでに情報を載せたい市民が原稿を持ち込む。(営利を目的としていても、生涯学習情報は掲載する)

#### 【情報部会】

ホームページでの情報発信の企画制作発信、IT関連の講習会・研修会。鎌倉シチズンネットは別組織で生涯学習センターに隣接する別の建物で活動。協力してIT関連の講座などを実施。

#### ③ 事業報告

平成15年事業報告は別紙参照。

#### ④ その他

#### 【鎌倉生涯学習センターフェスティバル】

6月に1週間ほど実施。各センターで活動するサークルの発表の場。実行委員会を組織して運営。推進委員は関わらない。日頃の成果の合同発表会(ホール発表、展示発表など)。各学習センターの利用者(サークル代表)からそれぞれ10名前後が集まって実行委員になる。(公民館の文化祭的なもの)

#### 【生涯スポーツ】

体育関係の団体や企画は別の組織で運営されている。但し、室内でできるような太極拳などの講座は企画されている。

#### 【学校と地域の連携について】

現在は取り組んでいない。今後の課題。

#### <研修を終えて>

鎌倉市の生涯学習推進組織は、入間市の公民館推進審議委員会組織である。委託予算は多いように感じるが、鎌倉市の学習センター(公民館)は5館であるが

入間市には 14 館あり、全体で講座に使う金額は鎌倉市を上回っているのではない  
か。

各公民館の運営審議委員会のあり方を検討し、よりいっそう市民のニーズに応じ  
た講座を企画運営できるように公民館の運営組織見直しをすることなどは有効と  
考えられる。

市民の手による市民のための講座を企画運営している鎌倉市の取り組みは先進的  
なのかもしれないが、単に多種多様な講座を数多く企画運営することが目的であ  
り、その先の発展までの視野は持たないように見えた。行政との協働とまちづく  
りに重点をおいた入間市の生涯学習推進は先進的なものかもしれない。

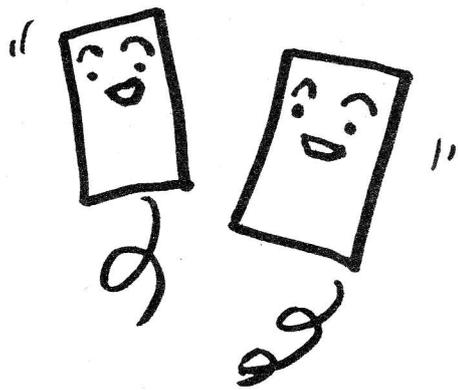
【編集後記】

「生涯学習をすすめる市民の会」の活動も10年目。大勢の方が関わり、市民と行政のパイプ役の土台を作ってくれました。『ぴーぷる』を読まれると、それぞれの方の熱意を感じとっていただけたと思います。地道な活動ですが、着実に存在感のある会に育っているのではないのでしょうか？  
(岡崎)

『ぴーぷる』をつくりましょう。の掛け声はよかったです。なんとさかのぼる事5年前からの、会報誌を作るという大変な作業になってしまいました。(大変なのは長年のデータを収録していた事務局のYさんで、彼はそれらをまとめるのに莫大な時間を費やしたのです。一言お礼)

数年前に原稿を寄せてくださった皆様、長い間お待たせしてすみませんでした。5年という月日は時の流れと共にずれを生じ、今の考えと違っているかもしれないのですが、そのときの思いを大切に考えまして、そのまま載せさせていただきます。

読みづらい？どうか作ろうと頑張った会報誌の委員、事務局に免じて許してください。  
(室山)



ぴーぷる 2000. 2001. 2002. 2003. 2004

2005年5月

編集・発行 入間市生涯学習をすすめる市民の会  
入間市豊岡1-16-1  
入間市教育委員会生涯学習課内

